資　　料　　編

【目次】

資料１　先進事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
資料２　大田川洪水浸水想定区域図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
資料３　市民ワークショップ・美東中学校ワークショップ関連資料・・・・・13
資料４　住民説明会での意見等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
資料５　パブリックコメントの結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・85
資料６　美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議の検討経緯・・・・・・・・87
資料７　美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会の検討経緯・・・・・・・91

資料１　先進事例

（１）複合施設として整備された総合支所等の先進事例

近年整備された総合支所庁舎の多くは、行政支所と関連する他の機能を複合させて整備する傾向が顕著である。地域の中心部の空洞化が進んでいる状況を受けて、いくつかの施設を複合させることで新しく地域の中心をつくり直して行こうという考え方が背景にある。ここでは、近年、複合施設として整備された総合支所庁舎の中から、同程度の規模の事例を集めた。（表-資 1）

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
施設名		山陽小野田市厚狭地区複合施設	南三陸町歌津総合支所・公民館	岡崎市額田支所周辺施設	越前市今立総合支所	豊田市藤岡支所・交流館	光市大和支所	山口市佐山地域交流センター
複合している機能（㎡）	総合支所	400	200	830	400	480	65	90
	公民館	530	575	370	880	950	550	550
	図書館	580	－	200	－	110	180	70
	その他	－	－	社会福祉協議会 90	商工会 130	－	コミュニティ協議会 45	社会福祉協議会等 80
		－	－	シルバー人材センター 40	－	－	－	消防団詰所、車庫 60
	共有部分	600	140	490	230	1,330	950	190
	合計	2,110	1,300	1,890	1,830	2,870	1,790	1,040
併設している施設（㎡）		体育館 840	図書館 500	－	図書館+資料館 1,380	－	消防団詰所、車庫 120	－
		保健センター 600	消防出張所 500	－	芸術館 2,500	－	－	－
		－	デイサービス 1,000	－	－	－	－	－
構造		RC造	S造、RC造 木造	RC造、木造	RC造 一部S造	木造、RC造 一部S造	S造	RC造
階数		2階建	平屋	2階建	平屋	2階建	2階建	平屋
蔵書冊数 ()内数値は別棟建物の蔵書		69,000	(データ無)	15,000	(110,000)	(データ無)	21,597	(データ無)
建設工事費（千円）		1,456,730	(データ無)	922,391	750,000	1,414,441	600,000	700,000
㎡単価（千円）		(データ無)	(データ無)	488	500	493	335	(データ無)
完成年月		2015年6月	2017年5月	2017年12月	2018年8月	2019年3月	2019年3月	2019年8月
複合化の特徴と周辺施設		・支所、公民館、図書館からなる複合施設に体育館、保健センター(既存)が別棟で併設 ・敷地に隣接して、社会福祉協議会や医院等が立地	・支所、公民館からなる複合施設 ・敷地内に既存図書館が併設 ・敷地に隣接して、消防署出張所やデイサービスセンター(社協運営)が立地	・支所、公民館、図書館の複合施設 ・支所内にシルバー人材センター執務室が同居 ・敷地に隣接して、商工会、消防支所が立地	・支所、公民館、商工会の複合施設 ・図書館、歴史民俗資料館、芸術館(600席ホール)等の既存施設が隣地に併設	・支所図書コーナーを持つ交流館の合築 ・支所の2階は観光協会、商工会、シルバー人材センター事務室が同居 ・敷地内にバスターミナル有	・支所、公民館、図書館の複合施設 ・支所部分にコミュニティ協議会が同居 ・別棟で消防車庫、消防詰所等が併設 ・敷地周辺には総合病院、山口銀行等が立地	・支所、公民館、図書コーナーのほか、地域づくり協議会と、地区社会福祉協議会が同居 ・防災拠点として、消防車庫や詰所も合築
備考		工事費は、解体工事費、外構工事費等も含む			工事費は、基本計画時の金額および坪単価（計画当初面積1,500㎡）			工事費は、用地費、外構工事費も含む

（表-資 1）　総合支所庁舎の事例

（１）事例分析

①山陽小野田市厚狭地区複合施設

施設概要

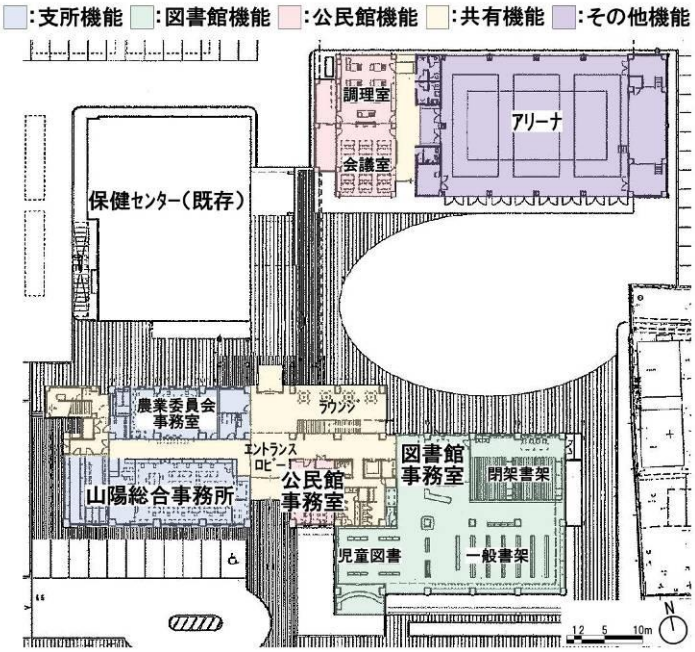
所在地　：山口県山陽小野田市
　　大字鴨庄 94 番地
完成年月：2015 年 6 月
敷地面積：－
建築面積：－
延床面積：2,114 ㎡
構造　　：RC 造
階数　　：地上 2 階

複合している機能		山陽総合事務所：400 ㎡（執務スペース 120 ㎡）
		厚狭公民館　：530 ㎡
		厚狭図書館　：580 ㎡（一般書架 180 ㎡）
		共有部分　　：600 ㎡
		合計　　：2,114 ㎡
併設している施設		体育館平場部分：600 ㎡
		保健センター　：600 ㎡
蔵書数		69,000 冊
駐車場		118 台（車いす用 3 台）
開館時間		山陽総合事務所：月～金曜日　8:30～17:15
		厚狭公民館　　：火～金曜日　9:00～22:00
		厚狭図書館　　：火～金曜日　9:30～19:00 土・日曜日　9:30～17:00
建設費等	総工費	－
	建設工事費	1,456,730,000 円（解体工事費、外構工事費含む）
	㎡単価	－

特徴

旧山陽総合事務所庁舎、倉庫、別館及び山陽消防署を解体し、山陽総合事務所、厚狭図書館、厚狭公民館を複合して整備されている。駅が近く、好立地で地域の中心施設となっている。いくつかの施設が一緒になっているだけの印象で、複合しているメリットをより生かせたのではないか。2 室ある研修室は、それぞれ可動間仕切りで分割して利用することが可能である。体育館棟には、調理室も一緒に計画されており、避難時の炊き出しなど一体的な利用が考えられる。多くの人が利用している図書館は、土日も開館しており、ラウンジも含めた利用ができる。

周辺施設と複合している機能構成



②南三陸町歌津総合支所・公民館

施設概要

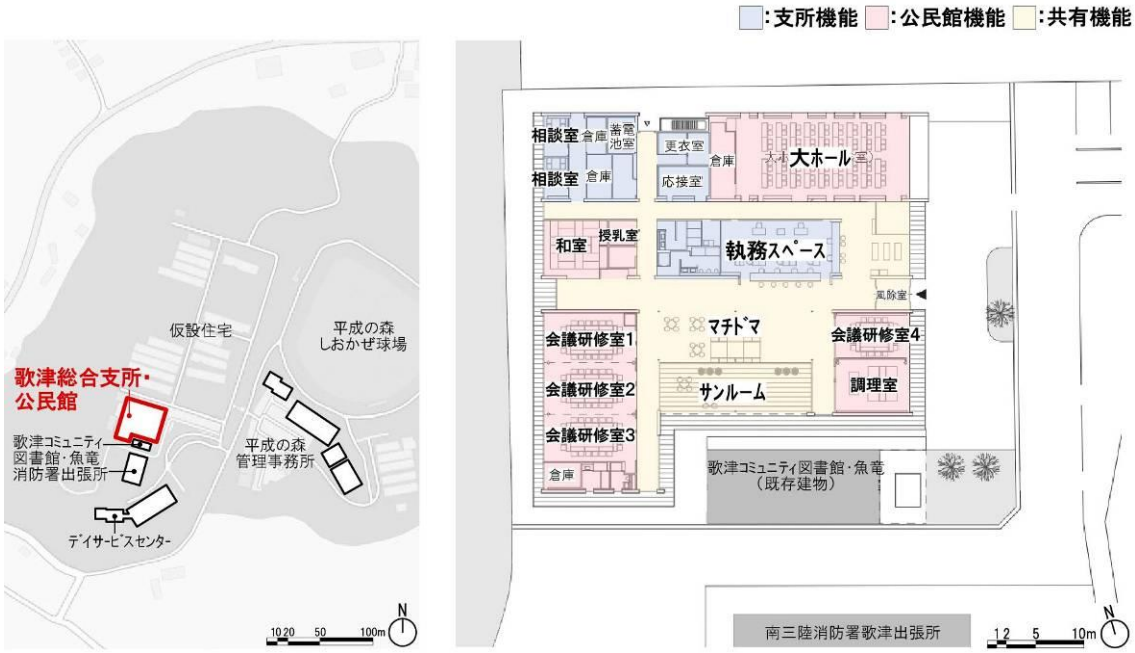
所在地　：宮城県南三陸町
　　歌津字菅の浜 60 番地
完成年月：2017 年 5 月
敷地面積：2,338 ㎡
建築面積：1,392 ㎡
延床面積：1,300 ㎡
構造　　：S 造・RC 造・木造
階数　　：平屋

複合している機能		支所　　:200 ㎡(執務スペース 115 ㎡)
		公民館　:575 ㎡
		共有部分:525 ㎡
		合計　　:1,300 ㎡
併設している施設		図書館:140 ㎡
		消防署出張所:500 ㎡
		デイサービス:1,000 ㎡
蔵書数		-
駐車場		94 台(車いす用 1 台)
開館時間		支所　:月～金曜日　8:30～17:15
		公民館:月～日曜日　9:00～21:00
		図書館:火～日曜日　9:00～17:00
建設費等	総工費	-
	建設工事費	-
	㎡単価	-

特徴

総合支所、公民館を複合して整備されている。敷地内には別棟で図書館が併設している。また隣接して、消防署出張所やデイサービス施設があり、周辺施設と一体的な整備がされている。施設は、共有スペースである「マチドマ」に支所機能や会議研修室、調理室等が面した計画となっている。「マチドマ」はサンルームに面しており、明るい印象。会議研修室 1~3 は可動間仕切りにより一体的な利用が可能。

周辺施設と複合している機能構成



③岡崎市額田支所周辺施設

施設概要

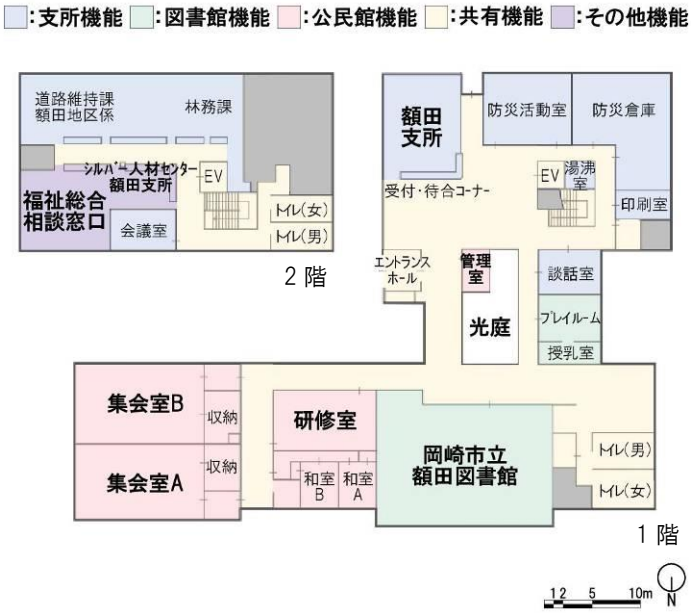
所在地　：愛知県岡崎市樫山町山ノ神 21-1
完成年月：2017 年 12 月
敷地面積：－
建築面積：－
延床面積：1,890 ㎡
構造　　：RC 造・木造
階数　　：地上 2 階

複合している機能	支所	:830 ㎡
	公民館	:370 ㎡
	図書館	:200 ㎡
	社会福祉協議会	:90 ㎡
	シルバー人材センター	:40 ㎡
	共有部分	:490 ㎡
	合計	:1,890 ㎡
蔵書数		15,000 冊
駐車場		100 台(車いす用 1 台)
開館時間	支所	:月～金曜日 8:30～17:15
	公民館	:火～日曜日 9:00～21:00
	図書館	:火～日曜日 9:00～19:00
建設費等	総工費	－
	建設工事費	922,391,000 円
	㎡単価	488,000 円

特徴

総合支所、公民館、図書館が複合して整備されている。また社会福祉協議会やシルバー人材センターも併設している。敷地に隣接して、商工会や消防署出張所が立地している。L 字状に片廊下型の施設計画で、中央に光庭を設けている。

周辺施設と複合している機能構成



④越前市今立総合支所

施設概要

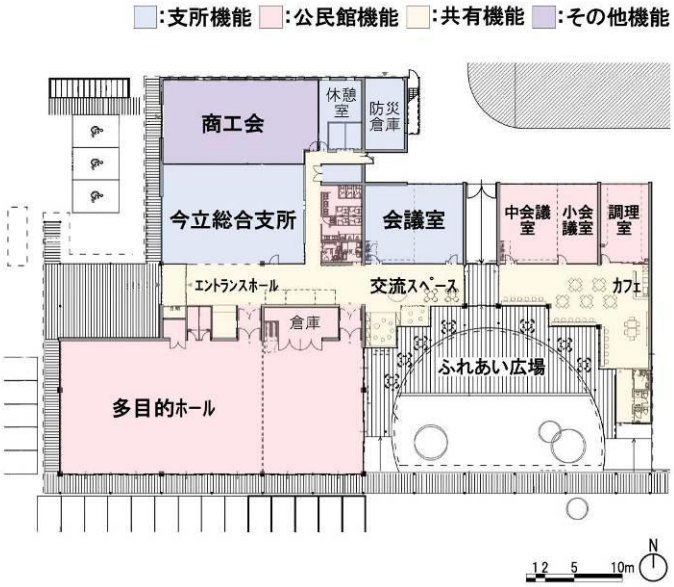
所在地　：福井県越前市
　　粟田部町 9-1-9
完成年月：2018 年 8 月
敷地面積：11,500 ㎡
建築面積：2,150 ㎡
延床面積：1,830 ㎡
構造　　：RC 造一部 S 造
階数　　：平屋

複合している機能		支所　　:400 ㎡
		公民館　:880 ㎡
		商工会　:130 ㎡
		共有部分:230 ㎡
		合計　　:1,830 ㎡
併設している施設		今立図書館＋資料館:1,380 ㎡
		芸術館:2,500 ㎡
蔵書数		110,000 冊(今立図書館)
駐車場		105 台(車いす用 8 台)
開館時間		支所　　:月～金曜日　8:30～17:15
		公民館　　:月～日曜日　9:00～22:00
		今立図書館:火～日曜日　9:00～18:00 金曜日　9:30～19:00
建設費等	総工費	-
	建設工事費	750,000,000 円(基本計画時)
	㎡単価	500,000 円(基本計画時)

特徴

総合支所、公民館、商工会の合築で、周辺には図書館や資料館、芸術館などが一体的に整備されている。建物は平屋で、中廊下型の共有スペースに面して、多目的ホールや支所､会議室が計画されている｡共有スペースにあるカフェは､調理室に併設してあり、一体的な利用ができる市民の交流の場となっている。また、ふれあい広場に面してデッキが張り出し、屋内と連続した利用が可能である。会議室は、可動間仕切りによって分割でき、人数に合わせた利用ができる。

周辺施設と複合している機能構成



⑤豊田市藤岡支所・交流館

施設概要

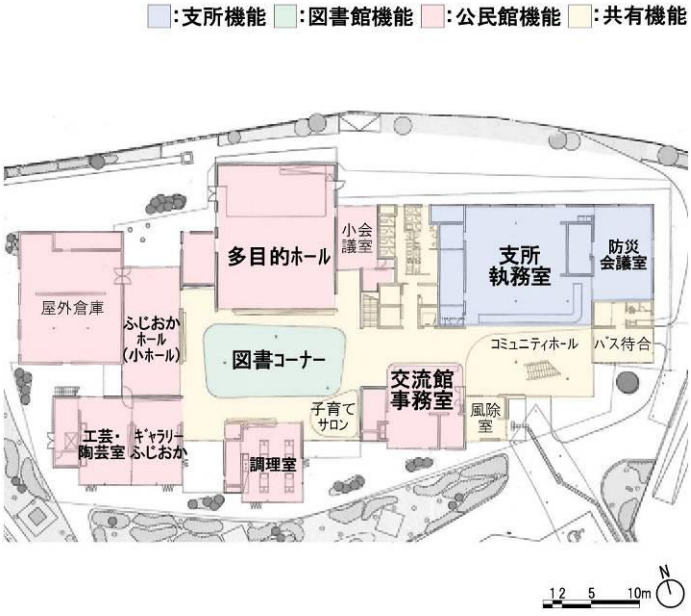
複合している機能		支所　　:480 ㎡
		公民館　:950 ㎡
		図書館　:110 ㎡
		共有部分:1,330 ㎡
		合計　　:2,870 ㎡
蔵書数		11,719 冊
駐車場		92 台(車いす用 2 台)
開館時間		支所　:月～金曜日　8:30～17:15
		公民館:火～日曜日　9:00～21:00
		図書館:火～日曜日　9:00～20:00
建設費等	総工費	-
	建設工事費	1,414,441,000 円
	㎡単価	493,000 円

所在地　：愛知県豊田市藤岡飯野町田中 245 番地
完成年月：2019 年 3 月
敷地面積：8,570 ㎡
建築面積：2,120 ㎡
延床面積：2,870 ㎡
構造　　：木造・RC 造一部 S 造
階数　　：地上 2 階

特徴

建物は支所と交流館の合築で、敷地内にバスターミナルが併設して整備されている。メインエントランスは支所側にあり、コミュニティホールに屋内バス待合スペースが併設して計画されている。そのため、公共交通機関を利用した施設利用が容易に感じられる。また、支所待合スペースと図書コーナー部分が吹き抜けとなっており、各階を緩やかに繋いでいる印象がある。この施設では、共有部と図書機能が一緒になっていることも大きな特徴で、共有スペースの様々な場所に壁付けの本棚があり、多くの居場所をつくっている。所々に屋外に出られるスペースを設け、ボリュームを分散させながら、様々な外部への抜けがある計画となっている。

周辺施設と複合している機能構成



⑥光市大和支所

施設概要

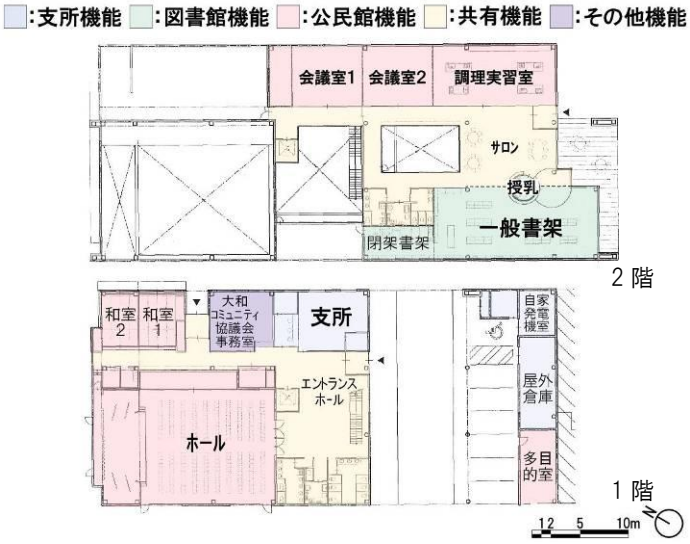
所在地　：山口県光市大字岩田 2483 番地 1
完成年月：2019 年 3 月
敷地面積：－
建築面積：－
延床面積：1,790 ㎡
構造　　：S 造
階数　　：地上 2 階

複合している機能		光市大和支所　:65 ㎡
		公民館　　:550 ㎡(ホール平場部分 180 ㎡)
		大和図書館　:180 ㎡(一般書架 140 ㎡)
		大和ｺﾐｭﾆﾃｨ協議会:45 ㎡
		共有部分　　:950 ㎡
		合計　　:1,790 ㎡
併設している施設		消防団詰所･車庫:120 ㎡
蔵書数		21,597 冊
駐車場		－
開館時間		光市大和支所:月～金曜日　8:30～17:15
		公民館　　:火～金曜日　9:00～22:00
		大和図書館　:水･金曜日　9:00～19:00 火･木･土･日曜祝日　9:00～17:15
建設費等	総工費	－
	建設工事費	600,000,000 円
	㎡単価	335,000 円

特徴

光市役所大和支所、公民館、図書館を合築し整備されている。施設は全体的にコストを抑えた建物となっている。敷地は周辺の地形が大きく勾配がついているため、変則的な土地利用となっており、建物の中央部を車道が貫通している。また駅方面からのアプローチに対して、建物の正面性がなく、分かりにくい印象がある。敷地の段差を利用して、2 階の図書館から直接広場に繋がっており、避難時などに広場が有効に利用できる。別棟で消防団詰所・消防機庫が併設している。施設内図書館は 21,597 冊、光図書館は 178,896 冊の蔵書数となっており、嘱託職員 2 名で運営している。
エントランスホールに面して、支所、コミュニティ協議会事務室、ホールが計画されている。和室はステージ利用者の控室としての利用も可能。2 階はサロンスペースに面して、調理実習室や図書館が計画されており、例えば、本を読む子供を見ながら、調理実習室で料理教室を行える等、安心して利用できる印象がある。

周辺施設と複合している機能構成



⑦山口市佐山地域交流センター

施設概要

所在地　：山口県山口市佐山 2276 番地 1
完成年月：2019 年 8 月
敷地面積：3226.28 ㎡
建築面積：－
延床面積：1040 ㎡
構造　　：RC 造
階数　　：平屋

複合している機能	支所	:90 ㎡
	公民館	:550 ㎡
	図書コーナー	:70 ㎡
	団体事務室(社会福祉協議会等)	:80 ㎡
	消防団詰所･車庫	:60 ㎡(内詰所 20 ㎡)
	共有部分	:190 ㎡
	合計	:1,040 ㎡
蔵書数		－
駐車場		－
開館時間		8:30～22:00 (窓口業務の執務時間は平日 8:30～17:15)
建設費等	総工費	－
	建設工事費	700,000,000(用地費、外構工事費含む)
	㎡単価	－

特徴

出張所公民館という位置づけで整備されている。地域づくり協議会と地区社会福祉協議会が併設して計画されている。行政窓口 2 名と嘱託職員 1 名、地域づくり担当 2 名で運営しており、協働のまちづくりを実践している。施設は指定避難場所で、別棟で備蓄倉庫、消防機庫を一体的に整備されており、地域防災の拠点となっている。また地域づくり団体が自主防災組織をつくり、非常食等の備蓄を行っている。地域づくり協議会阿賀タクシー会社と契約、運用されているコミュニティタクシーふれあい号は利用率が 3 割程度である。施設検討の際、建設委員会を組織して、実施設計を固める段階で住民の意向を聞き検討された経緯がある。施設内の情報回線は、NTT 光回線、INS 回線(Fax)、ケーブルインターネット(議会放送)となっている。

施設は中廊下型で計画され、入口ロビーには、明治維新で活躍した河瀬真孝の資料を中心とした展示コーナーが作られている。また図書コーナーには、小郡図書館の図書を置いている。研修室が料理室に併設し一体的な利用が可能となっている。さらに、会議室 1・2 は可動間仕切りにより一体利用が可能で、小会議室と収納を兼用した計画となっている。

建物は、地区史研究会による定期的なチラシの発行や食事等を中心とした「うぐいすの会」による月 1 回のふれあい会食、子供のおやつづくり、施設を中心とした「ふれあい祭り」の開催等の市民活動に利用されている。

周辺施設と複合している機能構成

（２）先進事例分析

総合支所を中心に他の施設と複合した整備事例を集め分析した結果、大まかに以下のような傾向があることがわかった。

１. 複合する機能としては、総合支所と公民館と図書館の組み合わせが多く、それぞれに「施設相互の繋がりをつくる工夫」が凝らされている

２. 同一敷地や、隣接する敷地に、関連する公共施設や、民間施設を配置している事例も多く見られ、「新しい中心をコンパクトにつくり直す」動きが多く見られる

３. 共有空間に、交流スペースやカフェが設けられている例がみられ、「地域住民のふれあいの場」をつくるさまざまな工夫が実践されていることがわかる

４. 社会福祉協議会や地域づくり協議会などとの合築の例も多く、福祉の総合窓口と、役所支所とが「緊密な連携」を図ろうとする動きがあることがわかる

５. 建物の中央にオープンな図書コーナー（開架書架）を配置し、本を中心に緩やかなつながりをつくろうとする、「複合の新しいかたち」も見られる。

６. 敷地内にバスや、コミュニティタクシーの乗り場などが設けられている例もあり、交通弱者等に配慮した「地域公共交通への工夫」が見られる。

７. 防災倉庫、消防機庫などが併設され、複合施設が、災害時に「地域の防災拠点としての役割」を担うことに対する意識が高まっていることがわかる

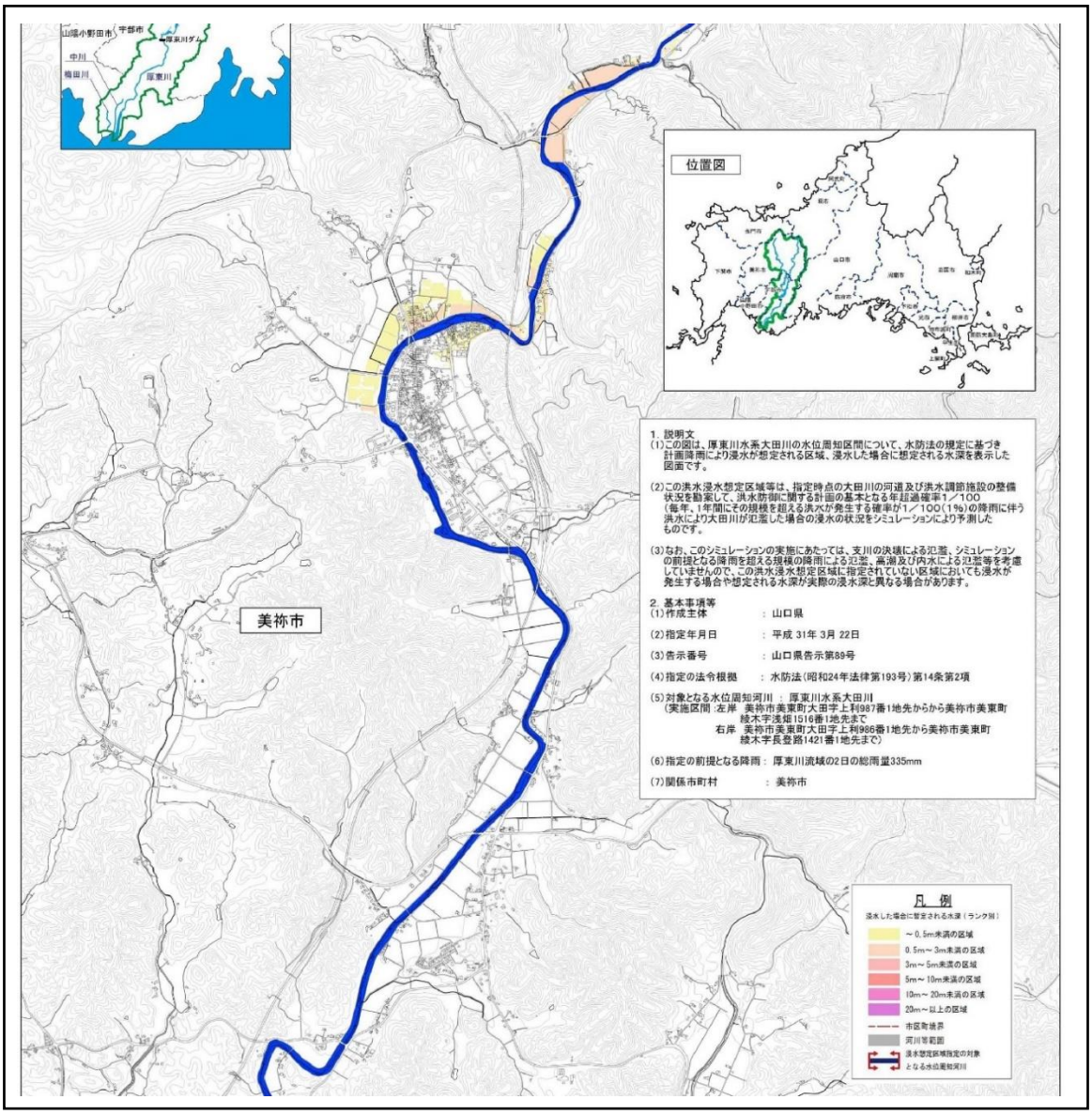
８. 光回線、INS 回線,ケーブルインターネットの設備など、「ICT 環境の整備」が進められている状況が感じられる。

資料２　大田川洪水浸水想定区域図

山口県により公開されている「大田川洪水浸水区域図（平成 31 年 3 月）」には、①計画規模の降雨（厚東川流域の 2 日の総雨量 335mm）によるものと、②想定最大規模の降雨（厚東川流域の 2 日の総雨量 518mm）によるものの 2 種類がある。

（１）計画規模の降雨による大田川洪水浸水区域図

計画規模の降雨（100 年に 1 度程度の発生確率）により浸水が想定される区域および浸水した場合に想定される水深を示す（図-資 1）。新複合施設の建設候補地は浸水想定区域外であり、洪水浸水に対してほぼ安全であると考えられる。



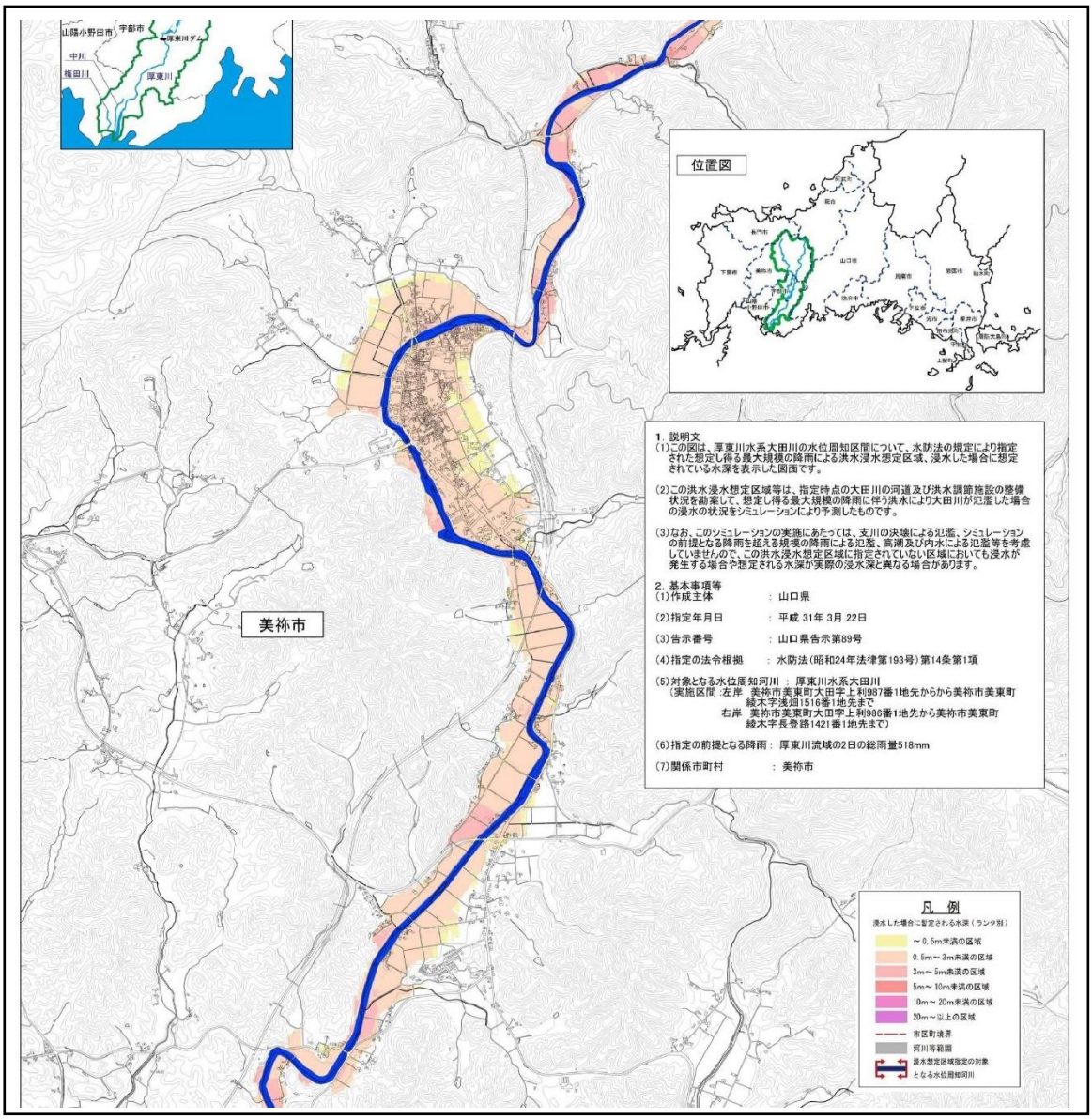
（図-資 1）　厚東川水系大田川洪水浸水区域図［計画規模］

（「大田川洪水浸水想定区域図［計画規模］（山口県、平成 31 年 3 月）」より抜粋）

（２）想定最大規模による大田川洪水浸水区域図

想定最大規模の降雨（1,000 年に１度程度の発生確率）により浸水が想定される区域および、浸水した場合に想定される水深を示す。(図-資 2) 新複合施設の建設候補地は、0.5m～3m 未満の浸水区域に指定されている。

想定最大規模の降雨による洪水が予測される際には、新総合支所は避難場所として適さないため、大田小学校校舎の２階などの避難場所への誘導を行うものとする。また、災害対策拠点機能として重要なサーバー室や備蓄倉庫などは、安全性に配慮して、中２階へ設置することを想定している。

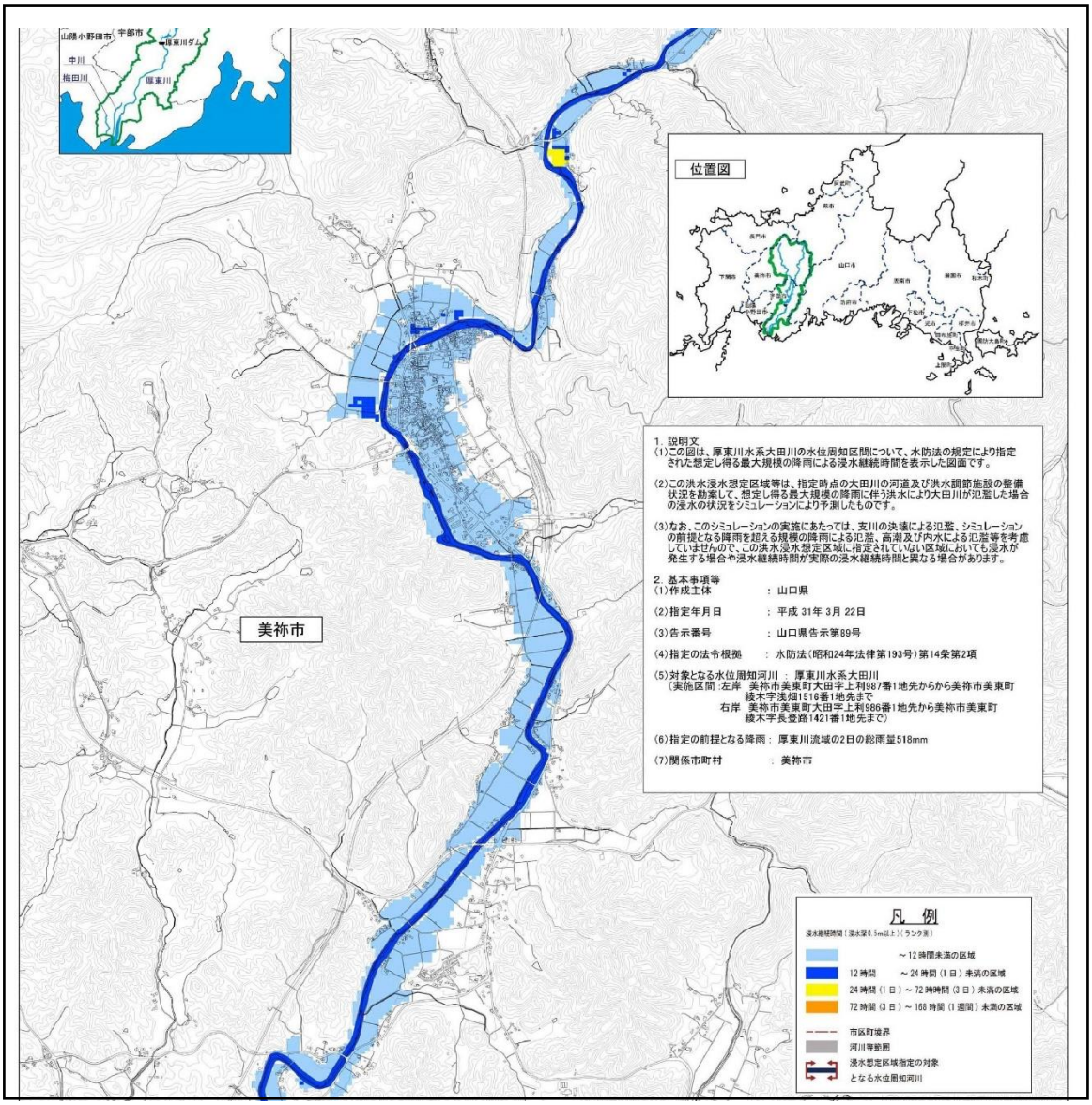


（図-資 2）厚東川水系大田川洪水浸水区域図［想定最大規模］

（「大田川洪水浸水想定区域図［計画規模］(山口県、平成 31 年 3 月)」より抜粋）

（３）想定最大規模による浸水継続時間

想定最大規模の降雨（1,000 年に 1 度程度の発生確率）による浸水が発生した際に、想定される、浸水継続時間を示す。（図-資 3）想定最大規模による洪水浸水区域図（図-資 2）と併せると、新複合施設の建設候補地は、0.5m～3m 未満の浸水が最長 12 時間継続すると想定されている。



（図-資 3）厚東川水系大田川洪水浸水区域図［浸水継続時間］

（「大田川洪水浸水想定区域図［計画規模］（山口県、令和元年年６月）」より抜粋）

資料３　市民ワークショップ・美東中学校ワークショップ関連資料

美東地域の新しい拠点づくりを考える市民ワークショップ

第1回

日 時：令和元年 12/15(日) 14:00～16:30

場 所：美東保健福祉センター 大ホール

ーテーマー

・新しい地域の拠点づくりの全体の流れについて確認します
・ワークショップの目的と流れを説明します
・住民ヒアリングのまとめを報告します
・新しい地域の拠点（総合支所）についての期待をみんなで話し合いましょう
・建設候補地について確認します

ープログラムー

14:00

ステップ1：はじめに

・あいさつ(美東総合支所長)
　みんなの拠点づくりワークショップの開催に当たって
・令和元年７月に策定した基本構想を振り返ります

14:10

ステップ2：地域の新しい拠点づくりワークショップの流れを説明します

・基本計画、基本設計の進め方について説明します
・ワークショップ全体の流れと今日の進め方について説明します

14:25

ステップ3：グループで自己紹介をしましょう

Q1 あなたが「ここが美東の良いところだ(場所、自然、歴史、地域社会、人情…)」と思うことは何ですか？

Q2 これまで、美東地域で開催された出来事(行事など)で、「感動したこと(もの)」は、何ですか？

・この2つのことを「自己紹介カード」に書いて下さい
・グループ内で自己紹介カードを紹介して下さい

自己紹介カード
お名前［　　］
住んでいる集落［　　］
○ここが美東の良いところ

○感動したこと(もの)

14:50

ステップ4：計画チームによる住民ヒアリングのまとめについて報告します

・11/ 10～16 の間に、計画チームが先行して行った、住民ヒアリングのまとめについて報告します

1）地域の現状、課題について
2）総合支所について
3）公民館について
4）図書館について
5） 建設場所について

15:20

ステップ5：新しく出来る地域の拠点（総合支所＋公民館＋図書館）が、「・・・だったらいいネ！！」について考えましょう！

・次の①～③について、思いつくことをポストイットに書きましょう。いくつでも結構です

地域の拠点が「…だったらいいネ！」のテーマ

①こんなことが出来たらいいネ！
②こんな場所があったらいいネ！
③こんな地域の拠点はお断り！

・それぞれの項目ごとに、ポストイットを模造紙に貼付けて整理しましょう

・グループごとに、「・・・だったらいいネ！」について、挙がった意見を発表してもらいます

16:20

ステップ 6：まとめ

・今日のまとめと次回のスケジュールを確認します
・感想カードを書いて下さい

ヒアリングのまとめ

■まちの現状と抱える課題

1. 人が少ない、子どもを見かけない
2. 買い物や食事が大変！
3. 子育てに不安がある
4. ふらっと立ち寄る場所や居場所がない！
5. 活動を発表する場、ふれあうきっかけとなる場、みんなが気軽に使える場がない！
6. 道の駅はみんなの居場所になっていない？
7. 大雨で浸水するのは川上から！

■まちにはこんな魅力がある

1. 交通の便が良い、大田は美東の中心地！
2. なぜか懐かしい感じがする中通
3. 豊かな自然と人を呼び込む観光資源がある

■こんなまちにできたらいいネ

1. 子供にやさしい、子育てしやすい町にしたい
2. 高齢者が生きがいを見つけ、いきいきとして暮らせる町にしたい

■こんな新しい複合施設にできたらいいネ

1. 複合施設の位置づけをしっかり検討しながらつくりたい
2. みんなでつくり、大切に使う複合施設にしたい
3. ふらっと立ち寄れて、集まることができる大きな屋根のかかった広場！
4. 明るく、分かりやすい、プライバシーを確保した総合支所！
5. 子どもから高齢者まで気軽に立ち寄れる、みんなの居場所になる公民館！
6. みんなが利用できる、建物の顔になるような明るい開かれた図書館！
7. 災害時に頼りになる複合施設！

■どこに建てるかが重要だ、候補地となっている2つのケースについて
意見が出された

○道の駅周辺につくる

1. 買い物のついでに利用ができる、高齢者にやさしい複合施設
2. 美東地域の中心、観光拠点としての新しい複合施設
3. 新たな流れを呼び込むきっかけになる新しい複合施設

○美東保健福祉センター周辺につくる

1. 子どもたちの居場所になる複合施設
2. 子どもや高齢者にとって、車通りの少ない場所につくる安全な複合施設
3. 保健福祉センターを活用して、コストを抑える

美東地域の新しい拠点づくりを考える

市民ワークショップニュース

発行：美祢市美東総合支所 総合窓口課

No.1

美東地域の新しい拠点づくりを考える 市民ワークショップ第１回目を開催しました！

日曜日の午後にもかかわらず、たくさんの市民の方にお集まりいただきました！

美東総合支所と大田公民館と美東図書館を一体的に整備し、新しい拠点をつくる計画づくりがスタートしました。12月15日、第1回目の市民ワークショップを開催しました。市民30名の参加があり、支所職員、計画グループ、総勢40名弱が５つのテーブルに分かれて、意見を出し合いました。
人口が減り、子ども達が少なくなっていく中で、安心して暮らしていくために、地域の中心でどんなことが出来たらよいのか、どんな場所があったら良いのか、さまざまな意見が出され、会場は大いに盛り上がりました。
みんなで考え、力を合わせて、自分たちの暮らしに必要な施設のあり方を探り、施設の姿をつくりあげていけたらと思います。次回は、今回出された意見をもとに、施設全体のあり方を考えたいと思います。また、建設場所はどこが最適なのか？についても考えたいと思います。
暮らしやすい地域をつくって行くためには、皆さんの知恵と力が必要です。2回目からの参加も大歓迎です！皆さんの参加をお待ちしています。

第１回市民ワークショップ プログラム

- ステップ1　はじめに
- ステップ2　市民ワークショップの流れを説明
- ステップ3　**グループで自己紹介**
  ここが美東の良いところを発表
  地域のイベントで、感動したことを発表
- ステップ4　住民ヒアリングのまとめについて説明
- ステップ5　**新しくできる地域の拠点が「・・・だったらいいネ！」について考えよう！**
  ①こんなことが出来たらいいネ！
  ②こんな場所があったらいいネ！
  ③こんな地域の拠点はお断り！
- ステップ6　まとめ

みんなで考えた意見を整理しながら、ワークショップを進めました

グループで様々な意見を出しあいました

みんなで考える 新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ 12/15(日)
- まちの魅力、課題は何？
- こんな複合施設だったらいいな！

↓

◎美東中学校ワークショップ 1/16(木)

◎第2回ワークショップ 1/17(金)
- こんな使い方ができたらいいな！
  建物の機能とつながりを考えよう
- 総合支所、公民館、図書館が複合すると実現できそうなことを考えよう

↓

◎第3回ワークショップ 2/14(金)
- 建設候補地についてみんなで確認
- こんな外部空間がいいな！
- 既存の建物の解体、
  跡地利用をみんなで考えよう

↓

◎第4回ワークショップ 4/10(金)
- 基本計画について説明
- パブリックコメントの実施
  ＋住民説明会 5回実施

↓

基本計画のとりまとめ

↓

◎第5回ワークショップ
- 配置、平面計画をみんなで考えよう
- 内部と外部空間のイメージを考えよう

↓

◎第6回ワークショップ
- 平面計画、断面計画をみんなで確認
- 建物の外観イメージを検討しよう
- 建物の性能を比較しよう

↓

基本設計のとりまとめ

↓

実施設計

ステップ5の「・・・だったらいいネ！」シートをまとめました

グループごとに、新しい地域の拠点施設でどんなことができ、どんな場所だったらいいか、また「こんな施設はお断り」の3つについてポストイットを使い書き出していただきました。たくさん出された意見をまとめました。

①こんなことが出来たらいいネ！

- ○みんなで集まることが出来る
- ○他の地域とつながることが出来る
- ○ふらっと立ち寄ることが出来る
- ○さまざまな活動が出来る
- ○活動の発表が出来る
- ○観光情報を知ることが出来る
- ○行ったら、なんでも出来る
- ○雨の日でも子どもが遊ぶことが出来る
- ○バスなどの公共交通機関でも簡単にアクセス出来る

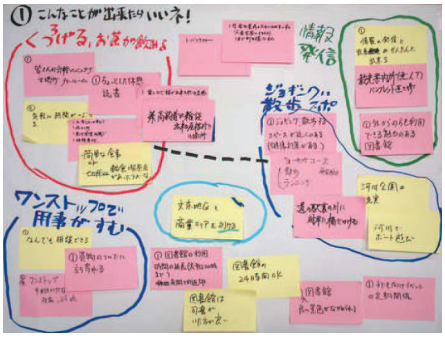
②こんな場所があったらいいネ！

- ○目的がなくても気楽に立ち寄れるスペース
- ○フレキシブルなホール（映写会や小コンサート）
- ○自由に出入りが出来る調理室
- ○入りやすく、ゆっくりできる図書館
- ○子ども達がのんびりと本が読める場所
- ○子どもたちが遊べる外の広場
- ○観光マップや観光ルートなどの案内所
- ○支所だけでなく社協などワンストップで用事が済む窓口

③こんな地域の拠点はお断り！

- ○入りにくく、暗い、日光が入ってこない建物
- ○活気がない、人がいない施設
- ○フリーなスペースがない、狭すぎる施設
- ○災害に弱い、避難所としての機能がないとイヤ
- ○いつもメンテナンスばかり必要になる建物

美東の好きな場所やイベントをマップにプロットしながらまちの魅力を再発見しました



新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」をポストイットに書き、模造紙に張り付けて、みんなで意見を整理しました

みんなでまとめた意見をグループごとに市民の方が発表しました

第１回 市民ワークショップ 感想カード

- ・ワクワクします。大変ですが楽しみです。多くの人を巻き込んでいい議論を重ねていければいいですね。
- ・色々な意見がありますね。でも、案外共通した思いが多いことに気付きました。結局はハードではなくソフト、人材育成が課題ですね。
- ・30代40代の世代の方をもっと多く参加して頂く努力が必要である。
- ・3人寄れば文殊の知恵といいますが、いいワークショップの企画と思います。良いものができそうで期待です。

美東地域の新しい拠点づくりを考える
第2回 市民ワークショップを開催します！

日時：令和2年 1月17日（金）18:30～

会場：美東保健福祉センター 大ホール

事前申込不要 誰でも参加ＯＫ！

2回目からの参加も大歓迎！！

世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

第2回市民ワークショップの内容

- ・こんな使い方ができたらいいな
  建物の機能とつながりを考えよう！！
- ・総合支所、公民館、図書館が複合することで
  実現できそうなことを考えよう！！

○問い合わせ先
〒754-0291 美祢市美東町大田5936
美祢市美東総合支所 総合窓口課
電話:08396-2-5000　fax:08396-2-5111
メール:m-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画(03_3383_8673)

美東地域の新しい拠点づくりを考える
市民ワークショップ

第２回

日　時：令和２年　1/17(金) 18：30～21：00

場　所：美東保健福祉センター 大ホール

－テーマ－

・第 1 回 WS を振り返ります
・新しい拠点が備えるべき基本要素について確認し、空間の関係図を考えます
・建設候補地について、状況を説明します

－プログラム－

18:30
ステップ１：はじめに

・あいさつ(美東総合支所長)
・建設候補地について現在の状況を報告します。

18:40
ステップ２：第２回ワークショップの目的と流れを説明します

・第2回ワークショップの目的と流れを説明します。

18:45
ステップ３：第１回ワークショップを振り返ります

・第1回市民 WS の成果を確認します。(資料-1、資料-2、資料-3)

19:00
ステップ４：第１回ワークショップの成果を基に計画チームが整理した、「新しい地域の拠点が備えるべき基本要素」について説明します

・第 1 回 WS の中で出された意見、ヒアリングで出された意見などを整理して、**施設づくりの目標**と**備えるべき4つの要素**、目標を実現するために**必要な機能**、そのために**必要な場所・空間**、にまとめました。その内容について説明します。

・整理したシートに対して、各グループで話し合い、全体の考え方に対する意見、不足している内容、不要な内容等があれば自由に修正して下さい。(資料-4)

19:20

ステップ５：ステップ４で整理した必要な場所・空間について相互の関係を考え、「空間の関係図」をつくってみましょう！

◎作業の前提条件について整理します

・ステップ 4 で、確認した「必要な場所・空間」を基に作業します。

◎建設候補地について話し合いましょう

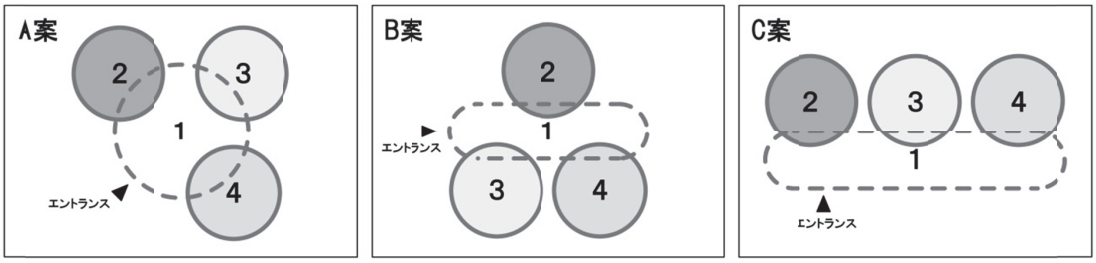
・建設候補地について、比較検討のための資料をもとに、各グループで好ましいと思う敷地について話し合ってください（資料−5）

◎作業の手順について説明します

・例を参考に、各グループで、「必要な場所・空間」相互の関係を考えながら「空間の関係図」をつくってみましょう

1）備えるべき4つの要素のつながり方について、大きく3つのタイプを用意しました。
各グループで検討し、そのタイプの中からひとつを選んでください。
3つ以外の独自の考え方でも結構です。

空間の関係図の例



凡例　1. みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所　3. みんなをつなぐ情報拠点
2. みんながさまざまな活動を展開する活動の場　4. みんなのくらしを支える場所

2）その台紙の上に色紙の中の必要だと思う空間要素を切り取り、入口の位置を決め、空間要素相互の関係を考えながら貼付けてください。

3）必要な場所・空間要素がなければ描き加えて下さい。

4）ロビー等の共有空間については、マジックで描き加えて、「空間の関係図」を完成させて下さい。

5）グループで考えた「空間の関係図」に特徴を示すタイトルをつけてみましょう！

6）グループで考えた「空間の関係図」を全体に発表しましょう！

20:50

ステップ６：　まとめ

・今日のまとめと次回のスケジュールを確認します。

・感想カードを書いて下さい。

資料ー01

美東地域の新しい拠点づくりを考える
市民ワークショップだより

発行：株式会社　龍 環境計画

No.1

2020.01.01

美東地域の新しい拠点づくりを考える 市民ワークショップ第１回目を開催しました！

日曜日の午後にもかかわらず、たくさんの市民の方にお集まりいただきました！

美東総合支所と大田公民館と美東図書館を一体的に整備し、新しい拠点をつくる計画づくりがスタートしました。12月15日、第1回目の市民ワークショップを開催しました。市民30名の参加があり、支所職員、計画グループ、総勢40名弱が５つのテーブルに分かれて、意見を出し合いました。
人口が減り、子ども達が少なくなっていく中で、安心して暮らしていくために、地域の中心でどんなことが出来たらよいのか、どんな場所があったら良いのか、さまざまな意見が出され、会場は大いに盛り上がりました。
みんなで考え、力を合わせて、自分たちの暮らしに必要な施設のあり方を探り、施設の姿をつくりあげていけたらと思います。次回は、今回出された意見をもとに、施設全体のあり方を考えたいと思います。また、建設場所はどこが最適なのか？についても考えたいと思います。
暮らしやすい地域をつくって行くためには、皆さんの知恵と力が必要です。2回目からの参加も大歓迎です！皆さんの参加をお待ちしています。

第１回市民ワークショップ プログラム

- ステップ1　はじめに
- ステップ2　市民ワークショップの流れを説明
- ステップ3　**グループで自己紹介**
  ここが美東の良いところを発表
  地域のイベントで、感動したことを発表
- ステップ4　住民ヒアリングのまとめについて説明
- ステップ5　**新しくできる地域の拠点が「・・・だったらいいネ！」について考えよう！**
  ①こんなことが出来たらいいネ！
  ②こんな場所があったらいいネ！
  ③こんな地域の拠点はお断り！
- ステップ6　まとめ

みんなで考えた意見を整理しながら、ワークショップを進めました

グループで様々な意見を出しあいました

みんなで考える 新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ 12/15(日)
- まちの魅力、課題は何？
- こんな複合施設だったらいいな！

↓

◎美東中学校ワークショップ 1/16(木)

◎第2回ワークショップ 1/17(金)
- こんな使い方ができたらいいな！
  建物の機能とつながりを考えよう
- 総合支所、公民館、図書館が複合すると実現できそうなことを考えよう

↓

◎第3回ワークショップ 2/14(金)
- 建設候補地についてみんなで確認
- こんな外部空間がいいな！
- 既存の建物の解体、
  跡地利用をみんなで考えよう

↓

◎第4回ワークショップ 4/10(金)
- 基本計画について説明
- パブリックコメントの実施
  ＋住民説明会 5回実施

↓

基本計画のとりまとめ

↓

◎第5回ワークショップ
- 配置、平面計画をみんなで考えよう
- 内部と外部空間のイメージを考えよう

↓

◎第6回ワークショップ
- 平面計画、断面計画をみんなで確認
- 建物の外観イメージを検討しよう
- 建物の性能を比較しよう

↓

基本設計のとりまとめ

↓

実施設計

ステップ5の「・・・だったらいいネ！」シートをまとめました

グループごとに、新しい地域の拠点施設でどんなことができ、どんな場所だったらいいか、また「こんな施設はお断り」の3つについてポストイットを使い書き出していただきました。たくさん出された意見をまとめました。

①こんなことが出来たらいいネ！

○みんなで集まることが出来る
○他の地域とつながることが出来る
○ふらっと立ち寄ることが出来る
○さまざまな活動が出来る
○活動の発表が出来る
○観光情報を知ることが出来る
○行ったら、なんでも出来る
○雨の日でも子どもが遊ぶことが出来る
○バスなどの公共交通機関でも簡単にアクセス出来る

美東の好きな場所やイベントをマップにプロットしながらまちの魅力を再発見しました

②こんな場所があったらいいネ！

○目的がなくても気楽に立ち寄れるスペース
○フレキシブルなホール（映写会や小コンサート）
○自由に出入りが出来る調理室
○入りやすく、ゆっくりできる図書館
○子ども達がのんびりと本が読める場所
○子どもたちが遊べる外の広場
○観光マップや観光ルートなどの案内所
○支所だけでなく社協などワンストップで用事が済む窓口

新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」をポストイットに書き、模造紙に張り付けて、みんなで意見を整理しました

③こんな地域の拠点はお断り！

○入りにくく、暗い、日光が入ってこない建物
○活気がない、人がいない施設
○フリーなスペースがない、狭すぎる施設
○災害に弱い、避難所としての機能がないとイヤ
○いつもメンテナンスばかり必要になる建物

みんなでまとめた意見をグループごとに市民の方が発表しました

第１回 市民ワークショップ 感想カード

・ワクワクします。大変ですが楽しみです。多くの人を巻き込んでいい議論を重ねていければいいですね。
・色々な意見がありますね。でも、案外共通した思いが多いことに気付きました。結局はハードではなくソフト、人材育成が課題ですね。
・30代40代の世代の方をもっと多く参加して頂く努力が必要である。
・3人寄れば文殊の知恵といいますが、いいワークショップの企画と思います。良いものができそうで期待です。

美東地域の新しい拠点づくりを考える
第2回 市民ワークショップを開催します！

日時：令和2年 1月17日（金）18:30～

会場：美東保健福祉センター 大ホール

事前申込不要 誰でも参加ＯＫ！

2回目からの参加も大歓迎！！

世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

第2回市民ワークショップの内容

・こんな使い方ができたらいいな
　建物の機能とつながりを考えよう！！
・総合支所、公民館、図書館が複合することで
　実現できそうなことを考えよう！！

○問い合わせ先
〒754-0291 美祢市美東町大田5936
美祢市美東総合支所 総合窓口課
電話:08396-2-5000　fax:08396-2-5111
メール:m-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画(03_3383_8673)

第1回市民WS、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」のまとめ－1

資料ー02　美

グループごとに、新しい地域の拠点施設でどんなことができ、どんな場所だったらいいかについてポストイットを使い書き出していただきました。たくさん出された意見をまとめました。

ワークショップで挙がった、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」についての意見

- 部屋をかりるのは申請や目的がないとできないけど、目的がなくても来ることができる
- 静かで、居心地が良く、読書やちょっとした休憩ができる
- 気軽に集まれる時間がつぶせる、待ち合わせができる

→ **ふらっと立ち寄ることができる居場所がほしい**

- 小学生、中学生がスクールバスの待ち時間に近くで利用できる
- 子どもたちが楽しく集まることができる
- 子どもたちがちょっと寄ることができる
- 子供会活動（たたみ、食事が作れる）ができる
- 児童クラブや託児所を入れることができる
- 町内まとめて認可こども園（20時くらいまで）が利用できる

→ **子ども達の居場所がほしい**

- 雑談できる屋根付きの場所、高齢者が集まることができる
- 囲碁将棋ができる

→ **お年寄りの居場所がほしい**

- 子育ての悩みを相談できるカフェ
- コミュニティづくりのきっかけができる
- 高齢者と低年齢層が集まることができる、子供と大人が一緒につどうことができる（バス停を見守りする人）
- 共通の趣味をもった人たちで集まることができる
- 他の地区とつながりがほしい
- よそから来た人も利用しやすい（バイク、自転車、観光客など）
- 在住の外国の方とふれあうことができたり、相談ができる

→ **交流ができる場所がほしい**

- 未就学児と若ママのくつろぐことができる
- フラッと行ってコーヒーを飲んで喋れるところ、ジューススタンドがあったらいいな
- 皆さんが気軽にくつろげる、食事(飲食)ができる
- 公営の居酒屋が欲しい

→ **くつろぎの場所がほしい**

- 子育て中のママたちは雨の日に子どもが遊ぶことができる
- 美東町全体が集まるイベント（運動会、縄ない、夏祭り）ができる
- 県内のスポ少などで試合ができる（広い敷地利用）

→ **屋根が架かった広場がほしい**

- 文化的イベント、ミニコンサート（50人ぐらい）、サークルの発表ができる
- ダンス、映写会、カラオケ、交流会などができる
- 来館者が自由に演奏できるピアノできる

→ **様々な活動ができる多目的ホールがほしい**

- 教室（サークルとは違い、先生がいて教えてくれる大人の教室）ができたらいいな
- 大きな部屋（会議室・ミニコンサートなどできるもの）小さな部屋（10人、20人くらいのあつまる部屋）

→ **様々な活動ができる教室がほしい**

- 自由に使えるフリーな空間があると良い
- 美術館のような感じの展示ギャラリーがあったらいい
- 写真、絵画、習字などの展示ができる
- 小学生のつくったものの展示ができる

→ **展示する場所がほしい**

- 卓球ができる
- スポーツジムがあったらいいな
- 高齢者のために、健康体操などができる

→ **健康な生活を送るための場所がほしい**

- 子どもたちが勉強をすることができる
- 塾を開くことができてもよいかも
- 子ども向けの英会話教室ができる
- 各地区に子供が少なく中学校での部活、小学生のスポ少活動が難しい、活動を支援する人材センターの設置

→ **子どもの学習の場がほしい**

- 図書館はゆっくりできて、良い景色が眺められる、安らぐ場所としてあれば良いと思う
- 子どもがのんびりと本が読むことができる、かくれて本を読むことができる（座ったり、中にねころがって）
- DVDなどの鑑賞できる個室がある

→ **子どもからお年寄りまで、みんながゆっくりできるような図書館がほしい**

- 司書がいて、本の紹介をすることができる
- 子ども向けイベントが定期的に開催できる
- 図書の貸し出しが自動化されると良い
- 蔵書についてはネットワークを整備して図書は全体（美祢市と山口市、萩、長門市等）で揃えば良い
- 図書館の利用時間の延長(平日20時まで)できる
- 夜間での返却、図書館の24時間利用できる
- 図書館を2つ（１つは道の駅にも）、健康長寿には必要（地域の人が持ち寄る）

→ **イベントを充実してほしい**
利用時間を延長してほしい

- 情報の発信と収集が簡単にできる（案内所、観光マップ、パンフレット置き場）
- 観光拠点(シンボル)と連携できる(人の集まりやすい場所にある)
- 目立つ、ＰＲ、インスタ映え

→ **地域の魅力を発信する場がほしい**

- 人口確保の拠点（住宅相談、宅地相談、結婚相談、健康相談）として、何でも相談できる
- ワンストップで用事を済ますことができる
- 市関係だけではなく社協、JAなどが一緒にあると便利
- パーテーションなどで、しきりを自由に変えることができる
- 総合支所の手続きが自動でできる

→ **ワンストップで用事を済ますことができるようにしてほしい**

- ワンストップですべてのことができる
- 行ったらなんでも済ませることができる、コンパクトな生活ができる
- ついでに買い物ができたらうれしい

→ **買い物などもついでにできる場がほしい**

「・・・だったらいいネ！」を実現するための新しい地域の拠点づくりの目標

1. みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所
- 居場所
  - ロビー
  - 市民サロン
  - 談話コーナー
  - カフェ
  - キッズルーム
  - 雑誌や新聞の閲覧コーナー
  - エンガワや半外部空間
- 子育て支援
  - カフェ
  - 子育てサロン

2. みんながさまざまな活動を展開する活動の場
- 文化活動
  - 多目的ホール
  - 会議室、研修室
  - 調理室
  - 和室
  - ギャラリー
- 軽運動やスポーツ
  - 多目的ホール

3. みんなをつなぐ情報拠点
- 図書館
  - 開架図書コーナー
  - 子ども図書コーナー
  - キッズルーム
  - 読書室
  - DVD鑑賞ｺｰﾅｰ
  - 雑誌や新聞の閲覧コーナー
- 地域情報コーナー
  - 地域情報コーナー
- 観光情報コーナー
  - 観光情報コーナー

4. みんなのくらしを支える場所
- 手続き、相談窓口
  - 総合窓口カウンター
  - 相談コーナー
- 銀行
  - 銀行、ATM
- 買い物
  - コンビニ
  - 移動販売、共同売店
- 災害時の防災拠点
  - 避難所、備蓄倉庫

第1回市民WS、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」のまとめ－2

資料ー03　美

グループごとに、新しい地域の拠点施設でどんなことができ、どんな場所だったらいいかについてポストイットを使い書き出していただきました。たくさん出された意見をまとめました。

ワークショップで挙がった、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」についての意見

公園のような外部空間がほしい
- 子どもたちがあそべる公園、人工芝のグラウンド
- 立ち寄れ、学習の場にもなる公園
- 雨天の場合、自転車、バイクの雨宿り。屋根付き
- グランドゴルフやゲートボールができる
- 施設の周りにウォーキングコース、散歩、ランニング、ドッグラン

大田川とのつながりがほしい
- 道の駅裏の川に、対岸に橋をかける
- 河川公園の充実
- 河川でボート遊び

外部から使えるトイレがほしい
- 外から使えるトイレ
- きれいな広い便所

公共交通機関を整備して、利用しやすい施設にしてほしい
- バスで行きやすい施設
- 総合施設→病院→スーパーなど生活に必要な所に移動してくれるバスがほしい、シャトルバスの設置など
- 車からほとんど歩かずに入ることができる
- バス停、タクシー乗り場もセットになっている、大田中央と一体だといいかも
- 自転車で立ち寄るステーション（充電）
- 貸し自転車のステーション

木造で平屋の建物が良い
- 平屋
- 地元の木材をふんだんに使った温かみのある施設
- 木造が良い

みんなが使いやすい ユニバーサルデザインの建物が良い
- バリアフリー、、段差がない、2階の場合にはエレベーターが必要
- 小さな子どもや高齢者にやさしい、気持ちよく利用できるトイレがあったらいいな
- 庁舎内案内を大きく見やすいもの、点文字等によるもの。一目でわかるようなもの

建物の設備機能を充実してほしい
- 空調設備及び厨房すべてLPGで
- Free Wi-Fiや充電ができる

「・・・だったらいいネ！」を実現するための新しい地域の拠点づくりの目標

・子どもの遊び場やお年寄りが運動できる公園のような広場が必要
- 広場
  - 運動広場
  - 東屋や半外部空間
  - 散歩道
- 清潔なトイレ

・大田は山口県、美祢市、美東の中心！！車で集まりやすい利点を生かした施設が必要
- 車で近くまで近づくことができる
- 公共交通機関
  - バス停やバスロータリー
  - タクシー乗り場
- 駐輪場やサイクルエイド

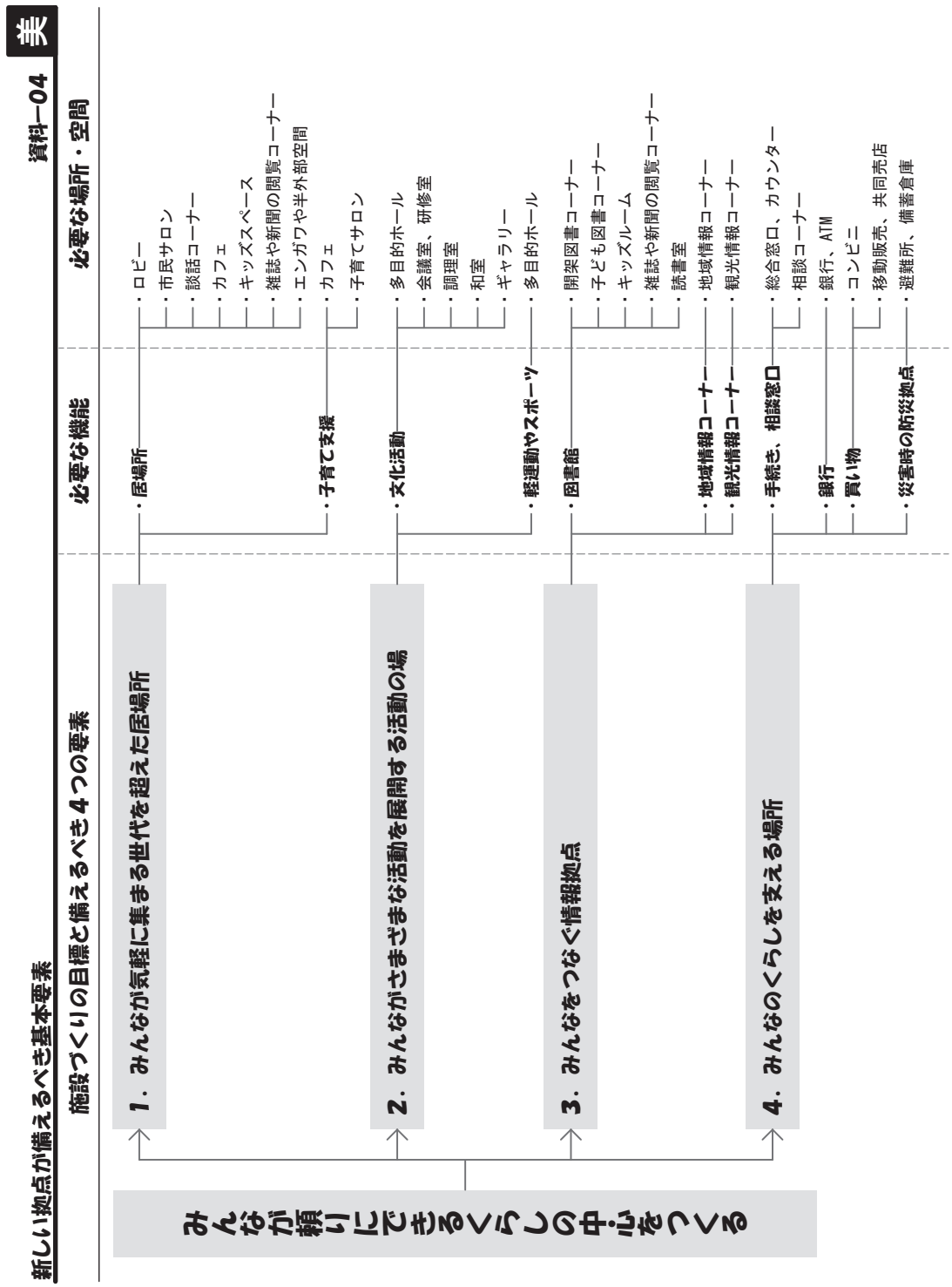
・地元の木材を使った、平屋のみんなが使いやすいユニバーサルデザインの建物が必要
- 木造の建物
- 段差がない、平屋の建物
- だれにでもわかりやすいサイン

目標を実現するために必要な機能

こんな施設はお断り！！

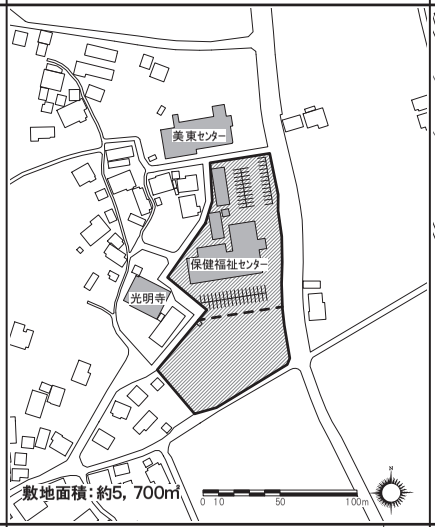
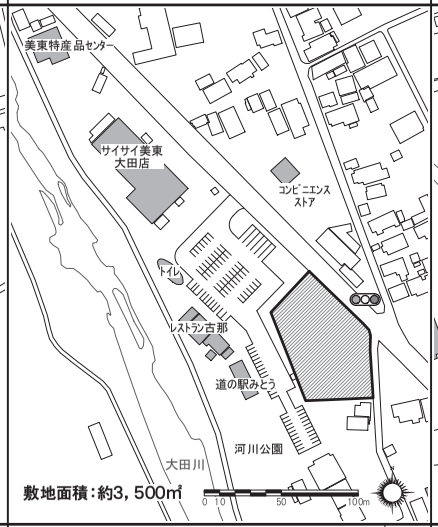
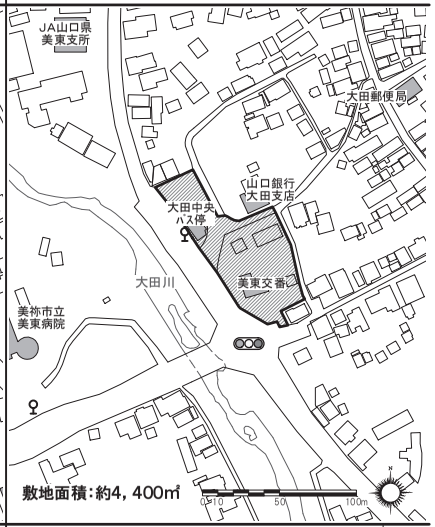
「こんな施設はお断り」についてポストイットを使い書き出していただきました。たくさん出された意見をまとめました。

・出入りが難しい施設、交通の便が悪いところ、近くに遊べる場所がない ・活気のない施設（人がいない施設）やお役所色の強いものとしての場所であってはならない ・意匠の貧しい建物 ・フリーなスペースがない、狭すぎる施設 ・本を読んでいて、疲れたときに気分転換をできるような場所がない	・賑わいがなく、入りにくい、狭い施設はイヤだ！！
・視線が気になる、物が多くてごちゃごちゃしている、うるさいのはイヤ ・マナーを守らない観光客はイヤ！！（外国語表記が必要） ・道の駅は大型バスがとまるためうるさい	・ごちゃごちゃしている施設はイヤだ！！
・いつもメンテナンスばかり必要になる建物 ・とにかく将来を考えて今の廃校の様にならないように	・将来のことを考えていない施設はイヤだ！！
・日光が入ってこない、入りにくい。暗い ・空調が効いていない	・暗くて、空調が効いていない施設はイヤだ！！
・災害に弱い ・避難所としての機能がある施設でないといや	・災害に弱い施設はイヤだ！！


新しい拠点が備えるべき基本要素
資料−04
美
施設づくりの目標と備えるべき４つの要素
必要な機能
必要な場所・空間
1．みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所
・居場所
・ロビー
・市民サロン
・談話コーナー
・カフェ
・キッズスペース
・雑誌や新聞の閲覧コーナー
・エンガワや半外部空間
・子育て支援
・カフェ
・子育てサロン
2．みんながさまざまな活動を展開する活動の場
・文化活動
・多目的ホール
・会議室、研修室
・調理室
・和室
・ギャラリー
・軽運動やスポーツ
・多目的ホール
3．みんなをつなぐ情報拠点
・図書館
・開架図書コーナー
・子ども図書コーナー
・キッズルーム
・雑誌や新聞の閲覧コーナー
・読書室
・地域情報コーナー
・観光情報コーナー
・地域情報コーナー
・観光情報コーナー
4．みんなのくらしを支える場所
・手続き、相談窓口
・総合窓口、カウンター
・相談コーナー
・銀行
・銀行、ATM
・買い物
・コンビニ
・移動販売、共同売店
・災害時の防災拠点
・避難所、備蓄倉庫
みんなが頼りにできるくらしの中心をつくる

建設候補地の比較

資料ー05　美

	①美東保健福祉センター付近		②道の駅みとう周辺		③大田中央バス停付近	
建設候補地 敷地図 (S=1:2500)						
用地取得	市有地のため用地取得の必要なし	◎	民有地のため用地取得が必要	×	一部県有地のため用地取得の必要 ※計画内容によっては一部、民有地用地取得が必要	△
公共交通の 利便性	バス停が遠い、公共交通機関が遠い	×	県道沿いに位置し、バス停が比較的近い	○	バスロータリーと一体的に計画することが可能	◎
車での 利便性	県道から離れた奥まった位置にあり、 建物の位置が分かりにくい	△	県道沿いのため、建物の位置が分かりやすい	○	交差点に面するため、建物の位置が分かりやすい	◎
徒歩での 利便性	比較的周辺は車通りが少なく、 安全に徒歩でアプローチできる	◎	交通量の多い県道を渡らなければならない ため、お年寄りには大変	△	中通りに近く、安全に徒歩でアプローチできる	○
土砂災害 特別警戒区域	一部あり（保健福祉センター玄関付近）	△	なし	◎	なし	◎
洪水浸水区域	浸水区域に該当しないが、美東センター まで0.5m程度の洪水浸水区域となっている	○	0.5m程度の洪水浸水区域となっている	×	0.5m程度の洪水浸水区域となっている	×
周辺施設との 関係	・工事期間中、保健福祉センターが利用できない ・保健福祉センターとの複合化が可能 ・周辺に保育園、小学校、中学校、美東体育館が あり、教育エリアとして一体的に整備ができる		・民間事業者の進出の可能性がある ・道の駅やサイサイ美東が周辺にあるため、買い 物のついでに施設を利用することが可能 ・河川公園と一体的に整備することで、こどもの 遊び場として活用できる		・用地取得について検討が必要 ・美東交番との複合の可能性がある ・郵便局や銀行などが近くにあるため、施設のつ いで利用が可能 ・福祉センター、JA、美東病院などとの連携がし やすくなる	

美東地域の新しい拠点づくりを考える

市民ワークショップニュース

発行：美祢市美東総合支所 総合窓口課

No.2

参加者が増え、議論が大いに盛り上がりました！

第２回ワークショップは、参加者が前回より大幅に増え、議論が大いに盛り上がりました。
まず、市民ヒアリングや第1回ワークショップの成果を基にして、美東地域の新しい拠点が備えるべき要素等について計画チームが整理したものを説明しました。その上で、それぞれに必要な場所や空間について抜けているものがないかなど、グループ毎に確認しました。
次のステップでは、色紙の大・中・小の円で示した必要な空間を、はさみで切り取り、相互の関係を考えながら計画図をつくりました。計画内容を示すキャッチコピー等をつけて全体で発表し、会場は大いに盛り上がりました。
また、建設位置についても、基本構想段階から候補地が１つ増え、現実的な条件を整理し、最適な場所について議論しました。早く確定させることが必要だとの意見が多く出されました。
次回は、今回のワークショップで皆さんに考えて頂いた空間の関係図を、具体的な空間に置き換えて行くとても面白い段階です。皆さんで知恵を絞りましょう！
３回目からの参加も大歓迎です！皆さんの参加をお待ちしています。

初参加の方も多く、議論が大いに盛り上がりました

第２回市民ワークショップ プログラム

ステップ1 はじめに

ステップ2 第2回市民ワークショップの流れを説明

ステップ3 第1回ワークショップを振り返りました

ステップ4 第1回ワークショップの成果を基に「新しい地域の拠点が備えるべき基本要素」を確認
第1回ワークショップで出された意見、ヒアリングで出された意見などを整理して、施設づくりの目標と備えるべき4つの要素、目標を実現するために必要な機能、必要な場所・空間にまとめたものを確認しました。

ステップ5 必要な場所・空間について相互の関係を考え、「空間の関係図」をつくってみましょう！
・建設候補地について話し合いましょう
・必要な場所・空間の相互の関係を考えながらみんなで話し合いながら「空間の関係図」を つくりました。

ステップ6 まとめ

みんなで考える 新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ 12/15(日)
- まちの魅力、課題は何？
- こんな複合施設だったらいいな！

現在まとめ中

◎美東中学校ワークショップ 1/16(木)

◎第2回ワークショップ 1/17(金)
- こんな使い方ができたらいいな！ 建物の機能とつながりを考えよう
- 総合支所、公民館、図書館が複合すると実現できそうなことを考えよう

◎第3回ワークショップ 2/14(金)
- 計画案の比較検討
- 建設候補地の比較検討

次回開催

◎第4回ワークショップ 4/10(金)
- 基本計画について説明
- パブリックコメントの実施
- 住民説明会 5回(予定)実施

基本計画のとりまとめ

◎第5回ワークショップ
- 配置、平面計画をみんなで考えよう
- 内部と外部空間のイメージを考えよう

◎第6回ワークショップ
- 平面計画、断面計画をみんなで確認
- 建物の外観イメージを検討しよう
- 建物の性能を比較しよう

基本設計のとりまとめ

実施設計

第1回市民ワークショップ、市民ヒアリングで出された意見のまとめについて説明しました

ワークショップで挙がった、新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」についての意見

- 部屋をかりるのは申請や目的がないとできないけど、目的がなくても来ることができる
- 静かで、居心地が良く、読書やちょっとした休憩ができる
- 気軽に集まれる時間がつぶせる、待ち合わせができる

→ **ふらっと立ち寄ることができる居場所がほしい**

- 小学生、中学生がスクールバスの待ち時間に近くで利用できる
- 子供会活動（ただみ、食事が作れる）ができる
- 児童クラブや託児所を入れることができる
- 町内まとめて認可こども園（20時くらいまで）が利用できる

→ **子ども達の居場所がほしい**

- 雑談できる屋根付きの場所、高齢者が集まることができる
- 囲碁将棋ができる

→ **お年寄りの居場所がほしい**

- 子育ての悩みを相談できるカフェ
- コミュニティづくりのきっかけができる
- 高齢者と低年齢層が集まることができる、子供と大人が一緒につどうことができる（バス停を見守りする人）
- 共通の趣味をもった人たちで集まることができる
- 他の地区とつながりがほしい

→ **交流ができる場所がほしい**

- 未就学児と若ママのくつろぐことができる
- フラッと行ってコーヒーを飲んで寝れるところ、ジューススタンドがあったらいいな
- 皆さんが気軽にくつろげる、食事(飲食)ができる
- 公営の居酒屋が欲しい

→ **くつろぎの場所がほしい**

- 子育て中のママたちは雨の日に子どもが遊ぶことができる
- 美東町全体が集まるイベント（運動会、縄ない、夏祭り）ができる
- 県内のスポ少などで試合ができる（広い敷地利用）

→ **屋根が架かった広場がほしい**

- 文化的イベント、ミニコンサート（50人ぐらい）、サークルの発表ができる
- ダンス、映写会、カラオケ、交流会などができる
- 来館者が自由に演奏できるピアノできる

→ **様々な活動ができる多目的ホールがほしい**

- 教室（サークルとは違い、先生がいて教えてくれる大人の教室）ができたらいいな
- 大きな部屋（会議室・ミニコンサートなどできるもの）小さな部屋（10人、20人くらいのあつまる部屋）

→ **様々な活動ができる教室がほしい**

- 自由に使えるフリーな空間があると良い
- 美術館のような感じの展示ギャラリーがあったらいい
- 写真、絵画、習字などの展示ができる
- 小学生のつくったものの展示ができる

→ **展示する場所がほしい**

- 卓球ができる
- スポーツジムがあったらいいな
- 高齢者のために、健康体操などができる

→ **健康な生活を送るための場所がほしい**

- 子どもたちが勉強をすることができる
- 塾を開くことができてもよいかも

→ **子どもの学習の場がほしい**

- 各地区に子供が少なく中学校での部活、小学生のスポ少活動が難しい、活動を支援する人材センターの設置

→ **子どもからお年寄りまで、みんながゆっくりできるような図書館がほしい**

- 図書館はゆっくりできて、良い雰囲気が味められる、安らぐ場所としてあれば良いと思う
- 子どもがのんびりと本が読むことができる、かくれて本を読むことができる（座ったり、中にねころがって）
- DVDなどの鑑賞できる個室がある

→ **イベントを充実してほしい 利用時間を延長してほしい**

- 司書がいて、本の紹介をすることができる
- 子ども向けイベントが定期的に開催できる
- 図書の貸し出しが自動化されると良い
- 蔵書についてはネットワークを整備して図書は全体（美祢市と山口市、萩、長門市等）で揃えば良い
- 図書館の利用時間の延長(平日20時まで)できる
- 夜間での返却、図書館の24時間利用できる

→ **地域の魅力を発信する場がほしい**

- 情報の発信と収集が簡単にできる（案内所、観光マップ、パンフレット置き場）
- 観光拠点(シンボル)と連携できる(人の集まりやすい場所にある)
- 目立つ、PR、インスタ映え

→ **ワンストップで用事を済ますことができるようにしてほしい**

- 人口確保の拠点（住宅相談、宅地相談、結婚相談、健康相談）として、何でも相談できる
- ワンストップで用事を済ますことができる
- 市関係だけではなく社協、JAなどが一緒にあると便利
- パーテーションなどで、しきりを自由に変えることができる
- 総合支所の手続きが自動できる

→ **買い物などもついでにできる場がほしい**

- ワンストップですべてのことができる
- 行ったらなんでも済ませることができる、コンパクトな生活ができる
- ついでに買い物ができたらうれしい

→ **公園のような外部空間がほしい**

- 立ち寄れ、学習の場にもなる公園
- グランドゴルフやゲートボールができる
- 施設の周りにウォーキングコース、散歩、ランニング、ドッグラン

→ **大田川とのつながりがほしい**

- 河川公園の充実
- 河川でボート遊び

→ **外部から使えるトイレがほしい**

- 外から使えるトイレ
- きれいな広い便所

→ **公共交通機関を整備して、利用しやすい施設にしてほしい**

- バスで行きやすい施設
- 総合施設→病院→スーパーなど生活に必要な所に移動してくれるバスがほしい、シャトルバスの設置など
- 車からほとんど歩かずに入ることができる
- バス停、タクシー乗り場もセットになっている、大田中央と一体だといいかも
- 自転車で立ち寄るステーション（充電）
- 貸し自転車のステーション

→ **木造で平屋の建物が良い**

- 平屋
- 地元の木材をふんだんに使った温かみのある施設

→ **みんなが使いやすいユニバーサルデザインの建物が良い**

- バリアフリー、、段差がない、2階の場合にはエレベーターが必要
- 小さな子どもや高齢者にやさしい、気持ちよく利用できるトイレがあったらいいな

→ **建物の設備機能を充実してほしい**

- 介護内容的を大きく見やすいもの、点文字等によるもの。一目でわかるようなもの
- 空調設備及び厨房すべてLPGで
- Free Wi-Fiや充電ができる

「・・・だったらいいネ！」を実現するための新しい地域の拠点づくりの目標

1. みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所
2. みんながさまざまな活動を展開する活動の場
3. みんなをつなぐ情報拠点
4. みんなのくらしを支える場所

- 子どもの遊び場やお年寄りが運動できる公園のような広場が必要
- 大田川は山口県、美祢市、美東の中心！！車で集まりやすい利点を生かした施設が必要
- 地元の木材を使った、平屋のみんなが使いやすいユニバーサルデザインの建物が必要

新しい地域の拠点に備えるべき基本要素について、まとめた内容を確認しました

第1回市民ワークショップや、個別ヒアリングの中で出された意見を、計画チームが整理して、**施設づくりの目標と備えるべき4つの基本要素**、**目標を実現するために必要な機能**、そのために**必要な場所・空間**にまとめました。その内容を、第2回市民ワークショップの中で、みんなで確認しました。

みんなが頼りにできるくらしの中心をつくる

施設づくりの目標と備えるべき4つの要素	必要な機能	必要な場所・空間
1. みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所	・居場所	・ロビー ・市民サロン ・談話コーナー ・カフェ ・キッズスペース ・雑誌や新聞の閲覧コーナー ・エンガワや半外部空間
	・子育て支援	・カフェ ・子育てサロン
2. みんながさまざまな活動を展開する活動の場	・文化活動	・多目的ホール ・会議室、研修室 ・調理室 ・和室 ・ギャラリー
	・軽運動やスポーツ	・多目的ホール
3. みんなをつなぐ情報拠点	・図書館	・開架図書コーナー ・子ども図書コーナー ・キッズルーム ・雑誌や新聞の閲覧コーナー ・読書室
	・地域情報コーナー	・地域情報コーナー
	・観光情報コーナー	・観光情報コーナー
4. みんなのくらしを支える場所	・手続き、相談窓口	・総合窓口、カウンター ・相談コーナー
	・銀行	・銀行、ATM
	・買い物	・コンビニ ・移動販売、共同売店
	・災害時の防災拠点	・避難所、備蓄倉庫

必要な場所・空間について相互の関係を考え「空間の関係図」をつくりました

１）４つの要素のつながり方について、大きく３つのタイプを用意しました。
各グループで検討し、そのタイプの中からひとつを選んでもらいました。
※例以外のタイプも可

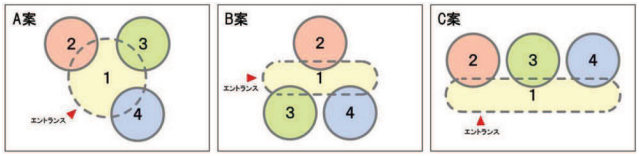
２）色紙の中の必要だと思う空間要素を切り取り、入口の位置を決め、空間要素相互の関係を考えながら貼付けてもらいました。
※必要な場所・空間要素がない場合は書き加えても良い

４）ロビー等の共有空間については、マジックで描き加えて、「空間の関係図」をつくりました。

５）グループで考えた「空間の関係図」に特徴を示すタイトルをつけ、全体に発表しました。

グループ毎に考えた「空間の関係図」を発表しました

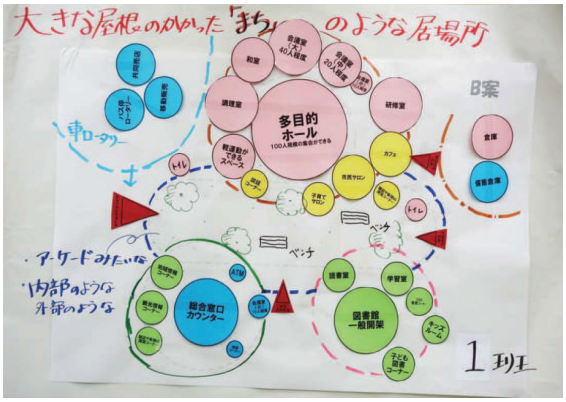
空間の関係図の例



凡例
1．みんなが気軽に集まる世代を超えた居場所
2．みんながさまざまな活動を展開する活動の場
3．みんなをつなぐ情報拠点
4．みんなのくらしを支える場所

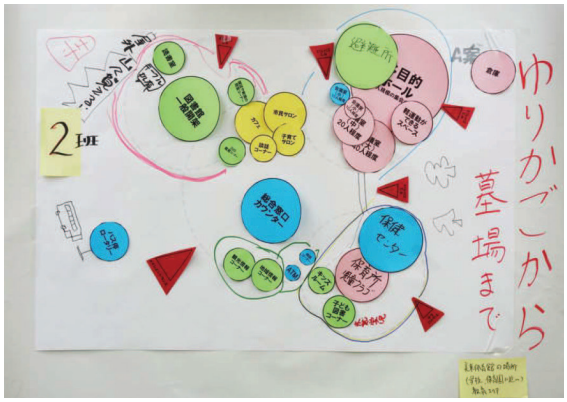
各グループでつくった「空間の関係図」を紹介します

グループ1
大きな屋根のかかった「まち」のような居場所



・中通りを大きな屋根のかかったアーケードのように
・役場、多目的ホール（公民館）、図書館を配置して、中通りでみんなが交流できたらいいな
・中通りへは、自由に出入りができる

グループ2
ゆりかごから墓場まで



・大田中央バス停付近を建設場所とすることを想定
・保健センターを児童クラブ等の教育関係に
・美東センターを使いながら、足りないものを補完

グループ3
光と風と共に集う！！

・よく光が入るように、よく風が抜けけるようにつくったらどうか
・両サイドを挟むように機能を配置
・真ん中を突き抜けられるようにし、どこかを通らないと目的の場所に行けないではなく、共有スペースを介する

グループ4
「おもてなしエリア」と「教育エリア」でまちづくり

・まちづくりを大きなテーマに分割案でまとめた
・(保健福祉センター付近)を教育エリア、現在の保健センターを利用して公民館として活用し、増築で図書館を整備する
・(大田中央バス停付近)をおもてなしエリア、美東町の顔として行政機能を整備

グループ5

市民がつながる自由空間

・市民がつながる自由空間をテーマに
・いろんな目的で利用する人たちとホールで出会う
・ここにきたらほっこりできる場所になればいいな

グループ6

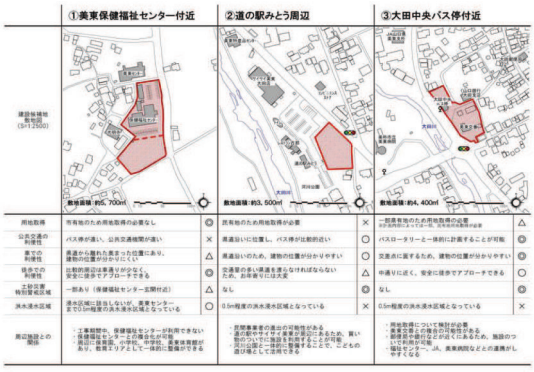
みんなが、とっても、うれしい、町

・みんながとってもうれしい町、美東町
・一箇所に、支所、公民館、図書館をまとめて、
　みんなが気軽に来れるようにした

建設候補地について、意見を交わしました！

建設候補地について、概略説明を市役所より行いました。建設候補地は「敷地①保健福祉センター付近」と「敷地②道の駅周辺」の２カ所としていましたが、「敷地②」については、民間事業者の進出が見込まれ、新しい総合支所の建設が困難となる可能性が出たため、「敷地③大田中央バス停付近」を新たな候補地として加え、建設場所の検討を行うことになりました。
それぞれの候補地について、利点・欠点をまとめたものを基に意見を交わしました。
次回のワークショップで更に、詳細に比較検討を行い、最適な建設場所について方向性を決定したいと考えています。

建設候補地の比較検討



	①美東保健福祉センター付近	②道の駅みとう周辺	③大田中央バス停付近
建設候補地敷地図（S=1/2500）	敷地面積：約5,700㎡	敷地面積：約3,500㎡	敷地面積：約4,400㎡
用地取得	所有地のため用地取得の必要なし ◎	民有地のため用地取得が必要 ×	一部民有地のため用地取得の必要 △
公共交通の利便性	バス停が遠い、公共交通機関が遠い ×	高速ICに近接し、バス停が比較的近い ○	バスロータリーと一体的に計画することが可能 ◎
車での利便性	高速から離れた奥まった位置にあり、建物の位置が分かりにくい △	高速ICのため、建物の位置が分かりやすい ○	交差点に面するため、建物の位置が分かりやすい ◎
現在の利便性	公敷地の周辺は季節ごとの変化が少なく、安定に提供できる ◎	交通量が多く横道を渡らなければならないため、お年寄りには不安 △	中通りに近く、安全に徒歩でアプローチできる ○
土砂災害特別警戒区域	一部あり（保健福祉センター北側付近） △	なし ◎	なし ◎
洪水浸水区域	浸水区域に該当しないが、農業センターまでの1m程度の洪水浸水区域となっている ○	0.5m程度の洪水浸水区域となっている ×	0.5m程度の洪水浸水区域となっている ×
周辺施設との関係	・工業団地や、保健福祉センターが利用できない ・保健福祉センターとの連合化が可能 ・周辺に役場支所、小学校、中学校、農業体験館があり、教育エリアとして一体的に整備ができる	・民間事業者の進出が可能性がある ・農の駅やすぐ隣に農業公園があるため、買い物のついでに地域農業体験することが可能 ・周辺公園と一体的に整備することで、こどもの遊び場として活用できる	・用地取得について検討が必要 ・農業交流との複合の可能性がある ・新規店舗が進出などされてにあるため、施設のついで利用が可能 ・福祉センター、JA、美東病院などとの連携がしやすくなる

第２回 市民ワークショップ 感想カード

○今日のワークショップで意見がたくさん出てとっても良かったです。１つのテーマが人それぞれで意見がありました。第1回目と今日の2回がすごく良い時間でした。３回目がもっとたくさんの人と良い意見が出るように協力したいです。（E.U）

○空間関係図を楽しく作りました。コンセプトが決まれば、おのずと決まってくると思います。ただ運用する人材やノウハウの方が重要になってくると思います。（H.K）

○建設場所をそろそろ絞って協議しないと具体的な提案ができないのでは。併せて予算についても提案して頂きたい。（I.K）

○少しくらい考えが違っても美東のこれからを真剣に考えているという点ではグループ全員が一緒でした。心強く感じました。地に足のついた本当に地域の力になる場所を生み出していけると思います。（S.T）

○初めて参加しましたが、１回目の時にたくさんの意見が出て、それが分かりやすく集約してあって、みなさんのパワーに驚きました。自分は物理的なアイディアはなかなか考えるのが苦手なのですが、キャッチコピーを考えるのにみんながとってもうれしい町が浮かんで少しでも役に立てたのがうれしかったです。（Y.S）

美東地域の新しい拠点づくりを考える
第3回 市民ワークショップを開催します！

日時：令和2年 2月14日（金）18:30～

会場：美東保健福祉センター 大ホール

事前申込不要
誰でも参加ＯＫ！

3回目からの参加も大歓迎！！

世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

第3回市民ワークショップの内容
・計画案の比較検討
・建設候補地の比較検討

○問い合わせ先
〒754-0291 美祢市美東町大田5936
美祢市美東総合支所 総合窓口課
電話:08396-2-5000　fax:08396-2-5111
メール:m-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画(03_3383_8673)

美東地域の新しい拠点づくりを考える
市民ワークショップ

第３回

日　時：令和２年　２/１４(金) 18：30～21：00

場　所：美東保健福祉センター 大ホール

－テーマ－

- 第2回 WS を振り返ります。
- 第2回 WS で考えた「空間の関係図」を基に、作成した「空間の構成図」について検討します
- 建設候補地について比較検討し、方針を共有します

－プログラム－

18:30
ステップ１：はじめに

・あいさつ(美東総合支所長)

18:40
ステップ２：第３回ワークショップの目的と流れを説明します

・第3回ワークショップの目的と流れを説明します。

18:45
ステップ３：第２回ワークショップを振り返ります

・みんなでつくった「空間の関係図」について確認します。

19:00
ステップ４：「空間の関係図」を基に作成した「空間の構成図」について説明します

- みんなでつくった「空間の関係図」を簡略化したものを説明します。（資料-1）
- 簡略化した「空間の関係図」を分類し、3つのタイプに整理しました。
  その内容について説明します。（資料-2）

19:20
ステップ５：３つのタイプに整理した「空間の構成図」を２つに絞られた建設候補地を想定し、敷地に当てはめた「空間の構成図」について説明します

- 建設候補地ごとに、その利用方法（建設プログラム）についてまとめものを説明します。（資料-3）
- それぞれの敷地に「空間の関係図」を当てはめた「空間の構成図」を作成しました。その内容について説明します。（資料-4）

19:30
ステップ６：「空間の構成図」の案について、グループ毎に評価シートの項目に基づいて、それぞれのタイプを評価します

◯提示する「空間の構成図」は、建築空間のつくり方と、何処に建てるかを含んだ提案となっています。双方を加味して評価をして下さい。

1. 別紙の評価項目に基づいてそれぞれのタイプを評価して、最も高い評価の案を一つ選んでシートに◎をつけてください。（別紙-評価シート）
2. 意見が割れた提案があれば2番目の提案を１つ選んでシートに〇をつけてください。
3. グループ毎に各案の評価を発表してください。

20:30
ステップ７：どのタイプの提案が良いかみんなで考えましょう

・総合的に考えて美東地域に相応しい建設場所、および「空間の構成」は現時点でどのタイプが相応しいか？を個人の考えで選んでください。（タイプ毎に票を集計します）
・最も多く選ばれた「空間の構成」のタイプをもとに、改善点などを全体で議論し、今後の検討のベースとなる考え方について共有します。

20:50
ステップ８：　まとめ

・今日のまとめと次回のスケジュールを確認します。
・感想カードを書いて下さい。

美

別紙-評価シート

1．評価項目に基づいてそれぞれのタイプを評価して、最も高い評価の案を一つ選んでシートに◎をつけてください。
2．意見が割れた提案があれば2番目の提案を１つ選んでシートに〇をつけてください。

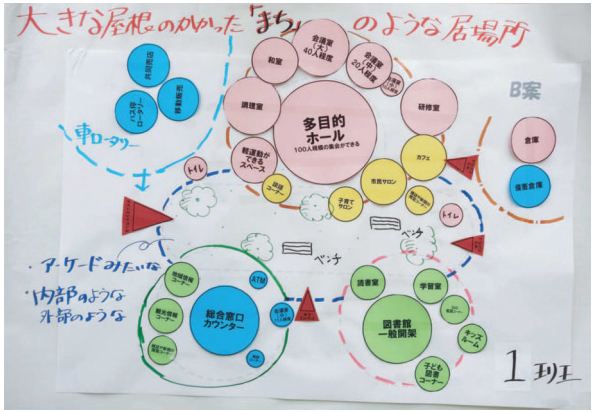
「空間の構成図」評価シート

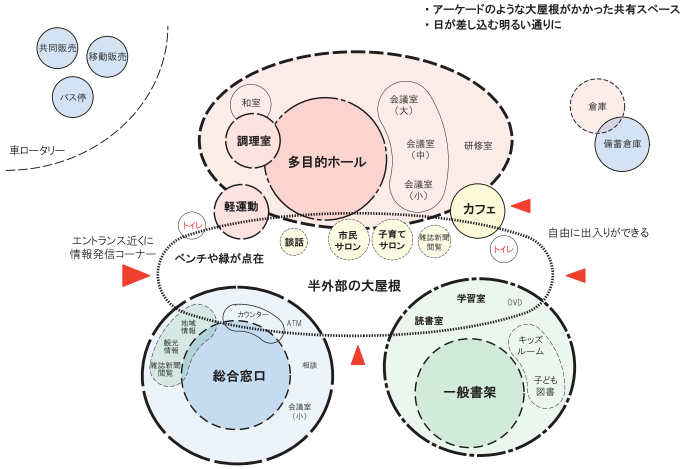
評価項目	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
1）気軽に立ち寄ることができそうなのは？			
2）子どもたちが利用しやすいのは？			
3）高齢者が利用しやすいのは？			
4）観光客・地区外の人が利用しやすいのは？			
5）文化活動がより盛んになりそうなのは？			
6）図書館が使いやすそうなのは？			
7）管理がしやすそうなのは？			
8）建設工事費が安くなりそうなのは？			
9）将来のまちづくりがうまく行きそうなのは？			
10）避難場所として安心して使えそうなのは？			
11）			

みんなでつくった「空間の関係図」を簡略化しました

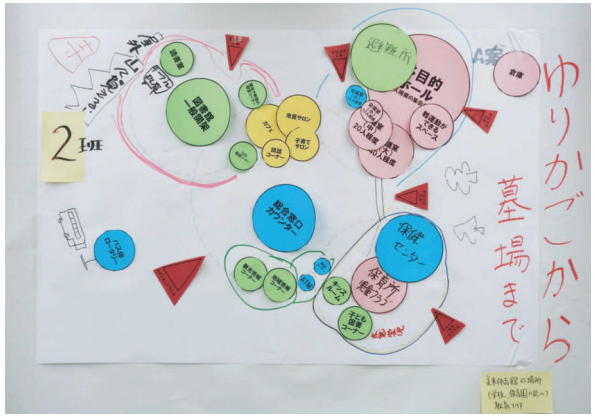
資料１-１ 美

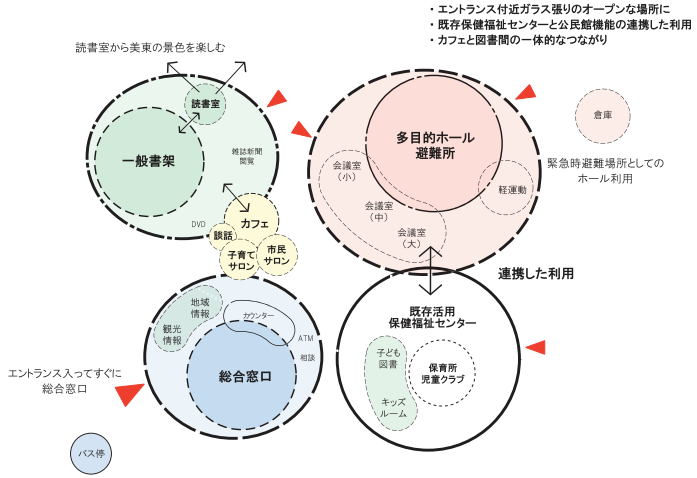
グループ１　大きな屋根のかかった「まち」のような居場所





グループ２　ゆりかごから墓場まで

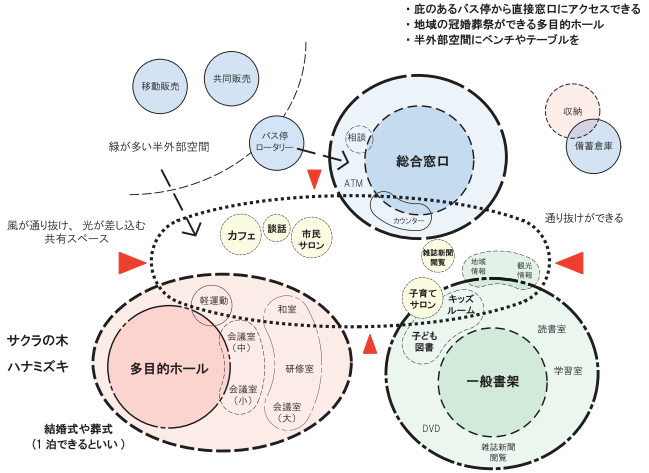




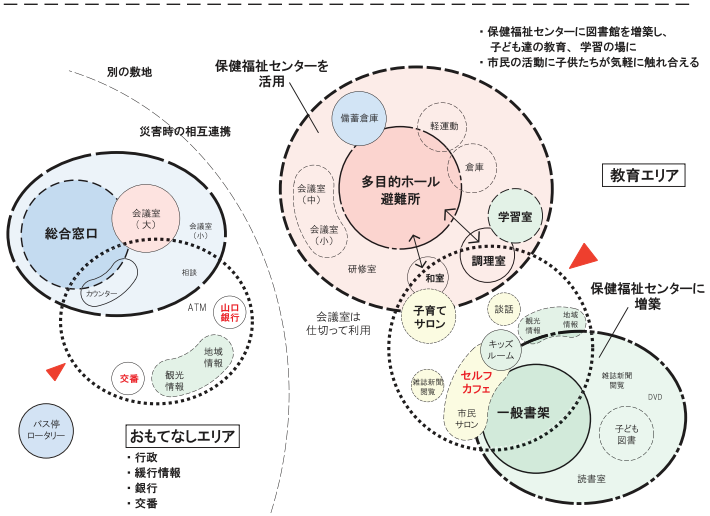
みんなでつくった「空間の関係図」を簡略化しました

資料１-２ 美

グループ3　光と風と共に集う!!



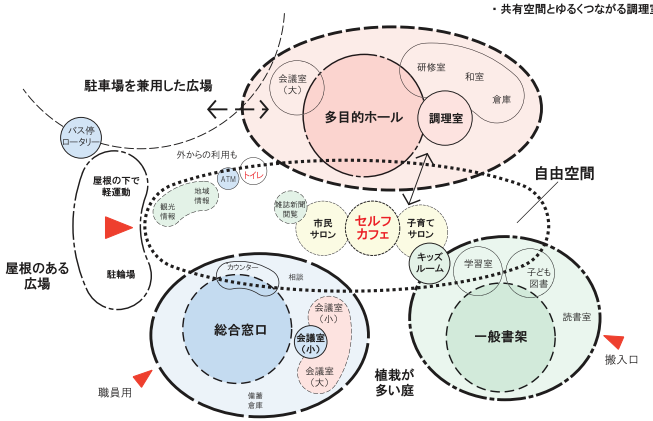
グループ4　「おもてなしエリア」と「教育エリア」でまちづくり



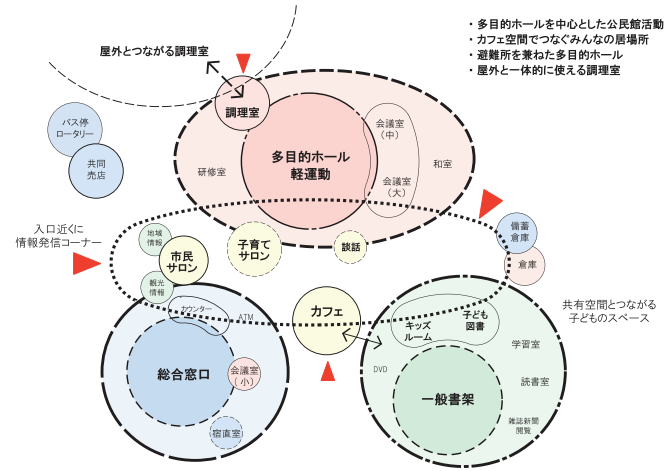
みんなでつくった「空間の関係図」を簡略化しました

資料１-３ 美

グループ5　市民がつながる自由空間



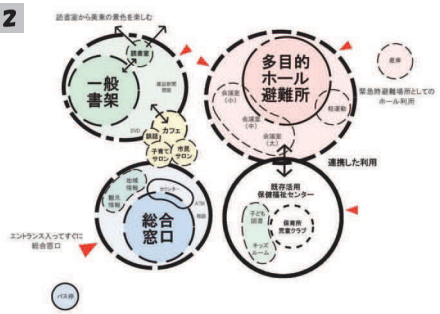
グループ6　みんなが とっても うれしい 町



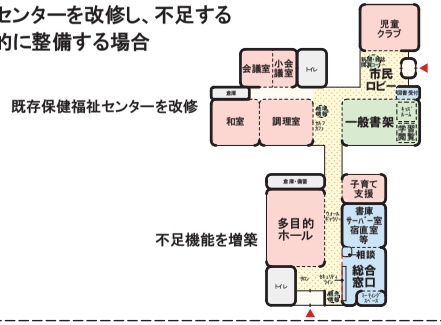
簡略化した「空間の関係図」を３つのタイプに分類し、整理しました

資料２ 美

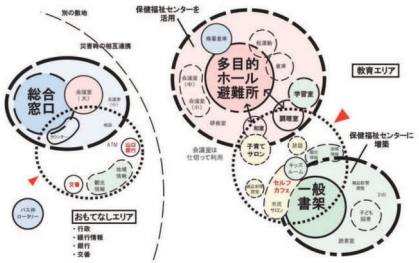
グループ2



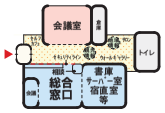
タイプ－１：既存の保健福祉センターを改修し、不足する機能を加え一体的に整備する場合



グループ4

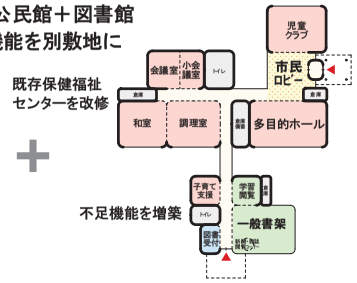


タイプ－２：保健福祉センターを中心に公民館＋図書館の複合した施設とし、支所機能を別敷地に整備する場合

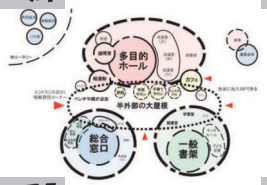


大田中央バス停付近に新築

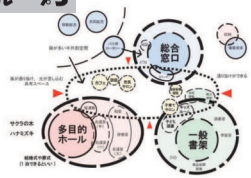
＋



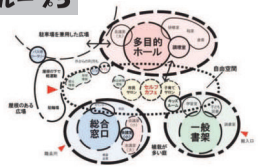
グループ1



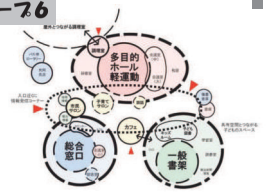
グループ3



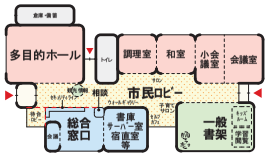
グループ5



グループ6



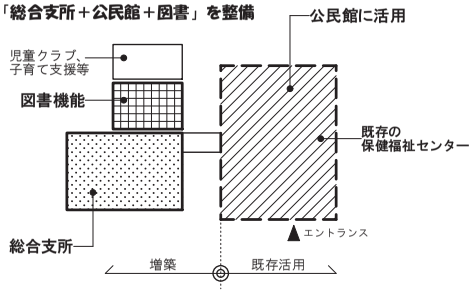
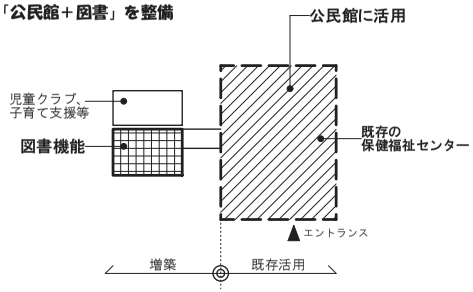
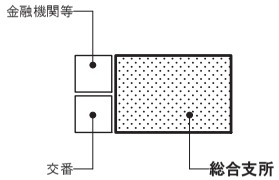
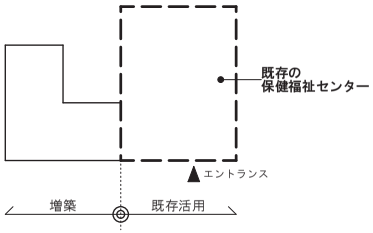
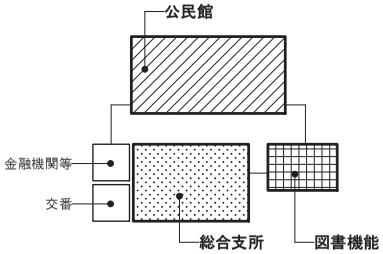
タイプ－３：大田中央バス停付近に総合支所＋公民館＋図書館を複合して整備する場合

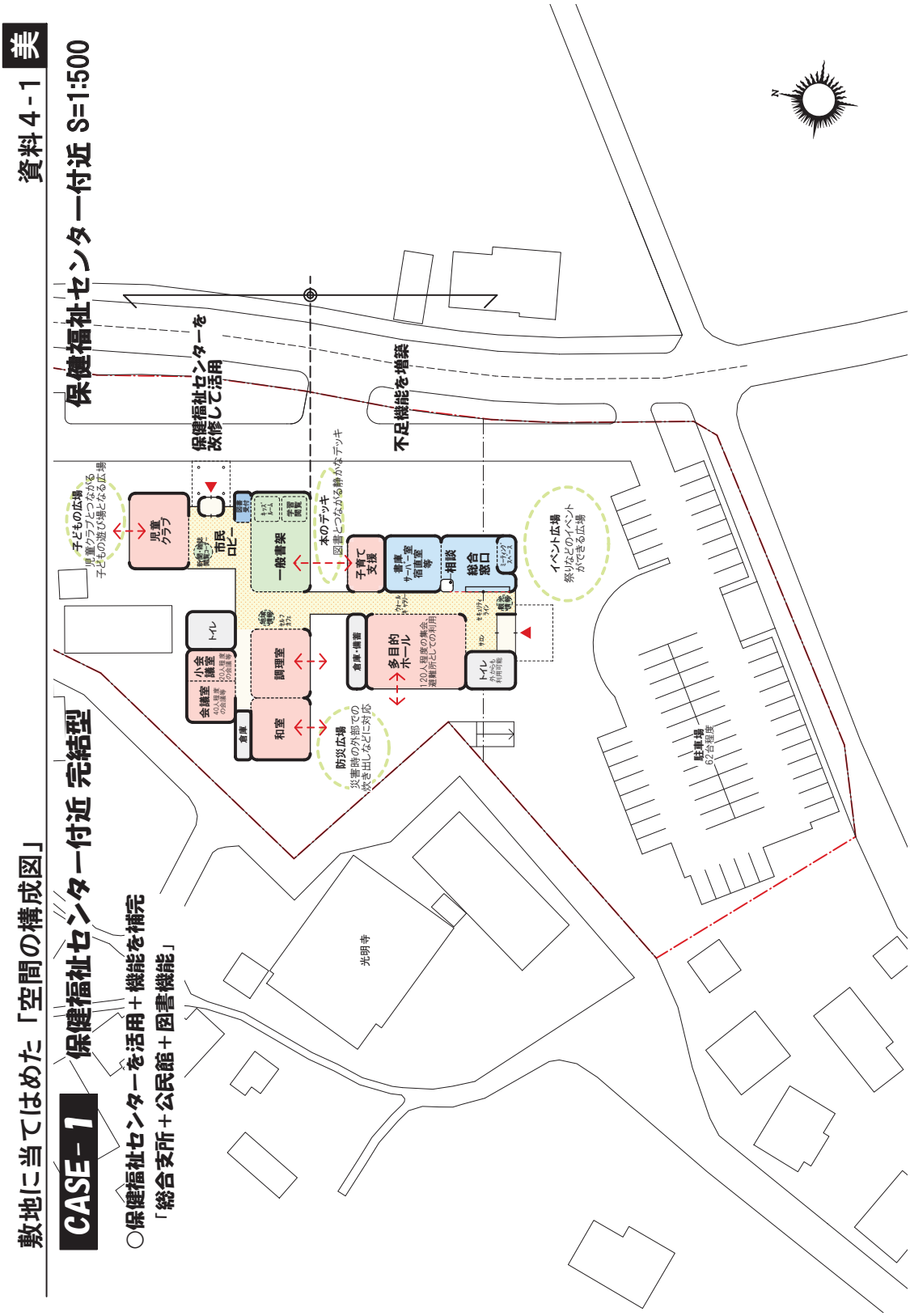


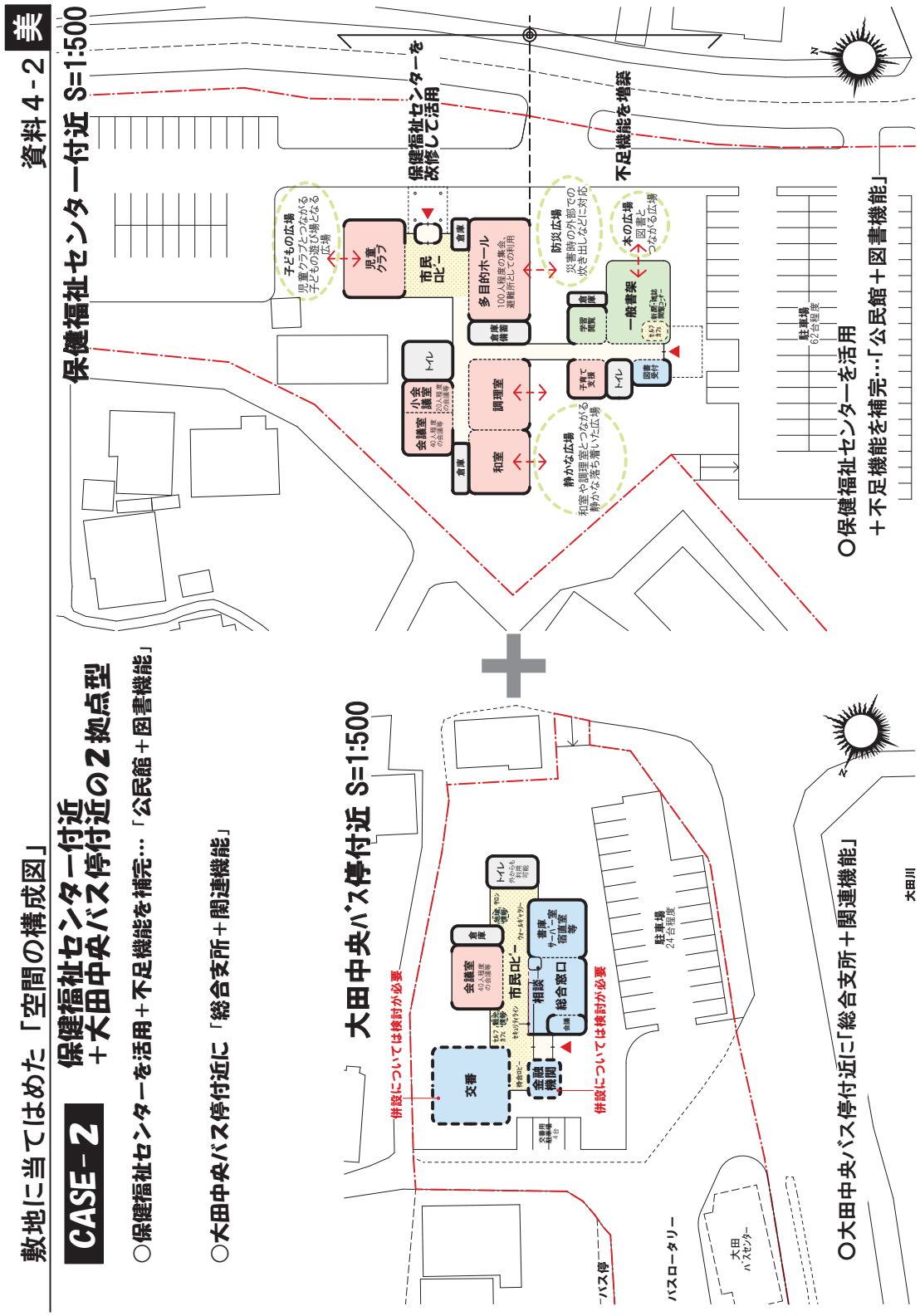
大田中央バス停付近に新築

建設候補地ごとに考えられる建設プログラム

資料３ 美

	保健福祉センター付近	大田中央バス停付近
CASE－1 保健福祉センター付近 完結型 ○保健福祉センターを活用＋機能を補完 「総合支所＋公民館＋図書機能」	「総合支所＋公民館＋図書」を整備  	
CASE－2 保健福祉センター付近＋大田中央バス停付近の２拠点型 ○保健福祉センターを活用＋機能を補完 …「公民館＋図書機能」 ○大田中央バス停付近に「総合支所＋関連機能」	「公民館＋図書」を整備  	「総合支所＋関連機能」を整備 
CASE－3 大田中央バス停付近 完結型 ○大田中央バス停付近に「総合支所＋公民館＋図書機能」 ・保健福祉センター付近 児童クラブ、子育て支援、将来的に保育園の整備を検討する	児童クラブ、子育て支援、将来的に保育園の整備を検討  	「総合支所＋公民館＋図書」を整備 


資料４-１ 美
敷地に当てはめた「空間の構成図」
CASE－１ 保健福祉センター付近 完結型
○保健福祉センターを活用＋機能を補完
「総合支所＋公民館＋図書機能」
保健福祉センター付近 S=1:500
保健福祉センターを改修して活用
不足機能を増築
子どもの広場
児童クラブとつながる子どもの遊び場となる広場
児童クラブ
市民ロビー
一般書架
本のデッキ
図書とつながる静かなデッキ
子育て支援
書庫 サークル室 個室等
相談
総合窓口
イベント広場
祭りなどのイベントができる広場
トイレ
小会議室
会議室
40人程度の会議等
倉庫
調理室
和室
倉庫・書庫
多目的ホール
120人程度の集会 避難所としての利用
トイレ
防災広場
災害時の外部での炊き出しなどに対応
光明寺
駐車場
62台程度


資料４-２ 美
敷地に当てはめた「空間の構成図」
CASE-２
保健福祉センター付近
＋大田中央バス停付近の２拠点型
○保健福祉センターを活用＋不足機能を補完…「公民館＋図書機能」
○大田中央バス停付近に「総合支所＋関連機能」
保健福祉センター付近 S=1:500
保健福祉センターを改修して活用
不足機能を増築
子どもの広場
児童クラブとつながる子どもの遊び場となる広場
児童クラブ
市民ロビー
倉庫
多目的ホール
100人程度の集会、運動所としての利用
倉庫備蓄
防災広場
災害時の外部での炊き出しなどに対応
本の広場
図書とつながる広場
一般書架
新聞・雑誌
倉庫
子育て支援
図書受付
トイレ
小会議室
40人程度の会議等
会議室
40人程度の会議等
調理室
和室
静かな広場
和室や調理室とつながる静かな落ち着いた広場
駐車場
62台程度
○保健福祉センターを活用
＋不足機能を補完…「公民館＋図書機能」
大田中央バス停付近 S=1:500
併設については検討が必要
交番
金融機関
市民ロビー
相談
総合窓口
書庫
サーバー室
宿直室等
会議室
40人程度の会議等
倉庫
トイレ
駐車場
24台程度
バスロータリー
大田バスセンター
○大田中央バス停付近に「総合支所＋関連機能」
大田川

敷地に当てはめた「空間の構成図」

資料４-３ 美

CASE－３　大田中央バス停付近 完結型

大田中央バス停付近 S=1:500

○大田中央バス停付近に「総合支所＋公民館＋図書機能」

・保健福祉センター付近
児童クラブ、子育て支援、将来的に保育園の整備を検討する

美東地域の新しい拠点づくりを考える

市民ワークショップニュース

発行：美祢市美東総合支所 総合窓口課

No.3

どこに、どのようにつくるか？具体的な検討をしました！

市民ワークショップも３回目を迎えました。今回も多くの市民の方々に集まって頂きました。現在のところ、敷地が確定していない状況ですが、保健福祉センター周辺か、大田中央バスセンター周辺か、の２カ所に絞られてきました。これまでに積み重ねてきた新しい地域の拠点のあり方に関する議論と、２回目のワークショップでつくった、６つの「空間の関係図」を基に、２つの敷地に当てはめた３つの「空間の構成図」が提案されました。

１つ目は、保健福祉センターを活用し不足機能を増築して必要機能を揃えるという考え方です。

２つ目は、保健福祉センターを活用し、公民館と図書館が一緒になった生涯学習機能を、不足機能を増築して整備する考え方です。

３つ目は、大田中央バス停付近に、交番、山口銀行敷地等を取り込んで整備する考え方です。

グループ毎に、この３つのケースについて１０の評価項目で評価した結果、保健福祉センター周辺に整備する考え方が広く支持されましたが、何処に建てるかは向こう５０年の美東地域のまちづくりの方向を決定づけてしまうともいえるため、もう少し議論を深めようということで結論は持ち越しとなりました。

31名の市民の方にお集まりいただき、議論が大いに盛り上がりました

第３回市民ワークショップ プログラム

- ステップ1　はじめに
- ステップ2　第3回市民ワークショップの流れを説明しました
- ステップ3　第2回ワークショップを振り返りました
- ステップ4　「空間の関係図」を基に作成した「空間の構成図」について説明しました
- ステップ5　3つのタイプに整理した「空間の構成図」を2つに絞られた建設候補地を想定し、敷地に当てはめた「空間の構成図」について説明しました
- ステップ6　**「空間の構成図」の案について、グループ毎に評価シートの項目に基づいて、それぞれのタイプを評価しました**
- ステップ7　**どのタイプの提案が良いかみんなで考えました**
- ステップ8　まとめ

みんなで考える新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ 12/15(日)
- まちの魅力、課題は何？
- こんな複合施設だったらいいな！

↓

◎美東中学校ワークショップ 1/16(木)

◎第2回ワークショップ 1/17(金)
- こんな使い方ができたらいいな！建物の機能とつながりを考えよう
- 総合支所、公民館、図書館が複合すると実現できそうなことを考えよう

↓

◎第3回ワークショップ 2/14(金)
- 計画案の比較検討
- 建設候補地の比較検討

↓

次回開催

◎第4回ワークショップ
- 建設候補地の比較検討

↓

◎第5回ワークショップ
- 基本計画について確認

・パブリックコメントの実施
・住民説明会 5回(予定)実施

↓

基本計画のとりまとめ

↓

◎第6回ワークショップ
- 配置、平面計画をみんなで考えよう
- 内部と外部空間のイメージを考えよう

↓

◎第7回ワークショップ
- 平面計画、断面計画をみんなで確認
- 建物の外観イメージを検討しよう
- 建物の性能を比較しよう

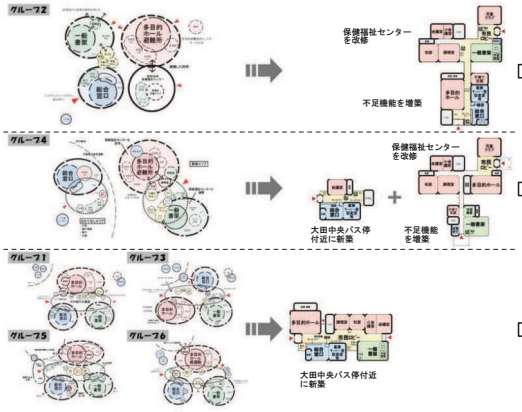
↓

基本設計のとりまとめ

ステップ4：第2回ワークショップでみんなでつくった「空間の関係」を基にした「空間の構成図」について説明しました

・みんなでつくった「空間の関係図」を簡略化・分類し、３つの「空間の構成図」に整理しました。

簡略化した「空間の関係図」を分類し、３つの「CASE」に整理しました。



CASE-1　保健福祉センター付近 完結型

CASE-2　保健福祉センター＋大田中央バス停付近の２拠点型

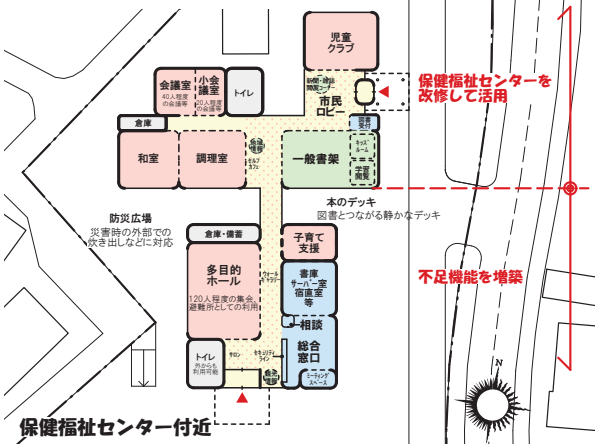
CASE-3　大田中央バス停付近 完結型

ステップ5：３つのタイプに整理した「空間の構成図」を２つに絞られた建設候補地を想定し、敷地に当てはめた「空間の構成図（イメージ図）」について説明しました

・建設候補地毎に利用方法（建設プログラム）についてまとめたものを説明しました。
・それぞれの敷地に「空間の関係図」を当てはめた「空間の構成図」を作成しました。その内容について説明しました。

CASE-1　保健福祉センター付近 完結型

○保健福祉センターを活用＋機能を補完

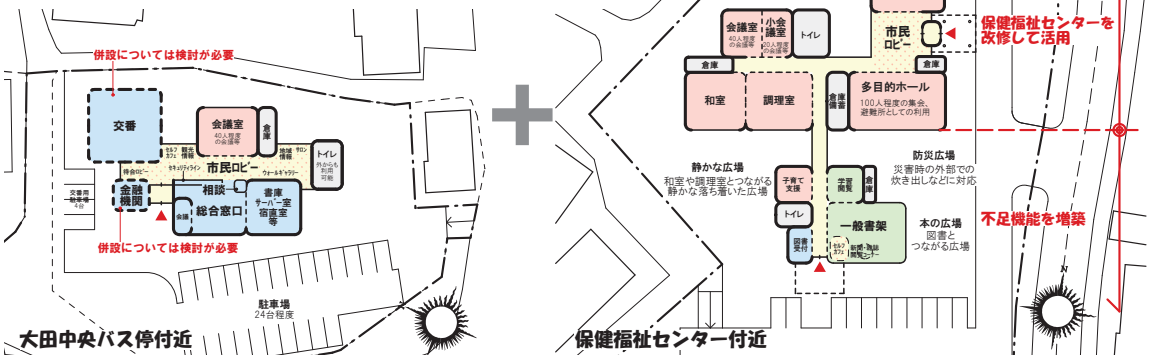


CASE-3　大田中央バス停付近 完結型

○大田中央バス停付近に「総合支所＋公民館＋図書機能」
・保健福祉センター付近
児童クラブ、子育て支援、将来的に保育園の整備を検討

CASE-2　保健福祉センター付近＋大田中央バス停付近の２拠点型

○保健福祉センターを活用＋不足機能を補完…「公民館＋図書機能」
○大田中央バス停付近に「総合支所＋関連機能」



ステップ６：「空間の構成図」の案について、グループ毎に評価シートの項目に基づいて、それぞれのタイプを評価しました

１）評価項目に基づいてそれぞれのタイプを評価して、最も評価の高い案を一つ選んでシートに◎をつけました。
２）意見が割れた提案があれば２番目の提案を１つ選んでシートに○をつけました。
３）グループ毎に各案の評価を発表しました。

グループ毎の「空間の構成図」の評価項目の集計表

数字は選んだグループの数を示します。

評価項目	CASE-1	CASE-2	CASE-3
1）気軽に立ち寄れることができそうなのは？	◎：1 ○：2	◎：2	◎：3
2）子どもたちが利用しやすいのは？	◎：6	○：2	○：1
3）高齢者が利用しやすいのは？	◎：1 ○：1	○：1	◎：5 ○：1
4）観光客・地区外の人が利用しやすいのは？		○：1	◎：6
5）文化活動がより盛んになりそうなのは？	◎：4 ○：2	○：2	○：1
6）図書館が使いやすそうなのは？	◎：3 ○：1	◎：2	◎：1 ○：1
7）管理がしやすそうなのは？	◎：4 ○：2		◎：1 ○：2
8）建設工事費が安くなりそうなのは？	◎：6		
9）将来のまちづくりがうまく行きそうなのは？	◎：3	◎：1 ○：1	◎：2 ○：2
10）避難所として安心して使えそうなのは？	◎：5		◎：1
グループ毎の総合評価	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2 (ｸﾞﾙｰﾌﾟ3) ｸﾞﾙｰﾌﾟ4 ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	(ｸﾞﾙｰﾌﾟ3)	ｸﾞﾙｰﾌﾟ6

※ｸﾞﾙｰﾌﾟ3についてはCASE-1かCASE-2で決めきれないという意見でした。

グループ１　最もCASE-1の評価が高い

ーグループの意見ー

・公共交通の面から安全度が高く、子供たちが寄りやすい、利用しやすい。
・これまでの保健福祉センターの活動を継続できる。
・敷地の取得が必要ないことや、現状の敷地で整備できる。
・交通の利便性や将来のまちづくりを考えると県道に面しているCASE3が良いのではないか、という意見も出た。

グループ２　最もCASE-1の評価が高い

ーグループの意見ー

・建物に掛かる費用等を抑えることができ、道路の拡幅、バスの路線の変更など、可能性が高い。
・大田中央バス停につくる場合は、カーブで見えにくい。大規模な道路の拡幅などが必要となる。
・施設を複合した場合、図書館が子どもたちに近く、静かな環境可能であれば銀行も保健福祉センター側に移設することで「政治・教育の場」とし、道の駅周辺は「商業の発展する場」にできる。

評価項目をもとにどのタイプが良いのか議論しました

グループ毎に選んだタイプとその理由を発表しました

グループ３　CASE-1かCASE－２で意見が割れました

ーグループの意見ー

・大田中央バス停に総合支所を設け、保健福祉センターに図書館等の機能を併設し、高齢者が美東病院に通う方が多く、帰りに総合支所に寄って、くつろげるような建物が欲しい。
・CASE-１とCASE-２の保健福祉センターを利用することで、高齢者と子供たちが楽しく過ごせる場所になるのではないか。
・総合支所を大田中央に設け、買い物や病院に行った後の待ち合わせ場所になるだろうし、山口市の図書館で借りた本を美東町で返せる仕組みを上手に利用良いのではないか。

グループ４　最もCASE-1の評価が高い

ーグループの意見ー

・地区外の人にとっては、保健福祉センターに来るのに迷ってしまう。大田中央バス停付近は目立つ。
・保健福祉センターは公共施設が集まっているため、気軽に立ち寄れそう。
・道路が整備されアクセスしやすくなればより良い。
・車場の台数や敷地の広さから、一番広く取れそうで、文化活動が盛んになるのではないか。
・一体管理、職員数や管理、警備の面、一箇所に集約した方が管理はしやすい。
・CASE3は用地代など考えると、かなりコストがかかってくる。
・教育特化のまちづくり。

グループ５　最もCASE-1の評価が高い

ーグループの意見ー

・病院があり、バスなど公共交通が整備されているという点がお年寄りや一般的に利便性が良いという評価となった。
・教育のまちとしてアピールしようという意見もあり、分けるのも良いのではないか。
・CASE3は、用地の買収が必要になってしまう。
・既存の設備をできるだけ使って建設費を安くして、なおかつ色々な機能が果たせるということから、CASE-１となった。

グループ６　最もCASE-3の評価が高い

ーグループの意見ー

・大田地区の人だけではなく、他の地区の人達が利用しやすい。
・大通りに面しているため目につきやすく、人が集まりやすい。
・子供達が大通りに出ずに入れる安全な道をつくることが必要。
・保健福祉センターでの機能を変えずに、児童クラブや子育て支援が利用できる。地域づくりの視点として中通りが活性化できるのではないか。
・病院に近く、バスを待つ間に図書館を利用できる。
・将来のことを考えると大通りに面していると良い。
・避難場所として使ったとき体調を崩した方などにとっては病院が近い方が良い。

ステップ7：どのタイプの提案が良いか個人で選んでもらいました

・「空間の構成図」の案について、グループ毎の評価の発表を踏まえて、どのタイプの提案が良いか個人の考えで選んでもらいました。

現時点でどのタイプが相応しいか集計しました

CASE-1	CASE-2	CASE-3
14人	5人	8人

「気軽に立ち寄れそう」「高齢者や観光客、大田地区外の人々が利用しやすい」という評価項目ではCASE-３が評価を得ましたが、その他の評価項目ではCASE-１が評価を得る結果となりました。総合的にCASE-１を選んだグループは「用地の取得が必要ない」「既存保健福祉センター活用による建設工事費の削減」などの整備にかかるコストを抑えることができるという利点を主な選定理由として挙げていました。
引き続き、新しい拠点をどこにどのように整備するのか議論を深める必要があります。

第3回 市民ワークショップ 感想カード

○それぞれのケースにメリット・デメリットがあり、他のグループの意見も参考になった。敷地をどこにするのがいいのかということは、個人的にもう一度よく整理しておきたい。

○建設候補地について話し合いがむずかしい！！資料を見てよくわかった。たくさんの話しが出た。だんだんむずかしい内容がとっても良かった。

○色々な考え方、思いがある事を感じました。何事もお金がからむことなので、場所は決まらない状態。町の将来を考えるには大変良い機会でした。

○「夢」のあるプログラムが現実味を帯びてきて色あせてきました！少し残念です。

○今日の話し合いではCASE１が賛成多数でしたが、市側の説明ではCASE３の方針が主流のような感じがしました。公共交通機関の話は重要だと思いますが、ワークショップの意見もしっかり踏まえて検討してもらいたいです。また、用地費もふまえて上で、方針を決定してもらいたいと思います。個人的には教育に力を入れてほしいです。

○存続が危機的な病院がある。住民は絶対に残してほしい思っている。病院が存続できるまちづくりを望む。

○いろんな立場の人の話が聞けてよかった。費用がかかる事でもあるし、将来の市民の状態をふまえ、有効な施設ができてほしい。

○せっかくみんなが一生懸命考えたことをもとにして、進めてほしいです。

○今日の会議で３回になり、毎回時間が足りないほどでした。各自、自分たちの子供や孫達の将来の為にまちづくりですから、熱が入りました。次回もとても楽しみです。どんな出来上がりになるのかワクワクします。とても楽しみです。

○建設場所の選定については、現実的な観点から（トータル予算）CASE1を選択したが、将来の美東町のまちづくりの観点から"教育"＋"病院"＋"老人介護"等を含めもっと協議を続けるべき

○行政側が持っておられる情報をまず教えていただいて、議論に入りたかったなという思いもありますが、情報がなかったことにより、思考の幅が広がり、それにより様々な意見がでたのかなとも思います。
課題を分類、整理していただいて、物事を考えやすいなと思います。ありがとうございます。建物もですが、それをどう運営し、生かしていくのか、その仕組みを考えていくことも重要だと考えます。

○総合支所、病院、交通機関等考えれば、CASE-３がいいのでは？

○CASE-２の保健センターの改修をほとんどせず、お金をかけずに大田中央に拠点をつくるのが理想。
今のCASE-２は、保健センターにお金をかけすぎなので、CASE-３＋保健センターが良い

美東地域の新しい拠点づくりを考える
第4回 市民ワークショップについて

4月10日に予定していた、ワークショップは延期になりました。

日時：令和2年 5月中下旬　予定！！

会場：美東保健福祉センター 大ホール

事前申込不要
誰でも参加ＯＫ！

4回目からの参加も大歓迎！！

世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

第4回市民ワークショップの内容
・計画案の比較検討
・建設候補地の比較検討

○問い合わせ先
〒754-0291 美祢市美東町大田5936
美祢市美東総合支所 総合窓口課
電話:08396-2-5000　fax:08396-2-5111
メール:m-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画(03-3383-8673)

美東地域の新しい拠点づくりを考える市民ワークショップ

紙上版

本来、４月１０日に予定していた第４回市民ワークショップですが、一度は７月１０日に開催することを決定したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、再度延期することとなりました。そのため、紙面上において、第３回ワークショップ以降の、事務局および計画チームの検討内容を市民の皆様と共有するとともに、現段階の計画案に対する意見を募りたいと思います。この紙上ワークショップを経て、基本計画の原案となる取りまとめへと進むことが出来るように、皆様のご協力をお願い致します。

ーおねがいー

1. 確認してください

第3回市民ワークショップ以降に、事務局と計画チームで検討してきた内容をまとめました。
資料の確認をお願いします。

（１）第３回市民ワークショップのおさらい　（資料-1）

第3回ワークショップでは、「子どもたちが利用しやすい」「用地取得の必要がない」「建設工事費の削減」などの観点から、**既存の保健福祉センターを活用しながら新しい複合施設を整備する案**が最も評価されました。

（２）施設整備における市の方向性　（資料-2）

（３）公民館、図書館、総合支所の構成についての基本的な考え方　（資料-3）

・公民館機能　：美東センターの利用実績や、住民ヒアリング、市民ワークショップでの議論を基に、公民館に必要な諸室を想定しました。

・図書館機能　：住民ヒアリングや、市民ワークショップでの議論を通して、美東地域の新しい図書館に求められる役割を整理し、必要な諸室を想定しました。

・総合支所機能：国交省、及び、総務省による基準、既存の美東総合支所を参考に総合支所に必要な諸室を想定しました。

2. ご意見をお聞かせください！

（1）施設整備における市の方向性について、ご意見をお聞かせください

（回答シート-①）

（2）保健福祉センターを活用した新しい総合支所の各機能のつながり方を3タイプ作成しました　（資料-4）
それぞれのタイプについてご意見をお聞かせください

既存の保健福祉センターを活用して、新しい複合施設としての総合支所を整備する上で、公民館、図書館、総合支所という3つの機能をどのように配置するかについて3つの考え方を提示します。
それぞれのタイプの考え方について、良い点、改善した方がいい点など、ご意見を、自由に図中に直接書き込んでください。
尚、3つの考え方のどれかを選ぶということではなく、記入いただいた意見を参考に、今後ひとつの基本計画へとまとめていきます。

タイプA：保健福祉センターを改修して**「公民館機能＋総合支所機能」**として活用、**「図書館機能＋多目的ホール」**を新たに増築する考え方

（回答シート-②）にご意見を自由に図中に直接書き込んでください！

タイプB：保健福祉センターを改修して**「公民館機能」**として活用、**「図書館機能＋総合支所機能」**を新たに増築する考え方

（回答シート-③）にご意見を自由に図中に直接書き込んでください！

タイプC：保健福祉センターを改修して**「公民館機能+図書館機能」**として活用、**「多目的ホール＋総合支所機能」**を新たに増築する考え方

（回答シート-④）にご意見を自由に図中に直接書き込んでください！

※児童クラブ、子育て広場について
現段階では各関係機関との調整段階で、今回の計画には、含めていません。今後、方針が決まり次第計画に反映していきます。

※各機能（部屋）に付随する設備機器や規模について
今後、活動団体等にヒアリング等を行い、具体的な検討を行い計画に反映していきます。

計画案に関するご意見は、同封している意見回答シート①～④にご記入の上、
7月22日までに、同封の返信用封筒でお送りください
頂いたご意見は、基本計画案をとりまとめる際に、参考にさせて頂きたいと思います。

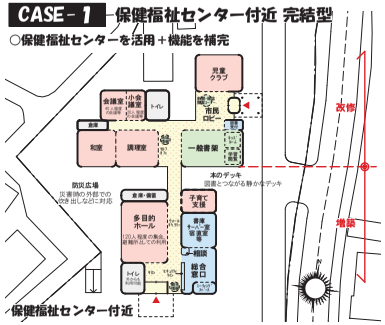
第３回ワークショップのおさらい

第２回ワークショップで作成した、空間の関係図を基に、３つの空間の構成図を提案しました。それぞれの案を評価してもらい、最もふさわしい案を選んでもらいました。

・建設候補地毎に利用方法（建設プログラム）についてまとめたものを説明しました。
・それぞれの敷地に「空間の関係図」を当てはめた「空間の構成図」を作成し、その内容について説明しました。

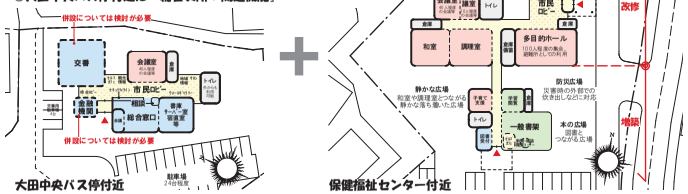
CASE－１　保健福祉センター付近 完結型

○保健福祉センターを活用＋機能を補完



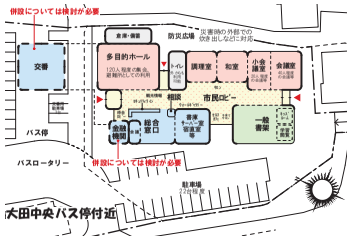
CASE－２　保健福祉センター付近＋大田中央バス停付近の２拠点型

○保健福祉センターを活用＋不足機能を補完…「公民館＋図書機能」
○大田中央バス停付近に「総合支所＋関連機能」



CASE－３　大田中央バス停付近 完結型

○大田中央バス停付近に「総合支所＋公民館＋図書機能」
・保健福祉センター付近に児童クラブ、子育て支援、将来的に保育園の整備を検討



「空間の構成図」の案について、グループ毎に評価シートの項目に基づいて、それぞれのタイプを評価しました

１）評価項目に基づいてそれぞれのタイプを評価して、最も評価の高い案を一つ選んでシートに◎をつけました。
２）意見が割れた提案があれば２番目の提案を１つ選んでシートに○をつけました。
３）グループ毎に各案の評価を発表しました。

グループ毎の「空間の構成図」の評価項目の集計表　　数字は選んだグループの数を示します。

評価項目	CASE－１	CASE－２	CASE－３
１）気軽に立ち寄れることができそうなのは？	◎：１ ○：２	◎：２	◎：３
２）子どもたちが利用しやすいのは？	◎：６	○：２	○：１
３）高齢者が利用しやすいのは？	◎：１ ○：１	○：１	◎：５ ○：１
４）観光客・地区外の人が利用しやすいのは？		○：１	◎：６
５）文化活動がより盛んになりそうなのは？	◎：４ ○：２	○：２	○：１
６）図書館が使いやすそうなのは？	◎：３ ○：１	◎：２	◎：１ ○：１
７）管理がしやすそうなのは？	◎：４ ○：２		◎：１ ○：２
８）建設工事費が安くなりそうなのは？	◎：６		
９）将来のまちづくりがうまく行きそうなのは？	◎：３	◎：１ ○：１	◎：２ ○：２
１０）避難所として安心して使えそうなのは？	◎：５		◎：１
グループ毎の総合評価	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2 (ｸﾞﾙｰﾌﾟ3) ｸﾞﾙｰﾌﾟ4 ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	(ｸﾞﾙｰﾌﾟ3)	ｸﾞﾙｰﾌﾟ6

※ｸﾞﾙｰﾌﾟ3についてはCASE-1かCASE-2で決めきれないという意見でした。

どのタイプの提案が良いか個人で選んでもらいました

・「空間の構成図」の案について、グループ毎の評価の発表を踏まえて、どのタイプの提案が良いか個人の考えで選んでもらいました。

現時点でどのタイプが相応しいか集計しました

CASE－１	CASE－２	CASE－３
１４人	５人	８人

「気軽に立ち寄れそう」「高齢者や観光客、大田地区外の人々が利用しやすい」という評価項目ではCASE－３が評価を得ましたが、その他の評価項目ではCASE－１が評価を得る結果となりました。総合的にCASE－１を選んだグループは「用地の取得が必要ない」「既存保健福祉センター活用による建設工事費の削減」などの整備にかかるコストを抑えることができるという利点、「小・中学校に近く子どもたちが利用しやすい」「避難所として安心して使えそう」などが主な選定理由として挙げていました。

資料２

新美東総合支所庁舎等整備における美祢市の方針について

１　方針決定までの経緯

（１）市民ワークショップにおいて

基本計画を策定する中で、整備候補地において資料１のとおり第３回市民ワークショップ（令和２年２月 14 日開催）において、参加者の皆さんに整備候補地について評価していただき、「美東保健福祉センター付近　完結型」が高い評価をいただきました。

（２）総合支所庁舎等整備庁内検討委員会において

市民ワークショップの意見も参考にしながら、本年６月に開催しました総合支所庁舎等整備庁内検討委員会で、整備について「整備候補地については、美東保健福祉センターを活用し整備する。」と方向性を決定しました。この方向性については、本年６月 17 日に市長へ報告をしました。

（３）市議会「新庁舎等建設特別委員会」において

本年７月１日に開催された新庁舎等建設特別委員会で、市長より「総合支所庁舎等整備庁内検討委員会の方針は、妥当であり尊重する。整備に当たっては、本市の財政計画とも整合を図りつつ、ワークショップでの住民からの意見を可能な範囲で反映させ、また、議会新庁舎等建設特別委員会のご報告を踏まえて事業を進めていく。」と発言されています。

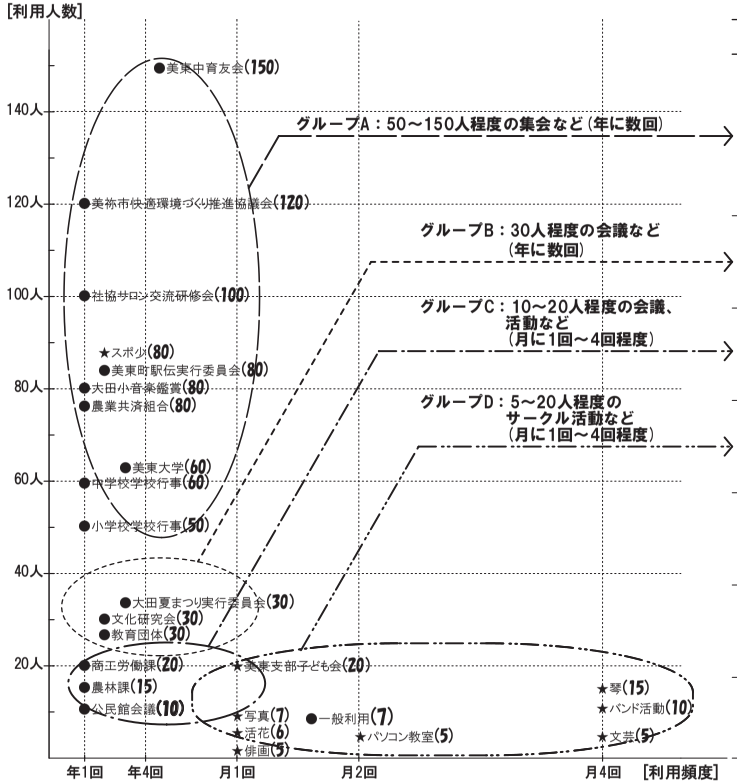
公民館、図書館、総合支所の構成についての基本的な考え方

資料－３

公民館機能

公民館機能の構成を検討するにあたって、住民ヒアリングや、現在の美東センターの利用状況の調査から、美東地区でどのような活動が行われているかを整理しました。（下左表）
その成果を基に、新しい公民館として必要な機能、空間の広さを想定し、公民館機能の構成を検討しました。（下右表）

現在の美東センターにおける、利用状況の整理



新しい公民館として必要な機能の構成

必要な機能、空間		主な利用形態のバリエーション
多目的ホール 最大250人程度が収容でき、地域の様々な活動に利用できる	平土間部分 200㎡程度 倉庫 ステージ 倉庫	・120人程度の研修、総会など ・250人程度の講演会、コンサートなど ・健康体操、保育園児の室内運動など ・100人程度の避難所としての利用
会議室（大） 45人程度までの会議、研修などに利用できる	65㎡程度 ＋ 収納	・45人程度までの会議、講座、研修など ・35人程度までのワークショップなど
会議室（小） 30人程度までの会議、研修などに利用できる	45㎡程度 ＋ 収納	・30人程度の会議、講座、研修など ・20人程度のワークショップなど ＊計画によっては、会議室と続き間として利用できる設えにすることも可能
研修室 工作やサークル活動などに利用できる	45㎡程度 ＋ 収納、水回り	・書道、習字、生花、その他サークル活動（サークル活動に必要な水回りを設置） ・小会議室の代用など
調理室 20人程度の調理実習などに利用できる	50㎡程度 ＋ 収納	・20人程度の調理実習など ・食推、弁当づくりボランティアの活動 ＊隣接する他の部屋(小会議室など)を試食スペースとして活用することも可能
和室（畳コーナー） 他の機能と連続して利用できる	12畳程度 ＋収納等	・調理実習後の試食スペースとして利用 ・図書館の読み聞かせコーナーとして利用 ・小人数の避難所としての利用　など
その他、市民ロビー、トイレ、授乳室、公民館事務など		[市民ロビーの利用バリエーション] ・気軽に集まれる、市民の居場所 ・展示ギャラリーとしてのスペース　など

公民館、図書館、総合支所の構成についての基本的な考え方

図書館機能について

住民ヒアリングや、市民ワークショップでの議論で得られた意見をもとに、美東地域の新しい図書館としての基本的な役割と、その役割を果たすために必要な機能・空間を想定しました。ただし、基本構想において図書館面積が１５０㎡と想定されており、すべての機能のためのスペースを確保するのが難しいことから、市民ロビー部分や畳コーナーなどを代替利用、重複利用するような運用のあり方を検討していくこととします。

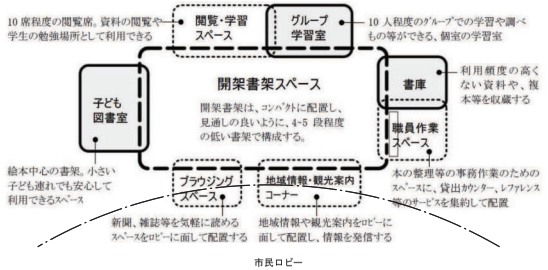
図書館機能の基本的な役割と、必要な機能・空間

住民ヒアリングや、市民ワークショップでの意見をもとにした、図書館の基本的な役割、および必要な機能・空間。

図書館機能の**基本的な役割**	**必要な機能・空間**
読書をしたり、新聞、雑誌などをゆっくり読んだり、必要な資料や情報を手にしたりすることができる	・開架書架スペース ・閲覧スペース（市民ロビーと共用を検討） ・新聞・雑誌コーナー（市民ロビーと共用を検討） ・貸出カウンター、レファレンス（公民館事務と共用を検討） ・書庫
音楽や映像作品などを鑑賞できる	・AVコーナー
個人での学習や、グループでの学習や調べものができる	・学習スペース（市民ロビーと共用を検討） ・グループ学習室
小さな子ども連れの親子でも気兼ねなく本に親しむことができる	・子ども図書コーナー ・読み聞かせコーナー（畳コーナーと共用を検討） ・幼児用トイレ ・授乳室
観光情報や、地域資料があり、地域のライブな情報を得ることができる	・地域資料コーナー ・観光情報コーナー（市民ロビーと共用を検討） ・地域情報コーナー（市民ロビーと共用を検討）

図書館機能の空間構成のイメージ

コンパクトに配置した開架書架のまわりに、必要な機能を配置する空間構成とする。



総合支所機能について

基本構想で想定された機能を基本とします。ただし、基本構想時点で想定されていた、小会議室、来庁者トイレについては、公民館機能の諸室と代替利用、重複利用することが可能なため、総合支所機能には含まないこととします。

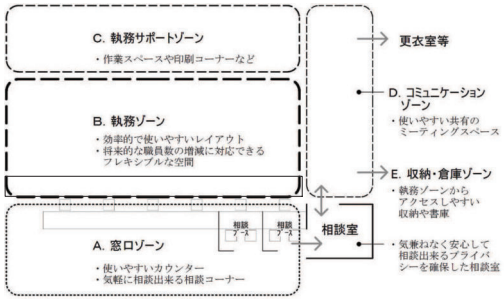
総合支所機能の基本的役割

総合支所機能としては、以下の基本的な役割が求められる。

- **地域住民に密着した行政サービスの提供**
- **地域まちづくり活動の支援**
- **災害時の防災拠点としての役割**

総合支所機能の空間構成のイメージ

総合支所機能の基本的役割を果たすために必要な機能をゾーンごとにまとめて配置し、単純で分かりやすい空間構成とする。



A. 窓口ゾーン　……窓口、相談コーナー、相談室など
B. 執務ゾーン　……執務室（18人程度を想定）
C. 執務サポートゾーン　……作業スペース、印刷スペースなど
D. コミュニケーションゾーン　……ミーティングスペースなど
E. 収納・倉庫ゾーン　……書庫、倉庫、サーバー室など

公民館、図書館、総合支所の各機能の構成は最終決定ではありません。今後計画を進めるにあたって市民の皆様の意見を反映させて頂きたいと思います。

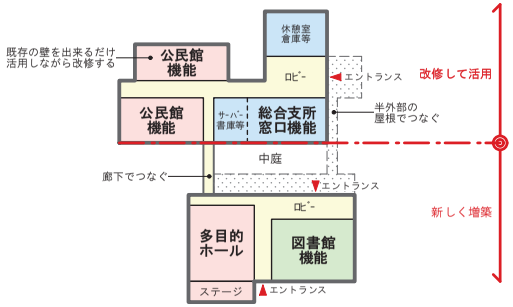
保健福祉センターを活用した、新しい総合支所の各機能のつながり方の考え方について

資料－４

タイプ-A

○保健福祉センターを改修して
「公民館機能＋総合支所機能」として活用

○「図書館機能＋多目的ホール」を新たに増築



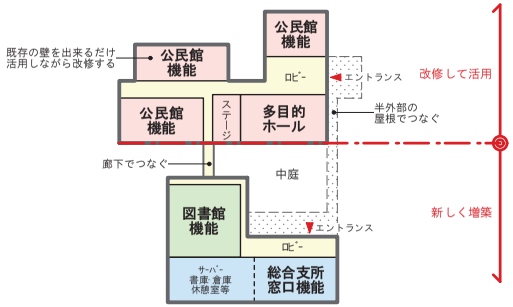
-特徴-
- 既存建物（保健福祉センター）の中心部に総合支所を設ける。
- 施設のほぼ中心に総合支所が配置されるため、増築部も含めた施設全体の管理がしやすくなる。
- 増設建物（新築部）に、図書館機能と多目的ホール（約200㎡）を組み合わせてつくる。
- 既存部との間に中庭を設け、施設全体のつながりをつくる。

-課題-
- 既存改修部と増設部が一体の施設として管理運営するための工夫が重要である。
- 図書館に個別窓口等が必要となる。

タイプ-B

○保健福祉センターを改修して
「多目的ホール＋公民館機能」として活用

○「図書館機能＋総合支所機能」を新たに増築



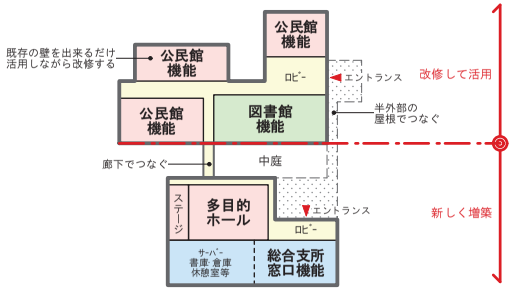
-特徴-
- 既存建物（保健福祉センター）の多目的ホールはそのまま活用し、主に公民館諸室で構成する。
- 既存部分に公民館機能のほとんどをまとめてつくることが出来るため、公民館としてまとまりがつくりやすい。
- 増設建物（新築部）に、総合支所機能と図書館機能を組み合わせてつくる。
- 総合支所に用事のある市民が、図書館に立ち寄って帰るなどの「ついで利用」が期待出来る。

-課題-
- 既存改修部と、増設部が一体の施設として管理運営するための工夫が重要である。
- 総合支所と公民館部が別物の施設になってしまわないような工夫が重要である。
- 総合支所が南の端に来てしまい、全体の一体的な管理が難しい。

タイプ-C

○保健福祉センターを改修して
「公民館機能＋図書館機能」として活用

○「多目的ホール＋総合支所機能」を新たに増築



-特徴-
- 既存建物（保健福祉センター）の多目的ホール部に図書館を設け、それ以外は公民館諸室で構成する。
- 公民館利用と図書館利用とのつながりがつくりやすい。
- 増設建物（新築部）に総合支所と多目的ホール（約200㎡）を組み合わせてつくる。

-課題-
- 既存改修部と、増設部が一体の施設として管理運営するための工夫が重要である。
- 総合支所が南の端に来てしまい、全体の一体的な管理が難しい。
- 総合支所と多目的ホールの利用上の棲み分けに工夫が必要。

回答シート－①

この度は紙上ワークショップにご協力いただき、ありがとうございます。
以下の項目についてご意見をお聞かせください。

お名前（　　）お住いの地区（　　）

（１）施設整備における市の方向性について、ご意見をお聞かせください

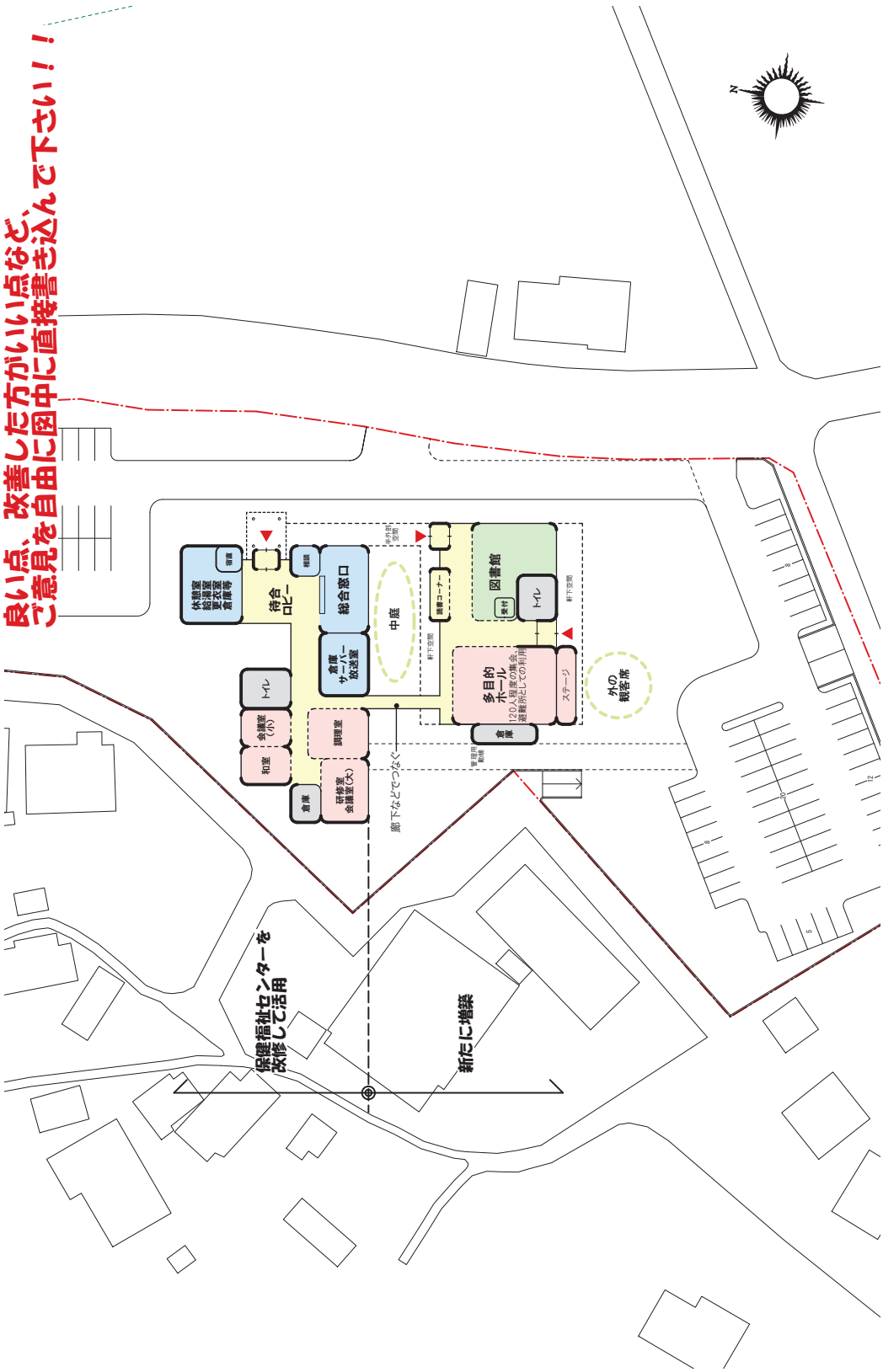
これまでの検討を踏まえ、「整備候補地については、美東保健福祉センターを活用し整備する」という方向性が、市から示されました。（資料-2　参照）
この考え方は、第3回ワークショップでの協議において、多くの参加者から支持された考え方でもありましたので、この基本的な方向性に基づいて、今後の検討を進めていくことにしたいと思います。
この方向性や今後の進め方等について、自由にご意見をお聞かせください。

―記入欄―

タイプ-A　保健福祉センターを「公民館機能＋総合支所機能」として活用し、「図書館機能＋多目的ホール」を新たに増築する案

回答シート-②

良い点、改善した方がいい点など、ご意見を自由に図中に直接書き込んで下さい！！

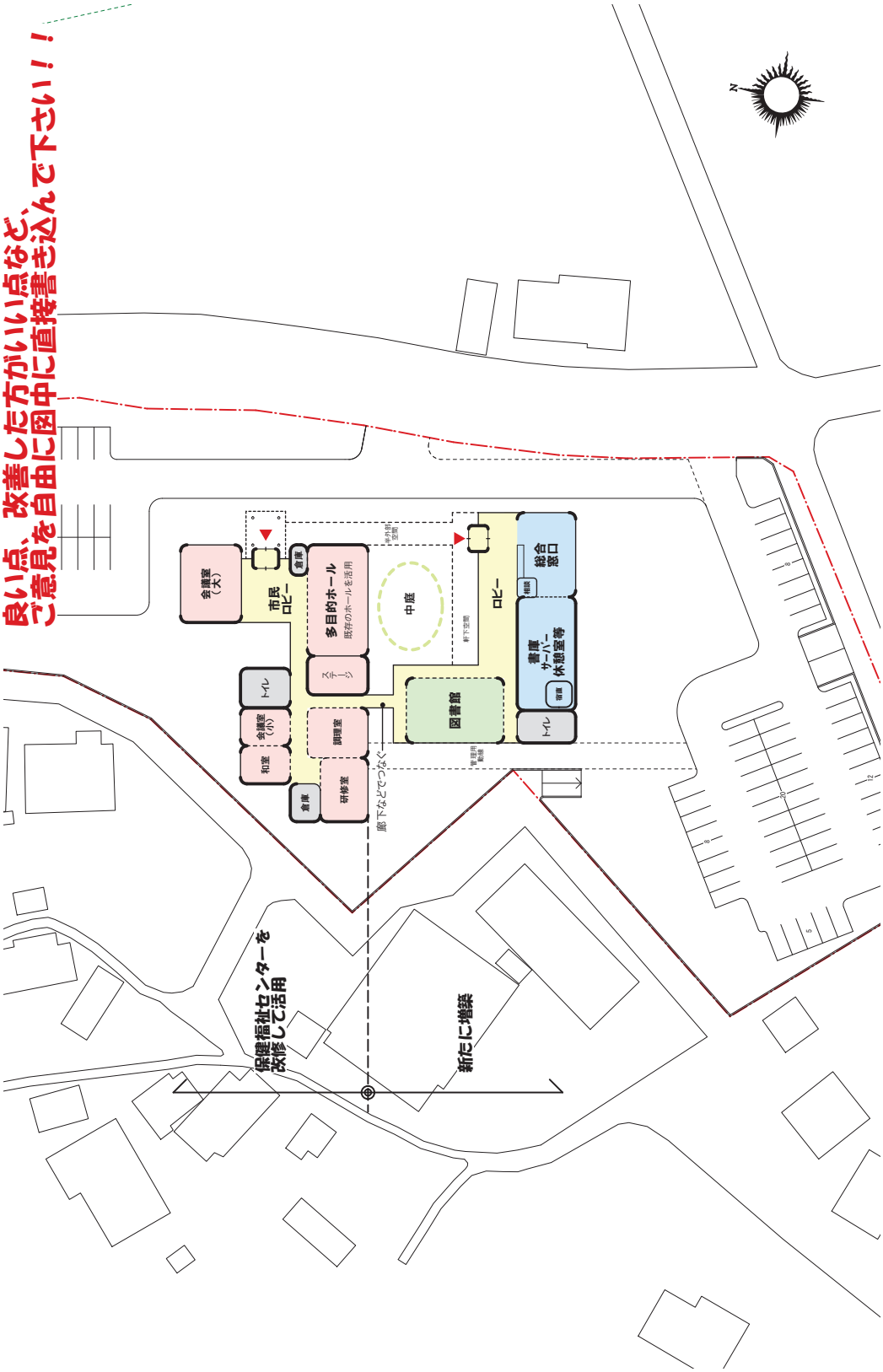


回答シート－③

タイプ－B

保健福祉センターを「公民館機能」として活用し、「図書館機能＋総合支所機能」を新たに増築する案

良い点、改善した方がいい点など、ご意見を自由に図中に直接書き込んで下さい！！



回答シート－④

タイプ－C

保健福祉センターを「公民館機能＋図書館機能」として活用し、「多目的ホール＋総合支所機能」を新たに増築する案

良い点、改善した方がいい点など、ご意見を自由に図中に直接書き込んで下さい！！

美東地域の新しい拠点づくりを考える

市民ワークショップニュース

発行：美祢市美東総合支所 総合窓口課

No.4

■施設整備に関する市の方向性に対して、紙上で意見を募りました

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、４月以降延期を余儀なくされていた第４回ワークショップについては、７月中旬に紙上ワークショップというかたちで実施しました。この紙上ワークショップでは第３回ワークショップまでの議論の成果を踏まえながら、市や議会により示された施設整備に関する市の方向性、**「保健福祉センターを活用し整備する」**ことについて、紙上で市民の皆さまにお知らせするとともにご意見を聞かせて頂きました。

■市の方向性に対する意見のまとめ

第３回までのワークショップ参加者をはじめとする市民６２名に資料を配布し、うち４２名分の回答が得られました。回答を整理した結果、市の方向性については、厳しい財政事情や益々進行する人口減少という状況の中で、**既存の保健福祉センターを上手に活用**してコンパクトにつくることで、全体事業費が抑えられ、用地取得の必要もないので、将来的な市民の負担を軽く出来ること、等が評価され、概ねの理解が得られたのではないかと思っています。

しかし、**「大田中央バス停付近に新しい拠点を整備する」**という意見が出されたことに対する十分な議論が出来ていないなどといった反対のご意見の声も上がっています。

■市民の意見を反映するための今後の計画の進め方

本来、第４回市民ワークショップにおいて議論すべき内容を一方通行のようなかたち（紙上ワークショップ）でお図りしてしまったことで、大切な議論の流れを混乱させてしまったように感じています。第４回市民ワークショップは、最も時間をかけて話し合うべき段階でしたが、コロナ禍で４ヶ月の空白が生じてしまったことで、少し性急に過ぎたと思っております。ご指摘いただいた内容についても、今後十分な検討を重ねていく必要があると思っています。

現在は、基本計画段階で、施設の大まかな枠組みを決める段階です。今後、基本設計段階でも、市民ワークショップにより検討を重ねて行く予定です。引き続き、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

みんなで考える新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ 12/15(日)

↓

◎美東中学校ワークショップ 1/16(木)

◎第2回ワークショップ 1/17(金)

↓

◎第3回ワークショップ 2/14(金)
- 計画案の比較検討
- 建設候補地の比較検討

↓

◎第4回ワークショップ(紙上協議)
- これまでのワークショップの成果の確認
- 市の方向性の確認
- ３つの機能のつながり方についての意見

↓

次回開催

◎第5回ワークショップ 9/18(金)
- 基本計画の方向性の確認

- パブリックコメントの実施
- 住民説明会の実施

↓

基本計画のとりまとめ

↓

◎第6回ワークショップ
- 配置、平面計画をみんなで考えよう

↓

◎第7回ワークショップ
- 建物の外観イメージを検討しよう
- 建物の性能を比較しよう

↓

基本設計のとりまとめ

■施設整備における市の方向性（配布資料から抜粋）

方針決定までの経緯

（１）市民ワークショップにおいて

基本計画を策定する中で整備候補地において第３回市民ワークショップ（令和２年２月１４日開催）において、参加者の皆さんに整備候補地について評価していただき、**「美東保健福祉センター付近完結型」**が高い評価をいただきました。

（２）総合支所庁舎等整備庁内検討委員会において

市民ワークショップの意見も参考にしながら、本年６月に開催しました総合支所庁舎等整備庁内検討委員会で、整備について**「整備候補地については、美東保健福祉センターを活用し整備する」**と方向性を決定しました。この方向性については、本年６月17 日に市長へ報告をしました。

（３）市議会「新庁舎等建設特別委員会」において

本年７月１日に開催された新庁舎等建設特別委員会で、市長より「総合支所庁舎等整備庁内検討委員会の方針は、妥当であり尊重する。整備に当たっては、本市の財政計画とも整合を図りつつ、ワークショップでの住民からの意見を可能な範囲で反映させ、また、議会新庁舎等建設特別委員会のご報告を踏まえて事業を進めていく。」と発言されています。

第４回ワークショップ（紙上協議）での意見のまとめ

第４回ワークショップ（紙上協議）において、次の２つのテーマに対する意見を出してもらいました。

１ 市の方向性に対して出された意見

２ 公民館機能、図書館機能、総合支所機能のつながり方に対して出された意見

以下では、回答者から出された意見のまとめを示します。

１ 市の方向性に対して出された意見

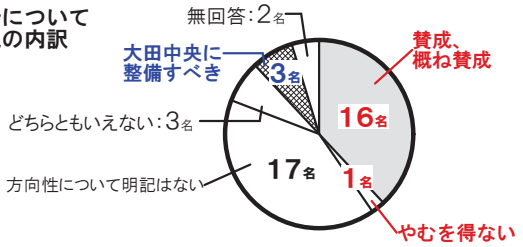
第３回ワークショップでの協議において、多くの参加者から支持された考え方でもある**「整備候補地については、美東保健福祉センターを活用し整備する」**という方向性が市から示されました。この基本的な方向性に基づいて、今後の検討を進めていくことにしたいと思います。市の方向性や今後の進め方等についての意見を市民から募り、出た意見を以下に整理しました。

第４回ワークショップ（紙上協議） 基本情報

回答期間　2020.7.13～2020.7.22

配布数	市民WS参加者	４６名
	その他	１６名
	合計	**６２名**
回答数	市民WS参加者	２９名
	その他	１３名
	合計	**４２名**

市の基本方針について出された意見の内訳



「保健福祉センターを活用し整備する」という方向性で賛成・やむをえない　…17／42名

○用地取得の費用が掛からない、保健福祉センターを有効活用できるなど整備費を抑えることができる

○小学校、中学校などの教育施設と連携が取れる

・スクールゾーンとの一体化、既存施設の有効活用の観点から多くの方々の意見が集中したものと思います。そこで、本地区に設置することになれば資金の節約（用地取得費、既存の保健福祉センターの有効活用等）につながると考えます。
・保健福祉センターを活用されれば、予算等も助かるかと思う
・整備候補地の選定について美東保健福祉センターを活用し整備するという方向性で良いと思います。方向性について異議ありません。
・(歴史的に)有意義な地に市の庁舎が一点にあることを願うことであり人々も誇りをもって足が運べるのではないかと思います。
・人が気軽に寄れる、集える場所として考えると、ワークショップでの評価意見どおり保健福祉センター活用案は最も希ったものとなっています。

まちの将来的な発展性を考えると「大田中央バス停付近」に整備した方が良い　…3／42名

○総合支所が町の顔として分かりやすい位置にあった方が良いのでは

○県道沿いの病院や商店などの利用がしやすくなる

・保育所の建て替えが迫られている状況でもあり関連した対応をいますることが必要と考えます。このようなことから、これまでのワークショップの意見から一歩踏み出して、現美東センター地を保育所とし、保健福祉センターと一体として子育て支援拠点とし、総合支所等は現大田中央バスセンター付近にまとめることが最適と考えます。
・美東町は立地的にも良く、コンビニ・スーパーなど充実しているので、「美東は便利よね」「住みやすいよね」「子育てするにはいい町よね」とお母さんたちの声。美東は子育て中のお母さんたちを応援する町としてアピールできるように再度検討してください。それができないのなら今まで通りこの施設を利用でき、保健センターはそのまま残し、大田バスセンターに新築する考えの方がいいです。
・財源が厳しい中での整備大変だと理解します。第3回WSでCASE-1が多かったのは事実ですが、CASE-2とCASE-3を合わせると半々の数になります。また立地については何らかの方法で検討が行われると思っていましたが、方向性は決定したんですね。
　持続可能なまちづくり
　①支所は町の顔として存在する。
　②外部からは単純に解り易い立地が良い。
　③定住、Ｉターン・Uターン、外部からの移住者が、魅力を感じるか？
　④支所をバスセンター周辺に設置することで、バス利用者、病院、商店、金融等の利用がし易くなり、またその様な施設を間接的に支援することになる。
　⑤支所と公民館＋図書館の管理、運営は別に考える。合理性を追求しすぎると、それぞれが中途半端になり、魅力も半減になる。
最初から保健福祉センター周辺ありきで結論が出た様な感じで、無難に納めたという印象です。人口減少、出生率低下、高齢化等、危機的な状況にある当町が、そういう平均的なやり方で良いか、その程度で良いか町民にも移住を考える方にも発展成長するんだと云うメッセージを与えることが出来るでしょうか？

市の方向性で計画を進めるにあたり、今後十分に検討しなければならないこと

○高齢者がバスなどの公共交通機関で来庁ができるようにしてほしい

・住民が利用しやすいよう、バス等を運行するなど利便性に配慮すること。
・高齢者等の自家用車での来庁が困難な方たちへの「足」の確保が必須だと思います。

○県道から車でアクセスしやすくしてほしい

・本候補地には県道からのメインとなる進入路がないので、美東病院前の交差点からの進入路をぜひ新設してほしい。

○美東地域以外の人からも分かりやすい施設となる様に工夫してほしい

・「美東総合支所ってどこにあるの？」と職場の方々に尋ねられることが度々ありました。地域外の方からは大変分かりにくい場所ですので、所在を明確にし、多くの方が利用できる様検討が必要かと思います。

○周辺施設との関連性を検討し、まちづくりとしての施設の位置づけを明確にしてほしい

・将来、文教ゾーンとしてのこの一帯の開発については、0歳児からの保育所、小・中一貫学校（義務教育学校）、児童クラブなど"教育のまち、美東"の実現に向け、図書館機能も文教ゾーンの一部として活用できるようにする。
・美東地域の多目的複合施設は保健福祉センターを活用し、保育園、小学校、中学校が存在する一画を文教ゾーンと位置付け、タイプ-Aにより整備することが最善と思います。

○複合してほしい機能について考えてほしい

・児童クラブや子育て広場については諸事情があるとは思いますが、是非計画段階から反映されるよう期待します。
・「社会福祉協議会」「シルバー人材センター」も１ヶ所にまとめることは出来ないですか？
要望として、現在美東センターの一画を「カルスト森林組合美東支所事務所」として利用させてもらっているので整備に当たっては、組合事務所の確保を是非ともお願いします。

計画を進めるうえで大切にしてほしいこと

○職員が管理しやすく、市民が利用しやすい総合支所としてほしい

・総合支所機能については、ハード面を「柔らかく明るい」ものにして、事務所感を出さないよう、「寄り易く」「親しみ」のあるものにして頂きたいと思います。それよりももっと、ソフト面についての充足を図っては如何でしょうか？
・支所と公民館＋図書館の管理、運営は別に考える。合理性を追求しすぎると、それぞれが中途半端になり、魅力も半減になる。

○子どもからお年寄りまでが気軽に立ち寄れる図書館としてほしい

・図書館は小さい子どもさんを連れたお母さんが寄り静かに読み聞かせてやれるようなスペースを、小学生、中学生は気軽に寄れて朝からでも勉強できるような静かな場所を、ちょっと時間が空いたお年寄りが静かに読書できる落ち着いた場所を提供できるよう今の図書館とは違う明るいものをつくってほしいです。（山口市民図書館が良い見本ですね！）

○親しみやすい集う場所（たまり場）がある美東地域の中心となる公民館としてほしい

・公民館についてはネット社会になればなるほど人と人との生の付き合いの場が大事になると思いますので話し合いができるスペース、趣味など一緒に活動ができるスペースの確保が必要と思われます。

・本候補地は大田小、美東中のゾーンに位置しているし、子どもたちの立ち寄り場の乏しい本地域であるので児童、生徒が気軽に立ち寄れる場（たまり場）を特に意識した施設にしていただきたい。

○災害に強い、避難所として利用できる施設としてほしい

・総合支所は美東地域の災害対策の拠点とならなければならないことから、本部となるであろう総合支所、避難所としても検討されている多目的ホールについては特に浸水対策に配慮をされたいと考えます。

○地域の木材をつかった木造の建物が良い

・建築方法は木造にしていただきたい。鉄筋コンクリート造だと５０年位で全面建て替えが必要だが、木造であれば部分的修繕が容易。
・施設の整備に当たっては、人や環境に優しく地域的に賦存する木材をふんだんに使用すること。

○ユニバーサルデザインを徹底してほしい

・洋式が絶対必要。それぞれ1ヶ所に車椅子対応トイレが絶対必要。室内を広くすることが必要。若い人・高齢者も足の悪い人が多くなってきている。その中に乳児用オムツ交換ができるベッドが必要です。金麗社に観光に来られてトイレ借用があった際、洋式ではないため道の駅まで案内したことが何件かある。

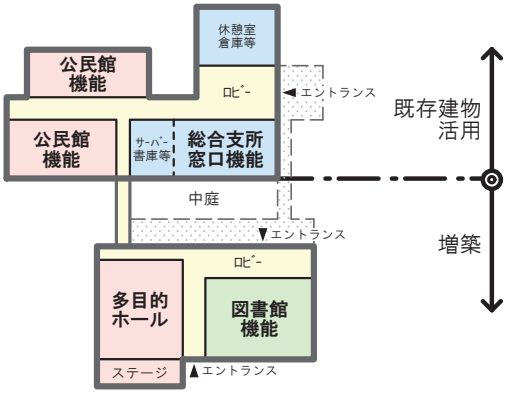
・各施設の出入口は自動ドアで出入りできるようにしてほしい。現総合支所の両開きドアは以前、風がひどく吹いて破損し、簡易自動ドアになりました。室内及びトイレの出入口には段差をつけず、スロープ式にすること。総合支所も5年ぐらい前に裏口に段差があり市民の要望でスロープをつけて、助かっている。

２ 公民館機能、図書館機能、総合支所機能のつながり方に対して出された意見

既存の保健福祉センターを活用して、新しい複合施設としての総合支所を整備する上で、公民館、図書館、総合支所という３つの機能をどのように配置するかについて３つの考え方を提示しました。それぞれのタイプの考え方について、良い点、改善した方がいい点など、記入いただいた意見を参考に、今後ひとつの基本計画へとまとめていきます。

タイプA

・保健福祉センターを「公民館機能＋総合支所機能」に活用
・新たに「図書館機能＋多目的ホール」を増築



出された意見のまとめ

-良いところ-

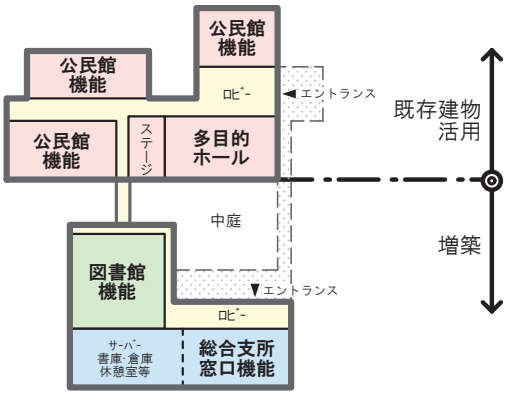
○多目的ホールと図書館がつながりいろいろな使い方が出来る
○多目的ホールのステージが外とつながりいろいろな使い方が出来そう
○公民館と支所が一緒にあると、管理がしやすそう
○総合支所が多目的ホールと離れているため、音の問題がない

-改善した方がいいところ-

○図書館と多目的ホールが隣り合うため、音が気になる
○公民館の事務室が分かる様にしてほしい
○入ってすぐのところに、倉庫や休憩室があり、もったいない

タイプB

・保健福祉センターを「多目的ホール＋公民館機能」に活用
・新たに「図書館機能＋総合支所機能」を増築



出された意見のまとめ

-良いところ-

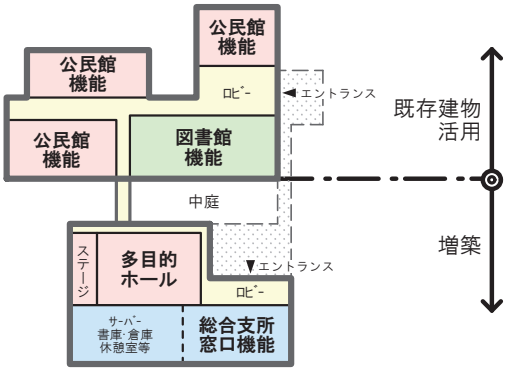
○総合支所窓口の待ち時間に図書館利用ができる
○総合支所が南側にあり、建物の玄関口になりそう
○総合支所で図書館の貸し出し業務を兼任できる
○多目的ホールと図書館、ロビーが中庭とつながりいろいろな使い方が出来そう

-改善した方がいいところ-

○多目的ホールの位置が分かりにくい
○中庭が大きすぎる
○運営時間の違う、図書館と総合支所のセキュリティ対策が必要
○公民館の事務室が分かる様にしてほしい

タイプC

・保健福祉センターを「公民館機能＋図書館機能」に活用
・新たに「多目的ホール＋総合支所機能」を増築



出された意見のまとめ

-良いところ-

○多目的ホールと図書館が中庭とつながりいろいろな使い方が出来る
○総合支所が南側にあり、建物の玄関口になりそう

-改善した方がいいところ-

○多目的ホールと総合支所が隣り合うため、音が気になり、相談などに支障をきたす
○運営時間の違う、多目的ホールと総合支所のセキュリティ対策が必要
○公民館の事務室が分かる様にしてほしい

美東地域の新しい拠点づくりを考える
市民ワークショップ

第５回

日　時：令和２年　９/１８(金) 18：30～21：00

場　所：美東保健福祉センター 大ホール

－テーマ－

- 第3回 WS から第4回 WS(紙上)までの流れを振り返ります
- 第4回 WS(紙上)に頂いた回答・意見についてまとめたものを確認します
- これまでの WS の成果を基にまとめた基本計画案について説明します
- 基本計画案について意見を出し合います

－プログラム－

18:30

ステップ１：はじめに

・あいさつ(美東総合支所長)

18:40

ステップ２：第５回ワークショップの目的と流れを説明します

・第5回ワークショップの目的と流れを説明します。

18:45

ステップ３：第３回ワークショップから、第４回ワークショップ（紙上）までの流れを振り返ります

・第3回 WS(2/14 開催)から新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて WS が開催出来ない状況の中で、7月に行った第4回 WS(紙上)までの流れを振り返ります。
（ワークショップ便り）（資料－１）

19:00

ステップ４：第４回ワークショップ（紙上）で出された意見についてまとめたものを説明します

・第4回 WS(紙上)で出された意見をまとめました。その内容について説明します。
・まとめた意見について、全体で議論します。**（資料－２）**

19:20

ステップ５：これまでのワークショップで出された意見を集約して計画チームでまとめた基本計画（素案）について説明し、全体で話し合います

・これまで WS などで出された意見と、これまで検討して来た民間施設の複合化の方針の決定など、いろいろな計画的な条件を踏まえて、計画グループでひとつの素案にまとめました。その考え方について説明します。**（資料-3）**

・基本計画素案について、敷地の中での配置、空間要素ごとのつながり、既存部と新築部の関係などについて検討して、気がついたことなどを発表しあい、全体で議論します。

20:20

ステップ６：新総合支所のその他の整備方針および事業スケジュールなどについて確認します

・新総合支所への交通アクセス計画、防災計画、事業スケジュールなどについて確認します。**（資料-4）**
・全体で意見を出し合って議論します。

20:50

ステップ７：　まとめ

・今日のまとめと今後の計画づくりの流れを説明します。
・感想カードを書いて下さい。

第３回市民ワークショップから第４回ワークショップ（紙上協議）に至った経緯

資料-1　美

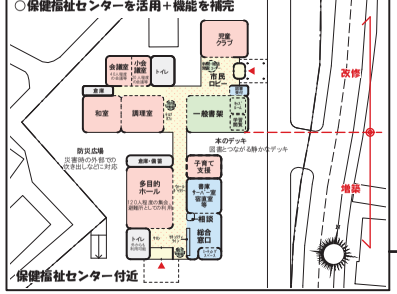
第３回市民ワークショップでの協議

第３回市民ワークショップでは、美東地域に相応しい建設場所、及び、空間の構成はどのタイプが相応しいか？を個人の考えで選んでもらいました。

第３回市民ワークショップで最も評価された案

CASE-1　保健福祉センター付近 完結型

○保健福祉センターを活用＋機能を補完



グループ毎に、どの案が適しているか、選んでもらいました。

	CASE-1	CASE-2	CASE-3
グループ毎の総合評価	ｸﾞﾙｰﾌﾟ1 ｸﾞﾙｰﾌﾟ2 (ｸﾞﾙｰﾌﾟ3) ｸﾞﾙｰﾌﾟ4 ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	(ｸﾞﾙｰﾌﾟ3)	ｸﾞﾙｰﾌﾟ6

※ｸﾞﾙｰﾌﾟ3についてはCASE-1かCASE-2で決めきれないという意見でした。

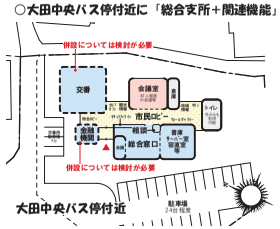
グループの評価を踏まえ、個人の意見で選んでもらいました。

	CASE-1	CASE-2	CASE-3
個人の総合評価	14人	5人	8人

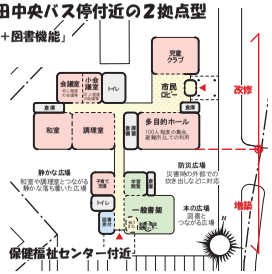
CASE-2　保健福祉センター付近＋大田中央バス停付近の２拠点型

○保健福祉センターを活用＋不足機能を補完…「公民館＋図書機能」

○大田中央バス停付近「総合支所＋関連機能」



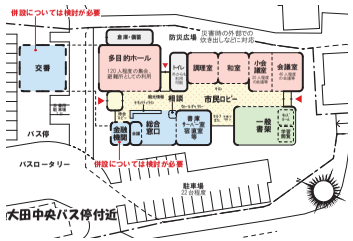
＋



CASE-3　大田中央バス停付近 完結型

○大田中央バス停付近「総合支所＋公民館＋図書機能」

・保健福祉センター付近に児童クラブ、子育て支援、将来的に保育園の整備を検討



市の方向性

第３回ワークショップで最も評価されたCASE-1

保健福祉センター付近に完結型

美祢市が直面する、高齢化の進行、出生率の低下（昨年美祢市の出生数76人）といった課題や、既存の保健福祉センターを活用することができる、という利点を踏まえると、出来るだけコンパクトにつくり、財政負担を減らすという方針が庁内検討委員会にて示された。

市の方向性

「保健センターを活用し、新しい複合施設を整備」することとなった

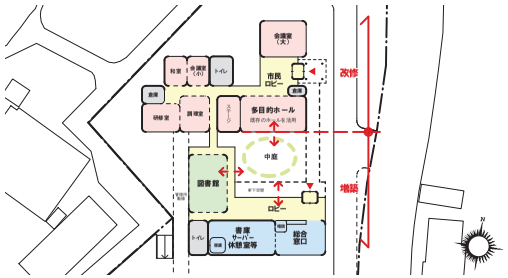
市の方向性を受けて、CASE-1の基本理念を大切にして、基本計画の作成業務を進めた。

第４回市民ワークショップ（紙上協議）での協議

第４回市民ワークショップ（紙上協議）のでは、公民館、図書館、総合支所という３つの機能をどのように配置するかについて、良い点、改善した方がいい点など、意見を出してもらいました。

タイプ-A　保健福祉センターを「公民館機能＋総合支所機能」として活用、「図書館機能＋多目的ホール」を新たに増築する案

タイプ-B　保健福祉センターを「公民館機能」として活用、「図書館機能＋総合支所機能」を新たに増築する案



タイプ-C　保健福祉センターを「公民館機能＋図書館機能」として活用、「多目的ホール＋総合支所機能」を新たに増築する案

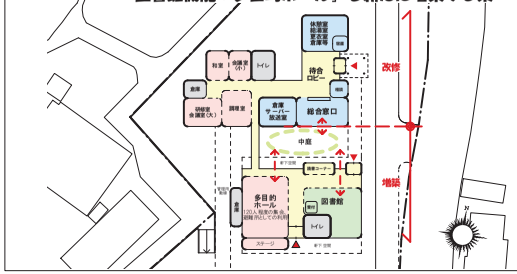
第４回ワークショップ（紙上協議）での意見のまとめ、及び、基本計画案（素案）のとりまとめ

資料-2 美

第４回市民ワークショップ（紙上協議）でのタイプごとの意見

第４回市民ワークショップで出された「空間の構成図」の各タイプ毎の意見を以下にまとめました。

タイプ-A　保健福祉センターを「公民館機能＋総合支所機能」として活用、「図書館機能＋多目的ホール」を新たに増築する案



出された意見のまとめ

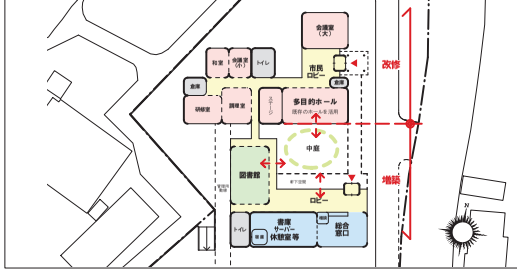
-良いところ-

○多目的ホールと図書館がつながりいろいろな使い方が出来る
○多目的ホールのステージが外とつながりいろいろな使い方が出来そう
○公民館と支所が一緒にあると、管理がしやすそう
○総合支所が多目的ホールと離れているため、音の問題がない

-改善した方がいいところ-

○図書館と多目的ホールが隣り合うため、音が気になる
○公民館の事務室が分かる様にしてほしい
○入ってすぐのところに、倉庫や休憩室があり、もったいない

タイプ-B　保健福祉センターを「公民館機能」として活用、「図書館機能＋総合支所機能」を新たに増築する案



出された意見のまとめ

-良いところ-

○総合支所窓口の待ち時間に図書館利用ができる
○総合支所が南側にあり、建物の玄関口になりそう
○総合支所で図書館の貸し出し業務を兼任できる
○多目的ホールと図書館、ロビーが中庭とつながりいろいろな使い方が出来そう

-改善した方がいいところ-

○多目的ホールの位置が分かりにくい
○中庭が大きすぎる
○運営時間の違う、図書館と総合支所のセキュリティ対策が必要
○公民館の事務室が分かる様にしてほしい

タイプ-C　保健福祉センターを「公民館機能＋図書館機能」として活用、「多目的ホール＋総合支所機能」を新たに増築する案

出された意見のまとめ

-良いところ-

○多目的ホールと図書館が中庭とつながりいろいろな使い方が出来る
○総合支所が南側にあり、建物の玄関口になりそう

-改善した方がいいところ-

○多目的ホールと総合支所が隣り合うため、音が気になり、相談などに支障をきたす
○運営時間の違う、多目的ホールと総合支所のセキュリティ対策が必要
○公民館の事務室が分かる様にしてほしい

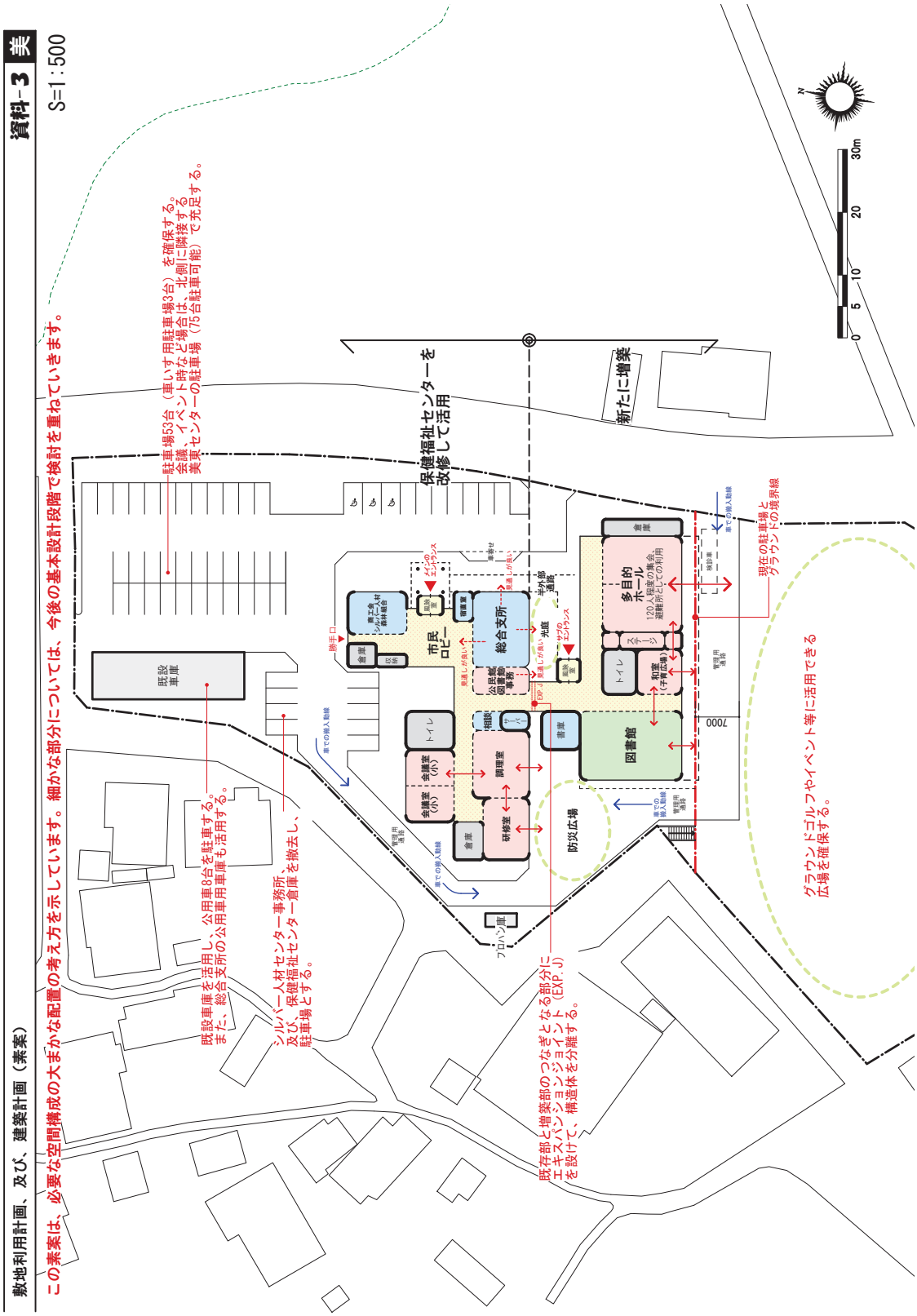
意見を踏まえた基本計画案（素案）のとりまとめ

出された意見を総合的に分析・集約し、一つの基本計画案（素案）としてまとめました。（詳細については資料-３を参照）

現段階での基本計画案（素案）

主な特徴や改善点（詳細については資料-３を参照）

○改修部分と増築部分の間の中庭をコンパクトにする
○訪れた人にとって分かりやすい（管理も行いやすい）建物の中心に公民館・図書館事務所を設ける
○図書館を多目的ホールからある程度離し、静かな図書館とする
○図書館、多目的ホールとつながる和室（子育て広場と兼用）を設ける
○商工会、シルバー人材、森林組合を併設する
○グラウンドゴルフやイベント等に活用できる広場を確保する


資料-3 美
敷地利用計画、及び、建築計画（素案）
S=1:500
この素案は、必要な空間構成の大まかな配置の考え方を示しています。細かな部分については、今後の基本設計段階で検討を重ねていきます。
駐車場53台（車いす用駐車場3台）を確保する。
会議、イベント時など場合は、北側に隣接する
美東センターの駐車場（75台駐車可能）で充足する。
保健福祉センターを
改修して活用
新たに増築
既設
車庫
既設車庫を活用し、公用車8台を駐車する。
また、総合支所の公用車用車庫も活用する。
シルバー人材センター事務所
及び、保健福祉センター倉庫を撤去し、
駐車場とする。
市民
ロビー
総合支所
公民館
図書館
多目的
ホール
120人程度の集会、
避難所としての利用
トイレ
ステージ
和室
（子育て広場）
倉庫
研修室
調理室
会議室（小）
会議室（小）
相談
防災広場
プロパン庫
車での搬入動線
管理用通路
勝手口
区画
メインのエントランス
サブのエントランス
光庭
屋内外部通路
車寄せ
既存部と増築部のつなぎとなる部分に
エキスパンションジョイントを設けて、構造体を分離する。
(EXP. J)
現在の駐車場と
グラウンドの境界線
グラウンドゴルフやイベント等に活用できる
広場を確保する。
7000
0
5
10
20
30m
N

主な整備方針と事業スケジュール

資料-4 美

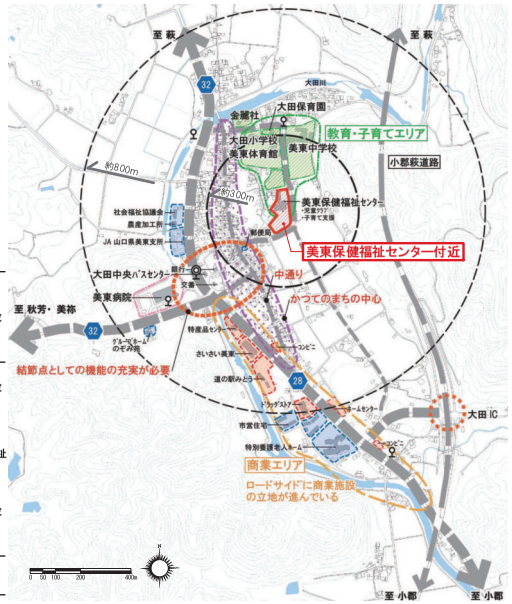
まちづくりの考え方

今後、美東地域のまちづくりを考える上で、周辺の保育園、小学校、中学校、体育館との一体的に教育・子育てエリアの拠点施設としての、計画づくりが重要となる。

また、結節点となる大田中央バス停からの交通アクセス方法を確保し、子どもからお年寄りまですべての人にとって利用しやすい、複合施設とする。

建設候補地からの水平距離

半径約300m以内の主な施設	児童クラブ	施設に複合
	子育て支援	施設に複合
	美東体育館	教育施設
	美東中学校	教育施設
	大田小学校	教育施設
	大田保育園	教育施設
	郵便局	業務関係施設
半径約300～800mの主な施設	金属社	業務関係施設
	銀行	業務関係施設
	交番	業務関係施設
	JA山口県美東支所	業務関係施設
	社会福祉協議会	医療・福祉施設
	農産物加工所	医療・福祉施設
	大田中央バスセンター	医療・福祉施設
	美東病院	医療・福祉施設
	グループホームのぞみ苑	医療・福祉施設
	特産品センター	商業施設
	さいさいみとう	商業施設
	道の駅みとう	商業施設
	コンビニ	商業施設
	ドラッグストア	商業施設
	ホームセンター	商業施設
半径約800m程度の主な施設	市営住宅	
	特別養護老人ホーム	
	コンビニ	



交通アクセス計画

高齢者や若年世代など自ら移動手段を持たない人たちにとって、公共交通機関の整備状況は重要な意味を持つことになる。

人口減少が進むに連れ、かつてあったバス路線も廃止や間引き運転が常態化している。美東地域では、現在左図に示す路線のみが存続している状況である。しかし、これらの路線でもバス利用者は限られ、走っているバスのほとんどが誰も乗車していないことが多く、路線維持も厳しい状況が続いている。

想定される敷地である元保健福祉センター周辺は、公共交通機関のカバーするエリアから外れており、交通弱者にとっての足の確保が大きな課題となる。

バスルートを延伸してバス停を設けることは費用対効果を考慮すると現実的ではないといえる。新しい施設への公共交通アクセス方法については、今後、有効な手段を検討する。

防災計画

「美祢市地域防災計画」に基づき、災害対策拠点としての役割および地域住民の避難場所として、必要な機能を検討します。

（1）行政機能の継続性の確保と早期の機能回復、及び、災害対策本部の支部としての機能

「美祢市業務継続計画」において、業務継続計画（BCP）を定めており、災害時の利用できる資源に制約がある状況下において、非常時優先業務をあらかじめ特定し、業務中断による混乱を最小限にとどめ、行政機能の継続性の確保と早期の機能回復を図る。

①支所部分において、災害発生後は直ちに災害対策本部美東支部として利用できるように検討する
②災害発生時における管内の情報収集、及び、応急対策、関連機関との伝達機能に支障をきたさないように、自家発電設備やバッテリー等の予備電源の整備を図る
③保管上重要な書類、サーバーや非常用電源などの災害対策応急活動等に必要な機能を収蔵する場所は、河川氾濫時の想定浸水深よりも高い位置とし、耐火性の高いつくりとする
④緊急時、災害時における被災者等への的確な情報提供を行う設備の整備を図る
⑤災害時に対応した備蓄倉庫の整備を計画する

（2）避難所としての機能

あらかじめ、災害時において避難する被災者数や避難期間、受け入れ態勢などを想定し、安全に一定の生活環境を確保できる計画を検討する。

①多目的のホールや会議室、和室を避難所として有効に活用できる構成とする
②炊き出しや支援物資集積拠点として活用できる構成とする
③断水時に雨水や井水の中水利用の可能性を検討する
④断水時にも利用可能なマンホールトイレなどの設置を検討する
⑤駐車場や広場などを屋外避難場所として活用できる計画とする

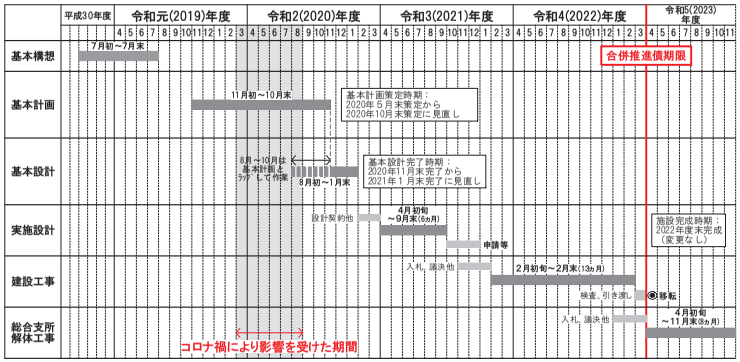
（3）土砂災害対策

複合施設の建設場所の一部は、土砂災害防止法（山口県指定）により、土石流の危険がある地域（土砂災害警戒区域）に指定されている。複合施設は、大田地区の災害拠点も有していることから、安全性を高める対策を講じるとともに避難路を想定した機能の配置等を検討する。また、ハード面だけでなく、ソフト面での対応を検討する。

事業スケジュール

合併推進債の期限である2022年度末の完成を目標とします。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業スケジュールを基本構想策定時点のスケジュールから見直しました。ただし、合併推進債の期限が2022年度末であるため、施設の完成時期は当初の予定通り2022年度末を目標とします。



美東地域の新しい拠点づくりを考える

市民ワークショップニュース

No.5

発行：美祢市美東総合支所 総合窓口課

基本計画(案)をとりまとめるための素案について、参加者から概ねの合意が得られました！

昨年末から取り組んできた、新美東総合支所庁舎等整備の基本計画づくりの市民ワークショップが、コロナ禍の影響で４ヶ月間以上開催できず、第４回は紙上での変則的な開催となりました。

第５回もグループでの議論を避けるため間隔を開けた教室型での開催となりましたが、9月18日に開催することができました。36名の方々にお集まりいただき様々な意見が出され、時間が足りなくなり、説明が途中で終わってしまったため、9月28日に延長戦を行い、33名の方に参加いただきました。計画チームから、施設を構成する機能の大まかなつながり方や、既存部と増築部とのつながり方などについて説明を行ったのち、参加者の方々から、自由に意見を出していただきました。

周辺の教育施設と一体的に「教育・子育てエリア」としてのまちづくりを進めることが重要であるという意見や、現在、保健福祉センターで活動している「児童クラブ」は、引き続き新しい施設にも複合したほうが良いのではないかといった意見などが出されました。議論は白熱しましたが、地域がおかれている状況の中で、保健福祉センター施設の有効活用をベースとする考え方を基本計画の素案とする方針に概ねの合意が得られました。この成果を反映して基本計画(案)を取りまとめ、10月6日から11月4日まで、総合支所や各出張所などで公開し、パブリックコメント(意見募集)を実施しています。

基本計画は、施設整備の基本理念や施設構成の大枠についての考え方を示すもので、施設の詳細については、引き続き、基本設計段階で検討を重ねていきます。

第5回市民ワークショップでは36名、後日行われた延長戦では33名の市民の方に参加して頂き、とても有意義な議論を行うことができました。

第5回市民ワークショップ（9/18、9/28）プログラム

ステップ1	はじめに
ステップ2	第5回市民ワークショップの目的と流れを説明
ステップ3	第3回市民ワークショップから、第4回市民ワークショップ（紙上）までの流れの確認
ステップ4	第4回市民ワークショップ（紙上）で出された意見についてまとめたものを説明
ステップ5	これまでの市民ワークショップで出された意見を集約して計画チームでまとめた平面計画素案について説明
ステップ6	新総合支所の主な整備方針および事業スケジュールについて確認
ステップ7	まとめ

みんなで考える新しい拠点づくりの流れ

基本計画段階

◎第1回ワークショップ 12/15(日)

↓

◎美東中学校ワークショップ 1/16(木)

◎第2回ワークショップ 1/17(金)

↓

◎第3回ワークショップ 2/14(金)
- 計画案の比較検討
- 建設候補地の比較検討

↓

◎第4回ワークショップ(紙上協議) 7/13(月)～7/22(水)
- これまでのワークショップの成果の確認
- 市の方向性の確認
- ３つの機能のつながり方についての意見

↓

◎第5回ワークショップ 9/18(金)
- 市の方向性の確認
- 基本計画（素案）の確認

◎第5回ワークショップ延長戦 9/28(月)
- 市の方向性の確認
- 基本計画（素案）の確認

- パブリックコメントの実施　10/6(火)～11/4(水)
- 住民説明会の実施

↓

基本計画のとりまとめ

基本設計段階

◎第6回ワークショップ
- 配置、平面計画をみんなで考えよう

次回開催

↓

◎第7回ワークショップ
- 建物の外観イメージを検討しよう
- 建物の性能を比較しよう

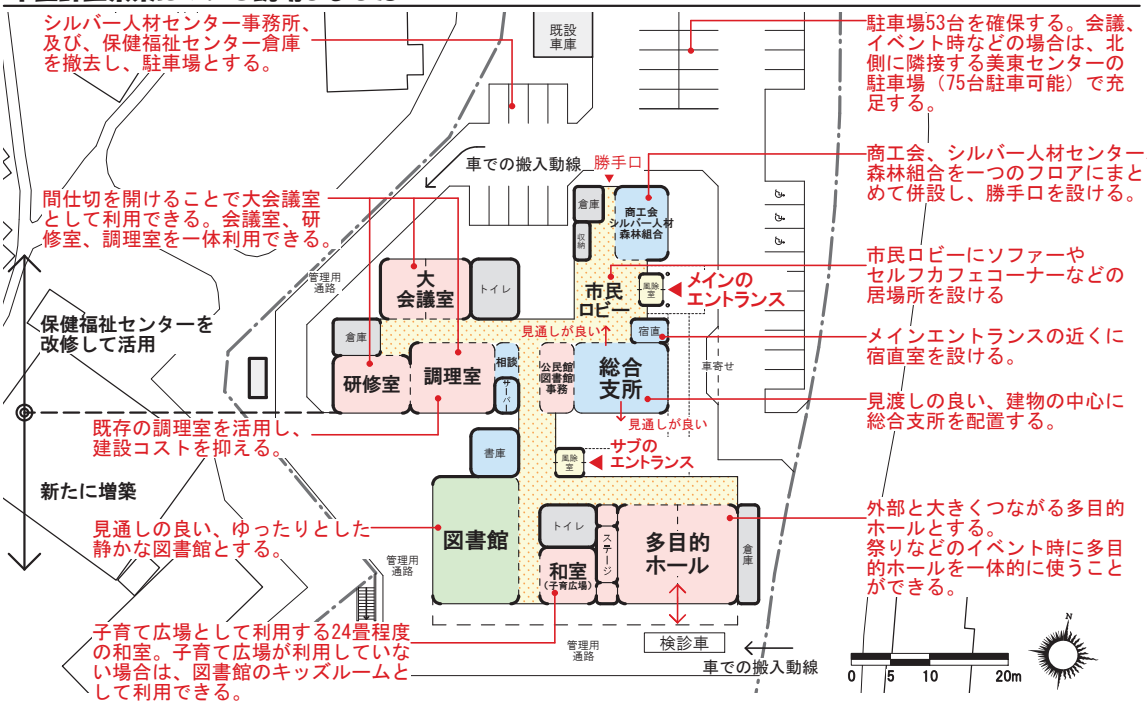
↓

基本設計のとりまとめ

↓

実施設計段階へ

平面計画素案について説明しました



素案の特徴：

①既存の保健福祉センターを可能な限り活用し、建設に係る整備費を抑える
②エントランスにつながる位置に、気軽に立ち寄れる市民ロビーを設け、総合支所の待合空間と兼ねる
③総合支所と隣接して公民館・図書館事務所を設け、運営、管理を行いやすいようにする
④会議室、研修室、調理室などの公民館機能の諸室は、間仕切りの工夫により柔軟に使えるようにする
⑤多目的ホールは、外部と大きくつながり、イベント時に一体的に利用できるようにする
⑥見通しが良く、ゆったりとした図書館とする

ワークショップでは、参加者から様々な意見が出されました

○保健福祉センターを活用して新しい施設を整備する場合、保育園、小学校、中学校と近いため、子供たちが利用しやすい建物としてほしい

○新しい複合施設を中心とした「子育て・教育エリア」としてのまちづくりの方向性を考えなければならない

○現在、保健福祉センターで活動を行っている「児童クラブ」を引き続き、新しい施設でも利用できるようにしてほしい

○公民館、図書館事務室が図書館から離れているため、図書館利用が不便ではないか

○図書館の規模及び機能についてより具体的な検討をしてほしい

○既存改修部と増築部に分かれた建物となるため、市民の利用、運営、管理の双方の視点から、つながり方を検討すべきではないか

感想カードの中から、一部を紹介します

○どうして福祉センターを利用するのが良いのか、また現実的なのかよく理解できました。より新しいところがより活用できるものになればよいと願います。

○将来の美東の住民に誇れる建物ができてほしい。予算と期限があることなので、仕方ないのは分かった。余裕をもって計画してほしかった。

○建築計画に参加して全員がOKは難しいことを改めて感じました。美東町の未来を考え、子供たちの未来を考え、より良い建物をお願いします。学童（児童クラブ）が計画から外れていて、すごく悲しかったですが皆さんの子供たちを大切に思ってらっしゃる事が感じられてとても良い時間でした。

○積極的承認はできませんが、なるべく我々の意見を取り入れていただけたら嬉しいです。美東センターは不具合がいっぱいあり、市民のつかいやすいセンターにしてほしいです。

○基本計画は今日で終了だと思うのですが、図書館に対しての思いがありますし、ほかのことでも細かな計画を聞いたり、意見を言う場があれば、ぜひ参加したいです。

○ワークショップも５回となれば、率直な意見がたくさん出て面白いし、興味があり有意義でした。地元を愛するが故です。いつも感じますが非常に良いワークショップです。

基本計画は施設の大まかな枠組みを決める段階です。今後の基本設計段階では、施設の詳細な部分を検討していきます。
今後も市民ワークショップを予定しておりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

○お問い合わせ先：美祢市美東総合支所 総合窓口課　〒754-0291 美祢市美東町大田5936番地
TEL: 08396-2-5000　FAX: 08396-25111　E-mail: m-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
基本計画･基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画 TEL: 03-3383-8673

まちの中心づくりを考えよう！
美東中学校 まちづくりワークショップ

日 時：令和２年 1/16（木） 13:40～15:30（5･6 時限）

場 所：美東中学校

－プログラム－

13:40
ステップ1：はじめに

・あいさつ
・現在計画づくりを進めている美東総合支所、美東センター、美東図書館の建替え計画と、12/15 に開催した第１回市民ワークショップの内容等について説明します。
・今日の美東中学校まちづくりワークショップの進め方について説明します。

13:50
ステップ2：美東のまちの、ここが好き

・まちの中で、気に入っていること、ものは何ですか？
・美東のまちに暮らしていて好きな場所や、大切な場所はどこですか？
ポストイットに記入して下さい。
※いくつでも構いません。一つのことを一枚に書いて下さい。（以下の作業でも同様にして下さい）

14:00
ステップ3：美東のまちの、ここは何とかしたいな

まちの中で、ここは何とかしたいな（課題だな）と思うことはなんですか？
ポストイットに記入して下さい。

14:10

ステップ4：「こんな場所があったらいいネ」、
「こんなことができたらいいネ」について考えましょう

まちの中心に、美東総合支所と美東センター、美東図書館を一緒につくる計画です。
その中に、「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」と思うことはなんですか？ ポストイットに記入して下さい。

＊ 休 憩（14:30～14:40）＊

14:40

ステップ5：ポストイットを模造紙に貼り付けて整理しましょう

グループで出た、「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」などの意見を、模造紙に貼り付けて整理しましょう。

15:00

ステップ6：全体に発表しましょう

ステップ５の成果を、全体に発表しましょう。

15:20

ステップ7：感想カードを書いてください

市民ワークショップでの作業成果物

まちの中心づくりを考えよう！

まちづくりワークショップニュース

発行：美祢市美東総合支所
総合窓口課

美　東
中学校

美東地域の新しい拠点づくりを考える美東中学校ワークショップを開催しました！

私たちは、こんな拠点施設が欲しい！！

地域の新しい拠点づくりを考える市民ワークショップが進んでいる中、地域の将来を担うことになる中学生は、今、何を考え、何を求めているのかを探ろうということで、2020年1月16日、美東中学校において、2年生29名の参加による中学生ワークショップを開催しました。4～5名ずつ、6班に分かれて、まず、自分たちが住んでいる地域の良さをどのように感じているのか、また、何を課題と感じているのかについての意見を出し合ってもらいました。自然環境の豊かさ等について多くの生徒さんが高く評価している様子が分かりました。また人が集まる賑やかな場所が無いことに対する不満等も持っていることも分かりました。

次に、これから整備する地域の新しい拠点施設に対し、こんなことが出来たら良いな、こんな場所があったら良いな、という希望をグループに分かれて自由に出し合ってもらいました。明るく入りやすい施設にしてほしいという意見や、イベントが出来る場所が欲しい、個人や友達と一緒に勉強したり本を読んだりするゆったりした図書館が欲しい、カフェ，飲食店等のお店が欲しい、SNSで地域の情報発信をしたい、雨風をしのげる快適なバス停をつくって欲しい等の意見が出されました。中学生も、気軽に集まることができ、みんなの居場所となる場所を求めていること等が分かりました。

このニュースでは、中学生WSでの話し合いの詳細についてお知らせします。

美東中学校ワークショップ プログラム

ステップ1　はじめに
・現在計画づくりを進めている美東総合支所、美東センター、美東図書館の建替え計画と、12/15に開催した第1回市民ワークショップの内容等について説明

ステップ2　美東のまちの、ここが好き
・まちの中で、気に入っていること、ものについてポストイットに書き出してもらいました
・美東のまちに暮らしていて好きな場所や、大切な場所に丸シールを貼ってもらいました

ステップ3　美東のまちの、ここは何とかしたいな
・まちの中で、ここは何とかしたいな（課題だな）と思うことをポストイットに書き出してもらいました

ステップ4　「こんな場所があったらいいネ！」、「こんなことができたらいいネ！」について考えましょう
・まちの中心に、美東総合支所と美東センター、美東図書館を一緒につくる計画です
・その中に、「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」と思うことをポストイットに書き出してもらいました

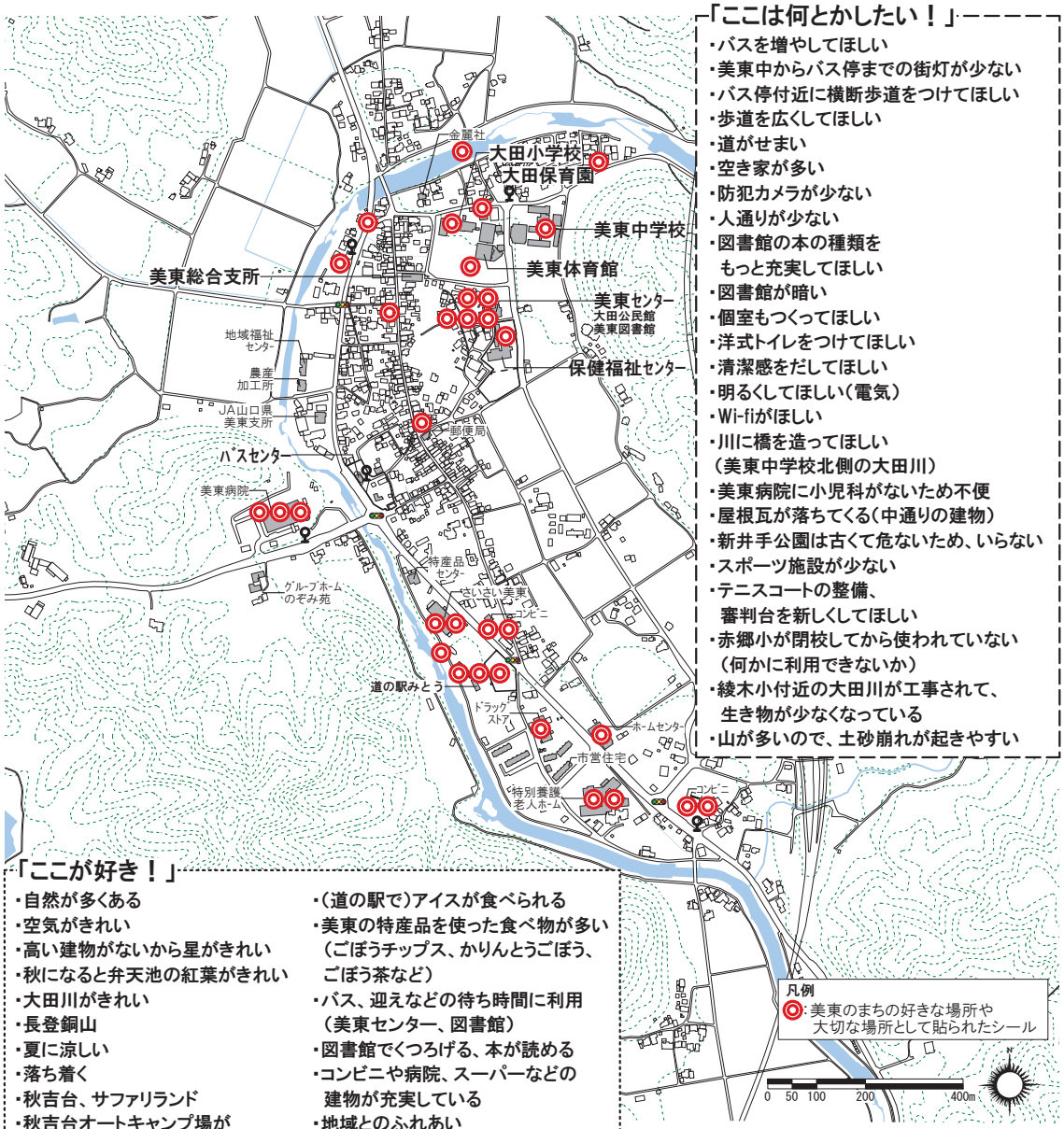
ステップ5　ポストイットを模造紙に貼り付けて整理しましょう
・グループで出た、「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」などの意見を、模造紙に貼り付けて整理してもらいました

ステップ6　全体に発表しましょう
・ステップ4、ステップ5での意見を整理し、全体に発表しました

ステップ2・3：美東のまちのここが好き、ここは何とかしたい

●ステップ２では６班に分かれて、「美東のまちのここが好き」をテーマに自由に意見を出してもらいました。
空気がきれい、自然が豊か、高い建物が無いので星がきれいに見える、紅葉がきれい等、自然の豊かさに関する高い評価が示されました。
また、秋吉台、秋芳洞、サファリランド、秋吉台オートキャンプ場など、夏になると多くの人が集まることや、災害が起こり難いこと、ごぼう等の特産品が多いこと等も気に入っていることがわかりました。

●ステップ３では、「美東のまちのここは何とかしたい」と思うことについて意見を出してもらいました。
空き家が多い、人通りが少ない、お店が少ない、病院が少なく不安である等、人口が減少してしまったことで生じている生活上の不便さについての意見が多く出されました。



「ここは何とかしたい！」

- バスを増やしてほしい
- 美東中からバス停までの街灯が少ない
- バス停付近に横断歩道をつけてほしい
- 歩道を広くしてほしい
- 道がせまい
- 空き家が多い
- 防犯カメラが少ない
- 人通りが少ない
- 図書館の本の種類をもっと充実してほしい
- 図書館が暗い
- 個室もつくってほしい
- 洋式トイレをつけてほしい
- 清潔感をだしてほしい
- 明るくしてほしい（電気）
- Wi-fiがほしい
- 川に橋を造ってほしい（美東中学校北側の大田川）
- 美東病院に小児科がないため不便
- 屋根瓦が落ちてくる（中通りの建物）
- 新井手公園は古くて危ないため、いらない
- スポーツ施設が少ない
- テニスコートの整備、審判台を新しくしてほしい
- 赤郷小が閉校してから使われていない（何かに利用できないか）
- 綾木小付近の大田川が工事されて、生き物が少なくなっている
- 山が多いので、土砂崩れが起きやすい

「ここが好き！」

- 自然が多くある
- 空気がきれい
- 高い建物がないから星がきれい
- 秋になると弁天池の紅葉がきれい
- 大田川がきれい
- 長登銅山
- 夏に涼しい
- 落ち着く
- 秋吉台、サファリランド
- 秋吉台オートキャンプ場が夏の時期になると多くの人が集まる
- 文化を感じられる施設がある
- （山口市や萩市など）どこへでも行きやすい
- （道の駅で）アイスが食べられる
- 美東の特産品を使った食べ物が多い（ごぼうチップス、かりんとうごぼう、ごぼう茶など）
- バス、迎えなどの待ち時間に利用（美東センター、図書館）
- 図書館でくつろげる、本が読める
- コンビニや病院、スーパーなどの建物が充実している
- 地域とのふれあい（悠々苑、大田保育園、大田小学校）
- （道の駅には）自販機がある
- 家で何かしていても（演奏、ラジコン、スポーツ）近所迷惑にならない
- 災害が起こりにくい

ステップ4・5：「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」

●ステップ４、ステップ５ではまちの中心部に計画されている新しい拠点施設に「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」について自由に意見を出してもらいました。以下にそれらの意見を整理しました。

○明るく、入りやすい施設にしてほしい
- 施設で働く人の顔が見えるようにしてほしい
- 冬は暗くなるのが早いため、照明をもっと明るくしてほしい
- 支所は入りにくいイメージがあり、入りやすい施設にしてほしい

○イベントができる場所がほしい
- 大ホール、畳の部屋は残してほしい
- 広いイベントホールがほしい
- トークショーができる場所がほしい

○図書館を広くしてほしい
- 図書館を広くしてほしい
- 問題集をたくさん置いてほしい
- 図書館の机、座席数を増やしてほしい
- フリーWi-Fiがほしい
- スマホの充電スポットがほしい
- ファッション誌、アイドル誌などの雑誌を置いてほしい
- CDやDVD、マンガをたくさん置いてほしい（最新のものも）
- 音楽を聴くところがほしい

○個人で集中して勉強できる場所がほしい
- 仕切りがある図書スペースがほしい
- 仕切り等で個別に学習できるスペースがほしい
- 静かに勉強できる場所がほしい
- 集中して勉強できる場所がほしい

○友達と話しながら勉強できる場所がほしい
- 友達と話しながら勉強できる場所がほしい
- 広い勉強スペースがほしい

○まちに運動ができる施設がほしい
- バッティングセンター、野球の室内練習場がほしい
- ボウリング場がほしい
- スポーツセンター（市民プール）がほしい
- 人工芝のテニスコート、サッカーコートがほしい
- 誰でもいつでも使える体育館、ジムなどがほしい
- クライミング場、ハイキングコースをつくってほしい

○こんなまちにしてほしい
- 高齢者が多いから、全ての歩行者信号で音がなってほしい
- ガードレールが担架になるものがほしい
- 防犯カメラを増やしてほしい
- 車が多いから、ガソリンスタンドがほしい
- 医療施設（スポーツ専門の医療など）を増やしてほしい
- 学校（大学、高校など）をつくってほしい

○カフェのようにくつろげる場所がほしい
- 小さな売店がほしい
- 自動販売機（アイスやジュースが買える）を増やしてほしい
- カフェ、喫茶店などのように気軽にくつろげる場所がほしい
- 親子や外国人など誰でもくつろげるスペースがほしい
- 食事ができるスペースがほしい

○地元の食材を食べられる場所がほしい
- 地元の食材を使った店がほしい（地域発展のために）
- 地元の有名な料理などを提供する飲食店がほしい

○子どもも利用できる部屋がほしい
- 打ち上げなどで、子ども達だけでも利用できる部屋がほしい
- 高校説明会ができる部屋がほしい

○SNSで美東地域の情報発信をしたい
- 美東地域のSNSアカウントを作成し、観光客UPに

○公衆電話を設置してほしい
- 公衆電話を増やしてほしい
- 公衆電話をそのまま残してほしい

○雨風をしのげる、快適なバス停にしてほしい
- バスの待ち時間に雨風をしのげる、快適なバス停にしてほしい
- バスの便数を増やしてほしい

○きれいなトイレにしてほしい
- 綺麗なトイレ（シャワートイレ）がにしてほしい

○自然と触れ合える外部空間がほしい
- 昆虫と触れ合える場所がほしい
- 芝生のグラウンドがほしい

○娯楽施設がほしい
- カラオケボックス、最新のプリクラ機がほしい
- 映画館がほしい

○飲食店、商業施設がほしい
- 本屋がほしい
- 百均がほしい
- ショッピングモール（服屋、スポーツ店など）がほしい
- 寿司屋、焼肉屋、タピオカ屋がほしい
- ファストフード店がほしい
- コンビニ、駄菓子屋がほしい
- レンタルショップがほしい

班ごとの作業の成果

ステップ6：意見のまとめと発表

作業風景

発表風景

●ステップ４、ステップ５で出された意見を集約しました。
中学生が新しい拠点施設に求めているものが浮び上ってきました。

ワークショップで示された、中学生が新しい拠点施設に対して期待すること

- **個人や友達と一緒に勉強しやすい、ゆったりとした図書館にしてほしい**
- **だれもが気軽にくつろげるカフェのような居場所がほしい**
- **地元の特産品を利用した食事が食べられる場所がほしい**
- **イベントなどができ、子どもでも利用しやすい活動の場をつくってほしい**
- **雨風をしのげ、快適に待ち時間を過ごせる場所がほしい**
- **SNSを使って、地域情報の発信をしてみたい**
- **自然と触れ合える外部空間がほしい**
- **まちなかに運動ができる場所、飲食や買い物ができる、遊べる場所が増えてほしい**

美東中学校ワークショップ 感想カード

ワークショップについての感想を書いてもらいました。いくつかを抜粋して掲載します。

○私は改めて美東の良さや改善点について考えることができました。美祢市の良いところより悪い点の方が考えやすかったので、これからは良いところを積極的に探したいと思いました。グループではいろんな案が出て特に飲食店やスポーツセンターについて出ました。また若者が集まって明るく、楽しい場所になってほしいなと思いました。

○まちの中心づくりのことをグループで考えてみて改めて美東に足りないものや施設などがよく分かりました。その一方で好きな場所や残してほしい設備、施設などもあるんだなと思いました。この話し合い、まちづくりワークショップで出たたくさんの意見を参考にこれからの美東をもっとよりよくしていってもらえたらなと思いました。

○改めて自分のふるさとの良い点・悪い点を確かめることができた。そして、もっと良くするためには何が必要か、自分のふるさとのために真剣に考えることができた。自分たちが今回出した案が採用されて、建物になると考えると、今からとても楽しみ。これからの美東の主役は私たちになってくると思うからSNSや新施設を利用しながら観光客UPにつなげていきたいと思う。

○私は今日初めて真剣に美祢のことについて考えました。もっと便利にしたいというのがあるので、美東センターにたくさんの本がほしいと思います。友達と一緒に勉強したりする場所がなくて困っているので、そういうスペースが一番ほしいと思いました。美祢にもっと人が集まってほしいです。

○美祢市は人口が少なく、なおかつ高齢者が多いので、暮らしやすい生活づくりのためにも、今回私達が出した意見で、少しでも便利の良い生活になるといいなと思いました。全てがかなうわけではないけれど、良い生活ができて、人口も少しずつ増えていくといいなと思いました。どんな風になるか楽しみです。

○私は、今回話し合いをして改めて美東にはあまりスーパーやコンビニ、遊戯施設などがあまりなく快適な生活ができていないと感じました。高齢化などが進み人口が減ってきているので、仕方ないのかもしれませんが、美東町がもっとよくなるように話し合いで意見を出して、まとめることができてよかったです。
また、こうしてほしいなどの意見も出し、課題を見つけることができたので、改善されていけばいいなと思いました。

美東中学校の２年生の皆さん、ご協力ありがとうございました！
ワークショップで出された意見を新しい拠点づくりの参考にします！

資料４　住民説明会での意見等について

美祢市新美東総合支所庁舎等整備基本計画（案）に関する住民説明会

開催日時・会場・参加人数

① 令和２年 10 月 15 日（木）　午後７時から　真長田定住センター　　７人
② 令和２年 10 月 19 日（月）　午後７時から　綾木ふるさとセンター　６人
③ 令和２年 10 月 21 日（水）　午後７時から　赤郷交流センター　　２人
④ 令和２年 10 月 23 日（金）　午後７時から　美東保健福祉センター　13 人

① 真長田地区住民説明会（真長田定住センター）

ご意見・ご質問	応　　答
デマンドバスを回すことを、この前も議会で話が出ていたが、デマンドバスを回すことは、確実にできるのか。それとも今のバス停から何か連絡方法を考えているか。	大田中央バス停や新町のバス停から、そこの二つを繋いで、新しく整備する庁舎との間の移動手段については、今後、庁舎が整備できるまでには考えていきたい。
現保健福祉センターの大ホールを総合窓口課として使用されるが、コンクリートの床のため、職員の体に負担がかかるのではないか。負担がかからないような床を検討されたい。併せて設計段階でパソコンの配線を足下から取れるように検討されたい。	今後の基本設計で、配線等も含め検討したい。

② 綾木地区住民説明会（綾木ふるさとセンター）

ご意見・ご質問	応　　答
児童クラブの部屋を検討すると言われたが、この空間構成の基本的な考え方の中のどれかの部屋になるということか。	この空間構成図の中にあるどこかの部屋にするのか、あるいは違うところに増築をするのか、今後検討していきたい。
美東センターについて、将来的にどうされるかは今後検討されると思うが、新しい複合施設をつくるにあたって、美東センターと併用してしばらくは解体しないのか。その場合の後の管理は、今と同じような管理方法になるのか。	美東センターの機能を新しい複合施設に移すことから、美東センターは教育委員会として役目を果たしたということで、基本的には速やかに解体したい。ただし、教育委員会以外の部署で何か活用があれば、その限りではない。教育委員会のスタンスとしては、新総合支所に公民館機能と図書館機能をしっかり盛り込んで、美東センターは、解体するという方針である。
将来的な話だが、保健福祉センター機能そのものが、今後どうなるのか。新総合支所庁舎等をつくることによって、保健福祉センターの機能そのものが、総合支所の中に併設されるのか。	現在、保健福祉センターの用途は、児童クラブ、子育て広場、集団検診の会場のほか、各部屋は様々な団体が使用されている。児童クラブについては検討中だが、子育て広場については、現在も、計画の中に入れてある。検診の機能についても、新しい建物の多目的ホールも含めて実施し、その他様々な検診も新しい建物で行うことになる。
現総合支所の土地は、民有地と聞いたが、民有地から外した方が、先々いいのではないか。	現美東総合支所の建屋部分は全てが市有地である。ただし、駐車場で使っているところは借地が含まれる。市有地部分と借地の部分について、建物を解体した後、有効活用を考えていかなければならない。

ご意見・ご質問	応　　答
検討課題の１番のポイントは、児童クラブをどうするかということだったと思う。先ほどの説明では、今検討中で、別の場所に新たに建設する、あるいは、既存を利用して、この新たな複合施設の中に複合化するということだが、具体的にいつまでに検討をされるのか。	運営していただいている支援員と協議をし、複合化の方向がいいという話を聞いているが、実際に新総合支所庁舎等のどこに配置するか、利用者の保護者等の意見を参考に児童クラブで取りまとめるようお願いをしている。各地区の住民説明会終了後、協議の場を持ち、基本設計の段階で場所等特定できるように進めていく。
新総合支所の建て替えが、本来はこれをベースに、まちづくりということだったと思う。それで、児童クラブの件もあるが、やはり、教育委員会の方で検討されている小中一貫教育や、教育のまち美東や、子育てに非常に優しいまちづくりという意見も出ていた。そこについては、教育委員会と、地域福祉課で、将来の構想も考えられると思うが、その辺りは、どのような検討状況になっているのか。	小中一貫教育の今の進め方と美東総合支所の整備を面的にどう考えるかは、リンクはしていない。教育の美東という話が出たが、概要版の１ページの半分から下に、美東総合支所庁舎整備の目標というところに、あまり教育という言葉が入っていない。つまり、ワークショップの中で、この地域の方々の教育とこの複合施設の繋がりというのが、あまり伝わってこない。ですから、「みんなが頼りにできる暮らしの中心をつくる」というのは最終的な目標で、４つの大きな柱があって、一つだけ子育て支援があるが、そこには授乳室やカフェや子育てサロンなどの空間・場所が欲しいことは、見えてくる。しかしながら、この地域に大田小学校や美東中学校があるため、この新しい複合施設を使わないではないとも考えている。
今回のワークショップが一つの契機となって、将来のまちづくりを考えるときに、子育てを非常にしやすいところというのは、大いなるセールスポイントになるという意見が出ている。	ワークショップ等で、子育てしやすい場所という話を聞いているため、今後基本設計を進める中で、一つのポイントになってくると思う。その辺りも十分に考慮しながら、基本設計を進めていきたい。

ご意見・ご質問	応　　答
児童クラブについては、住民説明会が終わり次第、関係者と打ち合わせをして、基本設計に反映させるということだが、スケジュール表だと、基本設計は１月末までとなっている。少なくとも１月末までにどうするかが、はっきりするという認識でよろしいか。	基本設計を始める段階、遅くとも 11 月初旬にはその方針が決定しないと、基本設計を進めることができないため、11 月中には結論を出したい。
交通アクセスの問題だが、建設場所を決めるときに、大田中央バス停付近という話もあり、そこであれば、病院が近く、サイサイみとうで買い物もできるという話もあった。保健福祉センターでは、アクセスをどうするのか。その辺りも考慮して、この建て替えを考えてほしい。	新庁舎等が完成するまでに、様々な方法を検討し、交通手段の確保をしていくように考えていきたい。
どんなまちづくりをしていくか、いい契機になった。そういう意味で、この場所（保健福祉センター）というのは、小学校、中学校、保育所も近くにある。将来のまちづくりのときに向けて、しっかり検討していただきたい。この建物と直接リンクしろということを言っているわけではなく、今後複合施設が出来上がり、次はどうするとなったときに、まちづくりを念頭に、次のステップをどんどん考えていくべきではないか。	今言われるようなまちづくりの意識をしっかり持って、教育委員会でも小中一貫教育の取り組みを進めさせていただきたい。

ご意見・ご質問	応　　答
近年、天候が大きく変化することがよくあるが、保健福祉センターについては、土砂災害や、水害はどうか。	土砂災害については、玄関付近が土砂災害警戒区域に該当する。水害については、計画規模（100 年に一度程度の目安）であれば、浸水想定区域外になる。最大の規模であれば、1,000 年に１度、２日で 518 ミリ程度の降雨を想定しているが、その場合は 0.5 メートルから３メートル未満の浸水区域となる。なお、浸水継続時間が 12 時間未満というところに該当する。
図書館の面積が、150 ㎡程度とかなり広いように見える。利用する方が、非常に少ないと聞いている。これは、小・中学校の子どもたちの数が減っていること、高齢化が進んで図書館に近寄りにくいというようなことも聞いている。今の図書館は、何㎡あるのか。	開架図書等の図書のスペースと書庫を入れて 110 ㎡程度である。
美祢市には、市立の図書館があるが、関連はどのようになっているのか。	まだはっきりしたことは決まっていないが、美祢図書館も建替えの計画を立てている。 その中でそれぞれの図書館機能の結び付けを検討していきたい。
高齢者が利用しやすい図書館を考えてほしい。以前は図書を積んだバスが回ってくるようなことがあった。これを復活するというわけではないが、何かいい方法はないか。近寄って行きたいけど行けないという人が段々増えている。この辺りをうまくやっていかないといけない。寄り付きやすい、自分は動けないけれど、何か近づいて来て欲しいというようなものが、これから特に必要になってくると思う。	どこまで実現できるかわからないが、住民説明会でそのような意見が出たということを、今後の基本設計で、図書館をどのような形にするか、どのような機能を持たせるかということも、議論の対象になる。仕組みとして移動図書館が、どのように展開できるか、未知数ではっきりしたことは言えないが、意見として承っておきたい。

③ 赤郷地区住民説明会（赤郷交流センター）

ご意見・ご質問	応　　答
高齢等のため車の運転ができなくなった人が、総合支所へ用事があり、バスで行こうとした場合、バス停から歩いて行かなければならない。新しい総合支所になればもっと遠くなるが、どのようにお考えか。	公共交通から離れることは、いろいろ議論になった。その中で、バス停から新庁舎等をつなぐ新たなシステムを今から考えていく。まだ決定事項ではない例えだが、近い将来、総合支所に電話をかけていただければ、総合支所職員が迎えに行くというのも考えられるし、10 年先になると、グリーンスローモビリティという、簡単に言えばゴルフのカートのような乗り物を、往復させることも考えられる。そのため、新庁舎等が完成したと同時に、何らかの方法での往復を考えていくということで、バス停から離れることは、ご理解をいただいたところである。

④大田地区住民説明会（美東保健福祉センター）

ご意見・ご質問	応　　答
ＡＩなどの活用を見据えた通信環境等の整備とあるが、具体的に説明をお願いしたい。	ＡＩの導入には時間がかかると思われる。そのため、将来的にＡＩなどを活用した窓口業務の省力化、また住民自らが操作する対話型の情報機器を設置した場合に、必要となる通信環境や、将来のレイアウト変更が柔軟に対応できるものにしておくということである。
交通アクセスの計画とあるが、現時点の美東総合支所に比べてバス停から離れることになる。公共交通についてどう考えているのか教えてほしい。	交通アクセスについては、バスルートの延伸等は、乗車人数から考えられる費用対効果等を考慮し、現実的でないと考える。保健福祉センターに行くルートは、新しい交通アクセス方法を検討していくことになる。一つの例だが、グリーンスローモビリティーなど、新しい移動手段の採用も検討していく必要があると考えている。
環境計画で、最近の新しい施設は、太陽光パネルが設置されることが多い。太陽光発電についての検討をされたのか教えてほしい。	太陽光発電については、基本設計段階で検討していく。
構造計画で、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造を比較検討されるということだが、可能であれば、多くの不特定多数の人が集える場所ということで、人や環境に優しい地元産の木材を使う方向で検討してほしい。	構造については、強度や安全性の確保、また建設コストの低減、建物用途に相応しい建築空間の実現等の様々な要件から判断し、基本設計で検討していく。
スケジュールでは、解体工事が令和５年５月以降ということだが、「総合支所等」というのはどこを指しているのか。	「総合支所等」という記載については、総合支所の裏の別館や倉庫が３棟あり、これらを含んでいる。

ご意見・ご質問	応　　答
美東センターの解体はもう少し先になるということか。	美東センターは、教育委員会が所管しており、用途としては廃止するため、速やかに、美東センターも解体したいと教育委員会では考えている。ただし、何かしら使用しなければならない事情が出てきた場合には、その限りではないが、美東センターを長く使うことはないと考えている。
本来この建物が持っている。保健福祉機能はどのように考えているか。	保健福祉センターの機能は、公民館機能と兼ねる形になると考えている。また、検診については、多目的ホールの横に検診車をつけられるように考えており、集団検診、またその他様々な検診があるが、それらの検診に対応できるように考えている。
保健福祉機能、保健福祉の看板が無くなるのではないかと恐れを抱いている。保健福祉センターの看板があって、ここに来たら保健師さんが居て、話を聞いてもらえる。それがここの保健福祉センターが持っている大事な機能。そういうときに、総合支所に相談に行こうとは思わない。保健福祉センターとしての看板を外して欲しくない。そういうことに対応できる保健師さんもここに戻ってきて欲しい。	検診等は、今の現総合支所から保健福祉センターに保健師が来て対応しているが、新庁舎等では保健師が常駐することになる。この新しい建物の名称は、今のところ検討していない。保健福祉センターの名前をそのまま残すこともまだ検討はしていないが、その辺りも含めて相談に来やすいネーミングを今後考えて行くべきだろうと考えている。
美祢の本庁で 40 億、秋芳と美東の総合支所で７億円と７億円で 14 億円いう情報を聞いたことがあるが、今の状況はいくらになるのか。	本庁舎だが、財政計画上の数字、一応目標値ということになるが、約 40 億円となっている。また、総合支所は二箇所あるが、財政計画上では７億円と７億円である。現在、本庁舎が、約 23 億円まで縮減をかけている。美東総合支所については、７億 9,000 万円程度である。秋芳総合支所が様々な付随する工事も含め、今の段階で約 10 億 3,000 万円程度の計画になっている。

ご意見・ご質問	応　　答
合併推進債を使うことになると、30%還付金が出ると思うが、その辺りの額によっては多目的ホール等の絡みを考えないと、確かにいいものをつくるに越したことはないが、先々子ども達に負担を残すという懸念をする。総枠が一体どのぐらいの計画なのか伺いたい。	合併推進債で起債を借りて戻ってくるお金が約 36%ぐらいである。大まかに総合支所機能の部分だけが、合併推進債という起債を予定している。 また、公民館機能と図書館機能の部分が、過疎対策事業債という起債を予定している。過疎対策事業債は、起債を返していく段階で約７割が返ってくる。
今度は新庁舎等が防災の拠点で、避難場所にもなると思う。ここは、保健福祉センターということで、全てバリアフリーで、段差のない設計になっているが、風当たりが強いことが気になる。新庁舎等を建てられるにあたり、台風による風と雨、これに対して十分対処していただきたい。	その辺りも含め、既存の建物については、改修等をしていきたいと思う。
防災計画の中で、避難所として使うことになっている。それに関してどれくらい避難人員の収容能力があるかをお聞きしたい。	新しい複合施設については、避難人員の収容能力を面積等から算出して、概ね 700 名程度を考えている。
避難所について、今美東地域には公民館や、その他公共施設がある。その大きさを勘案して、大丈夫なところはいくらあるのか、これ以外にここはこういう目的で使うから、この多目的ホールをつくる予定という考え方が必要。 それから１カ所で全部やる発想は、やめた方がいい。	大田地区の避難場所は、現在は美東センターと美東中学校、大田小学校の３箇所の避難場所がある。大田公民館と美東図書館が、総合支所と一緒になり、現保健福祉センター等に移ることから、美東センターはいずれ解体となる。新しい複合施設が完成したら、新しい複合施設と美東中学校と大田小学校の３箇所が避難場所になる。この３箇所で、大田地区の避難人員の収容ができるだろうと考えている。
美東センターを解体したら、収容人数が少なくなってくる。その場合はどう考えているか。	美東センターは、複合施設を建設する間は解体しない。そのため、瞬間的に何百人も入れなくなるという事態は、ないということは理解していただきたい。

ご意見・ご質問	応　　答
総事業費が、美東が約８億円、秋芳が約 10 億円ですが、この差は何か。	美東は、美東保健福祉センターを改修するので、そこの部分は単価が下がる。秋芳の場合は、全部が新築で大まかに言うとそこの差になる。ただし、美東の場合には既存を使うことで面積のロスがあるため、面積は増えるが、建築費は全体で見ると安くなる。 それと、解体する建物の面積なども関係してきている。
秋芳は、全部解体するのか。	秋芳の今の予定は、秋芳体育館を解体して、その場所に建設をする計画になっている。
美東は総事業費が８億円だが、この８億円という数字はどこから算出されたのか。金額の根拠を教えてほしい。	増築部分は、㎡当たり 48 万円、現の保健福祉センターを改修する部分は㎡当たり 22 万円で、概算の事業費用を出している。
この先、総事業費は増えたり減ったりすることもあるのか。	よく言われているのが、オリンピックの時は資材が高くなると言われている。様々な要因で総事業費が変動することはある。
図書館部門とそこを管理する公民館図書館事務が総合支所の隣にあるが、図書館の蔵書等の管理、貸し出し、そういうことに関する相談は、図書館の部屋と隣接している方が、利用者としては随分便利になると思うがどうか。	これは便宜上、図書館の事務や総合支所と書いてあるが、教育委員会の中で話しているのは、今まで図書館に２人いたから２人が図書館、10 人が総合支所、合わせて 12 人というわけではなく、一緒のフロアで仕事を行うため、そこは複合的にするべきだと思っている。仕事を洗い出して合理的に仕事ができる方法と、図書館の利用者が確実に利用できる方法を併せて考えたい。

資料５　パブリックコメントの結果について

案　　件　　名	美祢市新美東総合支所庁舎等整備基本計画（案）
意見募集期間	令和２年10月６日（火）から令和２年11月４日（水）
意見提出者数	２名（男性０名、女性１名、不明１名）
意見提出数	３件
提　出　方　法	郵送０件　持参２件　メール０件　ＦＡＸ０件
地区別提出数	赤郷０件　大田０件　綾木１件　真長田０件　不明１件

提出されたご意見ご質問に対しての考え方（回答）

第２章　Ｐ．30　その他の公共施設と民間施設との複合化の可能性

ご質問・ご意見	回　　答
①新たに建設される美東総合支所に児童クラブも入る予定で検討されていると聞きました。この案には反対です。本来、児童クラブは小学校の敷地内もしくは小学校の近くに専用の施設を建てるべきです。新たに児童クラブの施設をつくるのが難しければ、現状の保健福祉センターに併設するか、保健福祉センター付近に別棟のプレハブを建てるべきだと思います。（児童クラブの施設は総合支所庁舎の中から入るのではなく、外から入るようにするのがポイントです。） これは、真長田児童クラブのことですが、施設内を走りまわったり、大きな声で叫ぶ児童もいるそうです。真長田公民館では児童クラブが公民館を使っているために、公民館の施設利用者が大変迷惑しているようですが、代替え施設がないため現状ではどうしようもできないようです。このようなことから、総合支所に児童クラブが入れば総合支所の来客に迷惑がかかる可能性もあります。また、図書館や他の施設も児童が騒ぐと迷惑になります。総合支所は、土日祝日は休みだと思いますが、児童クラブは必ず休みとは限りません。市民の大切な個人情報が保管されている総合支所に休みの日に誰でも簡単に入れるのはセキュリティの問題も検討が必要だと思います。 これは余談ですが、真長田児童クラブも真長田公民館以外の専用の施設を至急確保すべきだと思います。	①美東児童クラブの複合化については、基本設計で検討していきます。 　真長田児童クラブに関するご意見については、担当課にて検討、対応します。

第３章　Ｐ．45　複合施設の建築計画
　　Ｐ．52　防災計画

ご質問・ご意見	回　　答
②現在の保健福祉センターはそのまま使う。 公民館機能は、避難所として充実させるために２階建てに建築して下さい。 平屋では避難所の役目が薄くなる。	②③　今後の基本設計で、災害対策拠点、避難場所としての機能を精査しながら検討していきます。
③２階建ての建築場所は、現在の保健福祉センターの南側ではなく、北側の方へお願いします。日光、日当たりをよくするためです。	

資料６　美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議の検討経緯

設置目的：本市の新総合支所庁舎等の整備に関する事項を審議及び検討するため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定により、美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議を設置する。

開催の経緯

会議開催日		検討事項等
第１回	令和２年 ２月３日	（１）会長・副会長の選任 （２）美祢市新総合支所庁舎等整備基本構想について （３）基本計画等の進め方について ア　検討体制 イ　検討の進め方 ウ　スケジュール エ　基本計画の構成 （４）ワークショップ等の開催について ア　グループヒアリングについて イ　ワークショップの開催について ウ　第１回・第２回の状況 （５）その他
第２回	令和２年 ３月 26 日	（１）前回（第１回）における質問の回答 ・土砂災害ハザードマップ ・周辺施設等のプロット図 ・避難所について ・本庁と総合支所の役割分担について （２）基本計画検討資料について（第１章～第２章） （３）建設候補地の比較検討について （４）スケジュールの変更について （５）その他
第３回	令和２年 ９月１日	（１）第４回紙上ワークショップについて （２）事業手法について （３）基本計画（案）について（第１章～第４章） （４）その他
第４回	令和２年 ９月 30 日～ 10 月２日	【書類協議】 （１）基本計画（案）について

美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議

委員の構成

No.	氏　名	区　分	所属・役職	備　考
1	岡松　道雄	建　築	山口大学大学院　教授	会　長
2	前田　哲男	建　築	山口県立大学　教授	副会長
3	加藤　久雄	建　築	山口県建築士会　理事	
4	鈴木　素之	防　災	山口大学大学院　教授	
5	目山　直樹	防　災 まちづくり	徳山工業高等専門学校　准教授	
6	藏重　嘉伸	まちづくり	株式会社ＹＭＦＧ ＺＯＮＥプランニング	
7	遠藤　勇一	情　報	総務省地域情報化アドバイザー	

美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議設置条例

令和１年 12 月 20 日

条例 27 号

（設置）

第１条　本市の新総合支所庁舎等の整備に関する事項を審議及び検討するため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定により、美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議（以下「有識者会議」という。）を設置する。

（所掌事項）

第２条　有識者会議は、次に掲げる事項について審議及び検討を行うものとする。

(1)　新総合支所庁舎等整備の基本計画及び基本設計に関すること。

(2)　新総合支所庁舎等の事業手法等に関すること。

(3)　前 2 号に掲げるもののほか、新総合支所庁舎等の整備を検討するために必要な事項に関すること。

（組織）

第３条　有識者会議は、8 人以内をもって組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱又は任命する。

(1)　公共建築に関して識見を有する者

(2)　防災に関して識見を有する者

(3)　まちづくりに関して識見を有する者

(4)　前 3 号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める者

（委員の任期）

第４条　委員の任期は、市長が委嘱又は任命した日から美祢市新総合支所庁舎等整備の基本計画及び基本設計を策定した日までとする。ただし、任期中であっても、その本来の職を離れたときは、委員の職を失うものとする。

（役員）

第５条　有識者会議に次の役員を置く。

(1)　会長　１人

(2)　副会長　１人

２　会長は、委員の互選により選出し、副会長は、会長が指名する。

（役員の職務）

第６条　会長は、有識者会議を代表し、会を統括する。

２　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第７条　有識者会議の会議は、会長が招集し、会議の議長となる。ただし、委嘱又は任命後最初の会議は、市長が招集する。

２　会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

３　会長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

（庶務）

第８条　有識者会議の庶務は、美東総合支所総合窓口課及び秋芳総合支所総合窓口課において処理する。

（委任）

第９条　この条例に定めるもののほか、有識者会議に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

資料７　美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会の検討経緯

設置目的：本市の総合支所庁舎等の整備に関し、必要な事項を調査検討するため、美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会を設置する。

開催の経緯

会議開催日		検討事項等
第１回～第 14 回		美祢市新総合支所庁舎等整備基本構想
第 15 回	令和２年 ６月 11 日	（１）これまでの経緯について （２）建設候補地及び事業規模・スケジュールの検討について ア　美東総合支所：建設候補地の検討 イ　秋芳総合支所：事業規模・スケジュールの検討 （３）その他
第 16 回	令和２年 ９月 24 日	（１）美祢市新秋芳総合支所庁舎等整備基本計画（案）について（第１章～第４章） （２）今後の新秋芳総合支所庁舎等整備のスケジュールについて （３）その他
第 17 回	令和２年 10 月１日	（１）美祢市新美東総合支所庁舎等整備基本計画（案）について（第１章～第４章） （２）基本計画策定までのスケジュールについて （３）その他 ・第４回有識者会議（書類協議）の結果について（秋芳）
第 18 回	令和２年 11 月 10 日	（１）第４回有識者会議（書類協議）の結果について（美東） （２）住民説明会及びパブリックコメントの結果について （３）基本計画（案）の修正について （４）今後のスケジュールについて （５）民間団体の行政財産使用料について （６）その他

美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会

委員の構成

No.	区　　分	備　　考
1	副市長	委員長
2	総務部長	副委員長
3	市民福祉部長	
4	建設農林部長	
5	教育委員会教育次長	
6	総合政策部長	
7	総務課庁舎整備推進室長	

美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会設置要綱

（設置）

第１条　本市の総合支所庁舎等の整備に関し、必要な事項を調査検討するため、美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第２条　委員会が所掌する事項は、次のとおりとする。

(1)　総合支所庁舎等整備に係る各部局間の連絡及び調整に関すること。

(2)　総合支所庁舎等整備に係る課題の整理、調査及び検討に関すること。

(3)　前２号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること。

（組織）

第３条　委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

２　委員長は、副市長をもって充てる。

３　副委員長は、総務部長をもって充てる。

４　委員は、市民福祉部長、建設農林部長、教育委員会事務局長及び委員長が指名する者をもって充てる。

（会議）

第４条　委員会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて委員長が招集する。

２　会議の議長は、委員長をもって充てる。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指定した順位によりその職務を代理する。

４　委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

（作業部会）

第５条　第２条に規定する所掌事項について必要な資料の収集及び調査研究をさせるため、必要に応じ委員会に作業部会を設置することができる。

２　作業部会の構成員は、職員の中から委員長が指名する者をもって充てる。

（庶務）

第６条　委員会の庶務は、美東総合支所総合窓口課及び秋芳総合支所総合窓口課において

処理する。

（その他）

第７条　この訓令に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附　則

この訓令は、平成 30 年 6 月 1 日から施行する。

附　則

この訓令は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

美祢市新美東総合支所庁舎等整備基本計画　資料編

美祢市　美東総合支所　総合窓口課
〒754-0291　美祢市美東町大田 5936 番地
TEL:08396-2-5000　FAX:08396-2-5111